2022年度シラバス

科目名:キャリアデザインⅡ	担当者:茶谷 淳一	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
・講演：学科長講演、外部講師による講演会が行われます。講師の先生からは就職活動や職場の実情、働くことの意義を学び、社会人として生きる力を身に付けます。
・講義：「社会と私」という統一テーマで、社会で活躍するために有益となる話や心構え、メッセージ、アドバイスも含めて講義をします。
・芸術鑑賞会：豊かな感性の育成と、公の場でのマナーを身に付けることが目的です。

授業の到達目標
毎回の授業から自分自身を振り返り、今後の自身の生き方を積極的に捉え、行動できる人間として成長することを目標とします。 (DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
○幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
講演会および芸術鑑賞の事前学習は、テキストやプリント等を使用し必ず行うこと。「社会と私」では、すべての講義から学んだことを自分の視点でまとめつつ、全講義のつながりを模索し、視覚化する時間を持つこと。

評価方法
講演会と芸術鑑賞会のレポート30%、「社会と私」の参加状況等60%、レポート試験10%の割合で評価する。

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
講演会や芸術鑑賞会などはスケジュールが不規則なので、初回に配布するスケジュール表や掲示板で日程を確認すること。

01	学科長講演
02	進路講演会（エントリーシートの作成に向けて）
03	「社会と私」を学ぶにあたって
04	社会と私（１）「人生とお金」
05	社会と私（２）「お金と経済」
06	社会と私（３）「ライフプランを描く①」
07	社会と私（４）「お金を借りる」
08	社会と私（５）「お金を増やす」
09	1・2年生交流会
10	芸術鑑賞会
11	社会と私（６）「リスクに備える①」
12	社会と私（７）「リスクに備える②」
13	社会と私（８）「トラブルに強くなる」
14	社会と私（９）「ライフプランを描く②」
15	卒業講演会
16	

2022年度シラバス

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:茶谷 淳一	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:特になし		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
地球を守り、よりよい未来を気づくために世界の人々が取り組んでいる「SDGｓ（持続可能な開発目標）」についてテキスト学習やフィールドワークなどを通して学び、私たちができることを学び、実践します。教養演習Ⅱと卒業研究の両方の時間を使って授業を進めます。テキストの購読、ビデオ学習、フィールドワークなどあらゆる活動の最中や後で、活動のすべてをゼミノート（毎回ゼミに必携）に記述し、まとめていただきます。レポートなどの提出物については次回またはteamsやmoodleにて講評します。【AL】

授業の到達目標
①テキスト学習を通して、テキストの内容を正確に理解し、意見や質問を考え、発表することができる。（DP）②フィールドワークを通してゼミの仲間やその他の人たちとともに活動するなかで、自分のやるべきことを考え、行動することができる。（DP）③フィールドワークで得られた知見をもとに「お散歩マップ」を作成することなどを通して現実の中から課題を見つけ、調べ、周りの人が興味を持ち、理解できるようまとめることができる。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識
◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
①ボランティア活動は前期の休日などに、数日行う（要請がある場合のみ）。②発表内容を考えたり、卒業研究レポートを作成するための大切な資料となる活動記録（ゼミノート）を付け、整理する。③時間内にできなかった作品や発表資料、レポートなどを作成する。④SDGｓは世界中の、特に若い人たちが多く取り組んでいます。日頃からTVのニュース、ドキュメンタリーなどを見たり、新聞を読んだりしましょう。また、ネットでもSDGｓの言葉を目にしたら読んでみましょう。⑤暮らしの中でも何かやってみたり、周りの人たちと話してみましょう。

評価方法
①発言、行動などゼミ活動に取り組む姿勢･･･40%②各種のレポート、ゼミノート、展示資料、プレゼンテーション･･･60%

教科書	参考図書
適宜資料を配付します。	適宜

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
活動すればするほど、楽しくなります。やりがいがあります。なお、予定が変更されることがあります。

01	ゼミでの学びについての説明（第１週）
02	SDGｓってなんだろうーテキストをABDで読み、暮らしの中でできることを考えよう（第２週～第５週）
03	SDGｓの個別テーマについて学ぶ（第６週～第15週） 　たとえば、気候変動対策を考えよう、LGBTQの子どもたちを救うための方法を考えよう、プラスチックを削減しよう、新しい食べモノを考えよう、など。
04	並行して、竹灯籠の地域での活用調査と作成（第９週～第15週）
05	人のために役立つ活動を体験する 　～①名古屋市障害者スポーツ大会のお手伝い（５月上旬）、②全国ジュニア選抜車いすバスケ大会お手伝い（9月上旬）
06	ゴミ調査－収集、分析、レポート執筆（第16～19週）
07	大学祭での展示資料の作成　スポーツ祭典・模擬店出店の準備　　（第20週～第22週）
08	卒業レポート・卒業レポート集の作成　　（第23週～第25週）
09	ゼミ活動のまとめ（第26週～第30週）
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	

24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	

2022年度シラバス

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:高谷 邦彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
「SNSと情報発信」をテーマとして、個人ではなく企業や大学などの組織が広報活動や地域活性化のためにTwitterやInstagramなどのSNSをどのように活用しているのか、自分たちで取材とコンテンツ制作を実践しながら学びます。【ＡＬ】

授業の到達目標
SNSという個人メディアが日常化した時代に必要な知識と経験、そしてコミュニケーション力を身につけることを目標とします。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識
◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
自分がSNSに投稿する際に意識していることや、他のユーザの投稿内容などを注意深く観察する習慣を身につけましょう。

評価方法
各種ゼミ活動への参加状況（50%）と課題への取り組み内容（50%）で評価します。

教科書	参考図書
必要に応じてプリント等を配布します。	授業内で指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
何にでも興味と疑問を持って調べてみる／試してみるという好奇心と自主性を大切にしましょう。

01	SNS（Twitter、Facebook、Instagram等）の基本を学ぶ
02	自分たちがSNSを利用する際の意識・動機などを客観化してみる（１）
03	自分たちがSNSを利用する際の意識・動機などを客観化してみる（２）
04	広報の基本を知る
05	インターネット（SNS）広報について学ぶ（１）
06	インターネット（SNS）広報について学ぶ（２）
07	インターネット（SNS）広報について学ぶ（３）
08	大学広報・地域広報のアイディアを練る（１）
09	大学広報・地域広報のアイディアを練る（２）
10	SNSによる大学広報・地域広報を実践する（１）
11	SNSによる大学広報・地域広報を実践する（２）
12	SNSによる大学広報・地域広報を実践する（３）
13	SNSによる大学広報・地域広報を実践する（４）
14	卒業研究のテーマを検討する（１）
15	卒業研究のテーマを検討する（２）
16	SNSを活用した大学広報・地域広報のアイディアを議論する（１）
17	SNSを活用した大学広報・地域広報のアイディアを議論する（２）
18	SNSを活用した大学広報・地域広報のアイディアを議論する（３）
19	有松、桶狭間などキャンパス外で取材活動を行う（１）
20	有松、桶狭間などキャンパス外で取材活動を行う（２）
21	有松、桶狭間などキャンパス外で取材活動を行う（３）
22	有松、桶狭間などキャンパス外で取材活動を行う（４）
23	有松、桶狭間などキャンパス外で取材活動を行う（５）
24	有松、桶狭間などキャンパス外で取材活動を行う（６）
25	大学祭準備（模擬店・展示等）（１）
26	大学祭準備（模擬店・展示等）（２）
27	SNSを活用しながら広報活動を実践し、その成果を分析する（１）
28	SNSを活用しながら広報活動を実践し、その成果を分析する（２）
29	SNSを活用しながら広報活動を実践し、その成果を分析する（３）
30	SNSを活用しながら広報活動を実践し、その成果を分析する（４）

31	研修旅行

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:辻 広志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
このゼミでは、私たちの生活や身近な自然環境を題材にした実践的活動を通して、様々な環境問題について学び、ヒトと自然の共生のあり方について考える。学内と学外でフィールドワークを行う。【AL】
レポート等、提出物の講評は授業中に行う。

授業の到達目標
自然環境の調査や動植物の観察、作物の栽培等を通して、自然への理解を深める。また、実践的活動や課題研究を通して、社会人基礎力の向上をはかる。【DP】

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識
◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
卒業研究のテーマについて、資料の収集、調査・分析・考察、原稿の作成、発表の準備を行う。

評価方法
ゼミでの取り組み姿勢（50%）、報告内容（レポート、発表）（50%）等から総合的に評価する。授業において提示した課題については、次回以降にフィードバックを行う。

教科書	参考図書
使用しない	授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
チームワークを大切にして、何事にも真面目に取り組くむこと。天候や進行状況等により、授業計画を変更することがあります。

01	ガイダンス
02	学内実習と学外研修の事前学習
03	文献輪読①
04	学外研修①（藤前干潟で干潟生物の観察）
05	文献輪読②
06	学内実習①（キャンパスの樹木の葉の採取）
07	学内実習②（キャンパスの樹木の葉の標本作製）
08	卒業研究準備①
09	学内実習③（サツマイモの苗植え）
10	学外研修②（東山動物園見学）
11	文献輪読③
12	学内実習④（キャンパスの池の水生生物調査）
13	学外研修③（竹島水族館・竹島海岸で生物観察）
14	卒業研究準備②
15	学外研修④（伊吹山で高山植物観察）
16	学外研修レポート作成
17	卒業研究中間発表
18	大学祭ゼミ展示準備①
19	学内実習⑤（サツマイモの収穫）
20	大学祭ゼミ展示準備②
21	学内実習⑥（サツマイモの調理）
22	卒業研究論文作成①
23	卒業研究論文作成②
24	卒業研究論文作成③
25	ＤＶＤ視聴
26	卒業研究論文作成④
27	卒業研究論文作成⑤
28	卒業研究発表①
29	卒業研究発表②
30	まとめ

31	なし

2022年度シラバス

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:綾部 六郎	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
　全員で本科目の統一テーマである「女性をめぐる現代的諸問題の探究」に関係する課題文献を読み、プレゼンテーションもおこなうことなどを通じて、さまざまなスキルを学んでいきます。【AL】
　また、学内イヴェントの実施や学外の関連施設などを訪問する予定ですので、その準備も同時におこないます。

授業の到達目標
　上記の事項に加えて、2年次の前期に配当されている「女性と労働」や、1年次前期の「法学」などの授業で学んだ知識をより一層深めながら、自立した女性となるために必要な知識や技能を修得し、受講生のみなさんが社会へと旅立っていくために必要な思考力・行動力・チームワーク力を身につけます（DP）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識
◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
・担当になった場合は、授業内でおこなうプレゼンテーションの準備が必要です。
・全員に課題文献についての予習が毎回求められます。
・正課の授業だけではなく、学外訪問にも積極的に出席してください。

評価方法
授業での取り組みなどの平常点（60%）および各種イヴェントにおける達成度などを踏まえた評価（40%）。

教科書	参考図書
授業中に指示します。	授業中に紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
必要な事項については、開講後のガイダンスで説明します。

01	ゼミプロジェクトの確認・役割分担の決定など
02	課題文献の検討・決定
03	効果的なプレゼンテーション方法についての解説
04	学術的なリサーチ・スキル向上についての解説
05	クリティカル・リーディング習得についての解説
06	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
07	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
08	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
09	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
10	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
11	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
12	学外研修実施のための準備
13	学外研修実施のための準備
14	学外研修実施のための準備
15	学外研修実施のための準備
16	学外研修の実施
17	学外研修の実施
18	学外研修の実施
19	学内イヴェント実施のための準備
20	学内イヴェント実施のための準備
21	学内イヴェント実施のための準備
22	学内イヴェント実施のための準備
23	学内イヴェントの実施
24	学内イヴェントの実施
25	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
26	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
27	課題文献の輪読・担当者によるプレゼン
28	卒業研究報告会の準備

29	卒業研究報告会の実施
30	授業のまとめなど
31	なし

2022年度シラバス

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:矢澤 久史	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
　多くの心理検査の実習を行い、就職活動やこれから社会に出た時に役立てることができるように自分に関する理解を深め、身近な現象に対して心理学的観点からの見方を学ぶことにより視野を広げ、自分探しと他者理解を目指す。授業のほとんどはグループ学習で進め、問題に向かって主体的に取り組むことができると同時に、目的に向かって着実に努力を続けられる行動力を養う。【AL】

授業の到達目標
①これまでになされた心理学の研究についての理解を深め、日常生活で人間関係をうまく形成するために心理学の知識を役立たせることができるようになることを目標とする。
②グループ学習を通して、他者とのコミュニケーションを取りながら共同して物事に取り組む力を付ける。
【到達目標と深く関連する学科DP】
◎コミュニケーション力
◎専門知識
◎思考力
◎行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
①授業で興味を持った内容について、関連図書を読んで理解を深めること
②身の回りの様々な出来事について常に興味関心を持つこと

評価方法
ゼミの参加態度（発表、共同作業への参加）80%、提出レポート20%

教科書	参考図書
「世界最先端の研究が教えるもっとすごい心理学」内藤誼人（著）総合法令出版	授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
①受け身ではなく、すべて「自分から動く」と言うことが重要、何でもまずチャレンジしてみましょう。
②欠席や遅刻をする場合には、必ず事前に連絡をすること。

01	ガイダンス
02	心理検査実習①（ＹＧ性格検査）
03	卒業研究準備①（テーマの設定）
04	DVD「チンパンジーが教えてくれる希望の秘密」視聴
05	モンキーセンター見学
06	心理検査実習②（内田クレペリン）
07	テキスト講読①
08	卒業研究準備②（文献の調べ方）
09	テキスト購読②
10	心理検査実習③（バウムテスト）
11	テキスト講読③
12	卒業研究準備③（先行文献のまとめ方）
13	心理検査実習④（モーズレイ性格検査）
14	名古屋港水族館見学
15	卒業研究準備④（論文の執筆に向けて）
16	心理検査実習⑤（主要５因子性格検査）
17	テキスト講読④
18	心理検査実習⑥（主題統覚検査：ＴＡＴ）
19	テキスト購読⑤
20	大学祭ゼミ発表準備①
21	大学祭ゼミ発表準備②
22	東山動植物園見学
23	テキスト講読⑥
24	心理学実験実習（逆さメガネ、鏡映像描写）
25	卒業研究準備⑤（論文の執筆①）
26	卒業研究準備⑥（論文の執筆②）
27	卒業研究準備⑦（論文の執筆最終確認）
28	卒業研究準備⑧（要約集の作成準備）
29	卒業研究準備⑨（要約集の作成準備）

30	卒業を迎えるに当たって（ゼミ旅行）
31	なし

2022年度シラバス

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:山下 玲香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
自然を活用した様々なアクティビティを通し、１）仲間と協力したり、自ら積極的に活動に取り組む姿勢を養う、２）豊かな自然を活用し、柔軟に対応する能力を養う、ことをねらいとする。また、自然と人工物との対比を体感し、それぞれの良さを理解するために、学外実習として大府市の健康の森に赴き、屋外のアスレチック遊具の見学、室内のジムやプール、体育館の見学、健康に関する展示の見学などを行う。ゼミ合宿では長野県または愛知県でキャンプを行う。
　卒業研究は「運動・スポーツ」「身体活動」「野外活動」「健康」に関することなどから興味のある内容を一人1テーマ設定し、取り組む

授業の到達目標
１）野外で役に立つ知識や技能を身につけ、ゼミ合宿で応用することができる…GDP１○
２）いろんな場面で身体活動をたのしむことができる…GDP２○
３）仲間と協力し、積極的な姿勢と柔軟に対応する能力が身につく…GDP３◎

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識
◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
ゼミ活動で行う身体活動に関する文献や書物を読んでおく。
また、振り返り活動は毎回行い、適宜課題を提出するので期限を守って考察をする。

評価方法
参加態度　70%　　課題や制作物　３0%

教科書	参考図書
教員から随時指示を出す	教員から随時指示を出す

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
仲間との協力・積極性を重視しますので、遅刻や無断欠席は厳禁である。
仲間と協力してゼミ活動に取り組むよう努力すること。

01	ガイダンス　ゼミ運営について
02	野外活動に関するテキストの読み合わせ
03	学内の自然観察およびロープワーク
04	救急救命・応急処置に関するテキストの読み合わせと実践①
05	救急救命・応急処置に関するテキストの読み合わせと実践②
06	学外実習に向けての準備
07	学外実習：中部大学
08	情報リテラシーに関する講義　　文献の検索方法と活用
09	論文の読み合わせ　　問題提起と解決方法
10	学内の自然観察とロープワークの実践
11	野外活動用具の知識と理解
12	野外活動における食事の知識と理解
13	ゼミ合宿に向けての準備①
14	ゼミ合宿に向けての準備②
15	ゼミ合宿：長野県栂池高原／豊田市野外センター／岡崎市野外教育センター
16	前期の振り返りレポートの作成と後期に向けての話し合い
17	豊明市消防署見学
18	自然のものを使って工作をしよう
19	大学祭展示準備
20	大学祭展示準備
21	大学祭展示準備
22	大学祭展示準備
23	大学祭の振り返りと卒業論文制作に向けての準備
24	卒業研究の読みまわし
25	卒業研究の読みまわし
26	卒業研究の読みまわし
27	卒業研究の読みまわし

28	卒業研究要約集のゼミ頁作成
29	卒業研究要約集のゼミ頁作成
30	1年間の振り返り
31	

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:西原 麻里	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
　このゼミでは、現代におけるポピュラー文化（趣味や娯楽の文化、多くのファンによって支えられる文化）を中心的な題材とし、メディア作品の内容分析や他のメディア・コンテンツとの比較分析などをすることで、現代社会の姿、また社会に生きるわたしたちの考え方について考察していきます。ポピュラー文化を「研究」するという取り組みを通じて、さまざまな視点から社会を見る目を養います。【AL】

授業の到達目標
①ポピュラー文化研究を通して、社会の価値観や文化が構成される仕組みや、その時代のある特徴を理解することができる。（DP）
②さまざまな文献・資料を読み解く力を身につける。（DP）
③自分の考えを文章等で発表する力、また他者の意見を聞いたり自分のアイデアを提案したりする力を身につける。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識
◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
○卒業研究に関する「研究ノート」を作成し、アイデアを記録すること。
○自分の研究対象や疑問に関する文献・資料を積極的に集めること。
○ゼミで指示された内容（課題など）に取り組むこと。
○毎週のゼミで研究の進捗状況を発表するために、資料の作成など発表準備をおこなうこと。
※学外（名古屋など）で開催される展覧会の見学やゼミ合宿を開催したり、学内外のイベントへの参加をする場合があります。

評価方法
ゼミ活動への参加態度（資料の作成・プレゼンテーション・他のゼミ生の研究へのコメント・その他ゼミ活動への参加）：50%
自身の卒業研究の進捗状況：50%

教科書
なし

参考図書
北田暁大＋解体研編著『社会にとって趣味とは何か――文化社会学の方法規準』河出書房新社、2017年
山田奨治編著『マンガ・アニメで論文・レポートを書く：「好き」を学問にする方法』ミネルヴァ書房、2017年
その他は適宜指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
○ゼミ生各自が運営の主体となるゼミを開催する予定です。積極的にゼミ運営に参加してください。
○教員や他のゼミ生と「報告・連絡・相談」がきちんとできることを求めます。
○柔軟かつ積極的に、自分の考えを述べたり他のゼミ生の話を聞いたりすることを心がけてください。
○特別な理由がないかぎり欠席は認めない（配慮はしない）ので、日頃から自分のスケジュールや体調の管理に努めてください。

01	ガイダンス、イントロダクション、ゼミ運営方法について相談
02	文献の収集や読解について学ぶ
03	研究テーマに関するアイデアを発表する（1）
04	研究テーマに関するアイデアを発表する（2）
05	研究テーマに関するアイデアを発表する（3）
06	文献読解（1）
07	文献読解（2）
08	文献読解（3）
09	文献読解（4）
10	文献読解（5）
11	学外での展覧会などを見学する（1）
12	研究の進捗状況を発表する（1）
13	研究の進捗状況を発表する（2）
14	研究の進捗状況を発表する（3）
15	前期ゼミのまとめ、夏期休暇中の計画を立てる
16	後期ゼミのイントロダクション
17	大学祭展示の準備をおこなう（1）
18	大学祭展示の準備をおこなう（2）
19	大学祭展示の準備をおこなう（3）
20	大学祭での研究発表（展示）
21	研究の進捗状況をまとめる

22	学外での展覧会などを見学する（2）
23	卒業論文の作成について学ぶ
24	卒業論文の執筆（1）
25	卒業論文の執筆（2）
26	卒業論文の執筆（3）
27	卒業論文の修正（1）
28	卒業論文の修正（2）
29	卒業論文の提出・卒業研究報告会の準備
30	ゼミのまとめと振り返り・卒業後に向けてのガイダンス
31	なし

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:小出 祥子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
私たちが普段、普通に使っている「日本語」を改めて見つめなおし、様々な視点から「なぜ？」と考え、その答えを見つける手法を学びます。具体的には、テーマに従って、日本語の用例を集め、分析し、発表(1人2回以上)し、議論します。発表された内容については、どのように展開していくと課題解決に繋げることができるか、具体的に伝えることで、次回の発表が発展的なものになるように指導します。プレゼンテーションや、ディスカッションのスキルを身につけるとともに、身の回りの「当たり前」を問い直し、客観的に観察する視点を養うという点で、ディプロマポリシーの１に該当します。【AL】

授業の到達目標
・日本語についての基本的な知識が身につく(DP)
・物事を客観的に考察し、問題解決に主体的に取り組む姿勢が身につく(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識
◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
発表の準備は前日までに行い、メンバー分のレジュメを用意してください。(発表ごとに5～20時間程度)
学内のイベントへの参加や、学外見学(言語景観観察)等も予定しています。積極的に参加してください。(5時間程度)
日常生活を通じて、日本語に興味を持ち、観察を続けてください。

評価方法
レジュメ作成・発表・ディスカッションへの参加態度50%、ゼミの行事への参加態度50%

教科書	参考図書
授業内で指示します	適宜、提示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
ゼミ活動に積極的に取り組む姿勢を求めます。グループでの作業も多くなるため、各自責任感を持ち、協力して、様々な活動に楽しく取り組みましょう。

01	ガイダンス
02	日本語研究の方法
03	課題文献の読み方
04	プレゼンテーションの方法
05	日本語の辞書
06	言葉を集める
07	言葉を説明する1
08	言葉を説明する2
09	発表の準備
10	課題文献の輪読・担当者による発表1
11	課題文献の輪読・担当者による発表2
12	言語景観調査の準備
13	言語景観調査の実施
14	留学生交流会の準備
15	留学生交流会の準備
16	文献の探し方
17	進捗状況発表の準備
18	研究テーマについての進捗状況発表
19	大学祭ゼミ参加の準備1
20	大学祭ゼミ参加の準備2
21	大学祭ゼミ参加の準備3
22	研究テーマについての言語調査報告1
23	研究テーマについての言語調査報告2
24	論文の執筆1
25	論文の執筆2
26	中間報告会
27	論文の執筆3
28	論文の執筆4

29	研究発表会
30	ゼミ活動の振り返り
31	なし

科目名:教養演習Ⅱ	担当者:福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
人と人（または動物など）との直接の触れ合いによる癒しの力や笑い（笑顔）と心身の健康について，心理学的観点から学びます。その他，「こころ」と関連する事柄について随時取り上げ，ディスカッションを通して理解を深めます。単なる知識の習得に留まらず，実際に自分の体験を通して学び，将来社会において主体的に問題に取り組める力を養います。そのため学外での施設見学や体験も行います。下記ディプロマポリシー全てと関連します。【AL】

授業の到達目標
①人と人（または動物等）との直接的な体験により5感を通して感じる「癒し」をテーマに，日常にある素朴な疑問に気付き，文献を調べ，心理学的に卒業論文にまとめる過程を通して，自ら気づき主体的に行動し，努力を続けられる力を養う「(DP)」。
②グループでの取り組みを通して，他者と協働して主体的に物事に取り組める力を養う「(DP)」。
③社会人として必要なプレゼンテーション能力を身につける「(DP)」。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識
◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
①身近な出来事（社会問題等）に興味関心を持ち、関連する情報や文献を読む
②自分自身の感性を豊かにするために色々な経験を通して，自身の気持ちや身体感覚に気づけるように心がける
③データの収集と分析を通した卒業論文作成作業
④既成概念にとらわれず，自ら考え創造的に行動することを心がけましょう！

評価方法
１．卒業研究の取り組み姿勢（資料作成・プレゼンテーション等）（50%）
２．ゼミの取り組み姿勢（50%）

教科書	参考図書
特になし	適宜紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
①社会人としての基本的マナーとしてきちんと連絡する習慣をつけてください（無断欠席や遅刻は厳禁）
②主体的にゼミに参加し、ゼミメンバーと協力しましょう
③悔いが残らないように学生生活を充実した学生生活にしましょう
④就活対策，編入試験対策は別途行います。
⑤その他，質問などは随時受け付けます。

01	ガイダンス
02	就職支援：心理テストによる自己理解①
03	就職支援：心理テストによる自己理解②
04	就職支援：その他，就活でおさえておくべきこと。
05	フィールドワーク準備
06	フィールドワーク①（東山動物園or南知多ビーチランドorわんわん動物園）
07	フィールドワークの事後ふりかえり
08	卒業研究準備①：研究テーマ検討
09	卒業研究準備②：関連論文発表（1回2名ずつ）
10	卒業研究準備③：関連論文発表（1回2名ずつ）
11	卒業研究準備④：関連論文発表（1回2名ずつ）
12	卒業研究準備⑤：関連論文発表（1回2名ずつ）
13	卒業研究準備⑥：研究テーマ決定
14	データ収集①（ＰＣ・図書館等）
15	データ収集②（ＰＣ・図書館等）
16	データ分析①（ＰＣ・図書館等）
17	データ分析②（ＰＣ・図書館等）
18	データ分析③（ＰＣ・図書館等）
19	大学祭準備①
20	大学祭準備②
21	大学祭準備③
22	フィールドワーク②（長島スパーランドor名古屋港水族館，フィールドワーク①であげた3施設のいずれか）
23	フィールドワークの事後ふりかえり

24	卒業論文　執筆①
25	卒業論文　執筆②（一次提出）
26	卒業研究中間報告（卒論要約作成）
27	卒業論文　執筆③
28	1年のまとめ①：卒業論文本提出
29	1年のまとめ②：総合振り返り
30	卒業を迎えるに当たって（ゼミ旅行）
31	なし

科目名:卒業研究	担当者:茶谷 淳一・高谷 邦彦・辻 広志・綾部 六郎・矢澤 久史・山下 玲香・西原 麻里・小出 祥子・福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
　本科目は受講生による主体的な取り組みが必要です。各自で課題を設定し、関連する文献や資料を収集したり、フィールドワークを行ったりして、担当教員の指導のもとに研究を進めていきます。最終的には本文8000字以上の文章にまとめて提出します。【ＡＬ】

授業の到達目標
　社会で必要とされる力、すなわち自ら設定した課題について深く学び、問題点を見つけ出し、その解決のために必要なことなどを文章化することができるようになります。[DP]

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　所定の時間だけですぐれた内容の文章を書くことは難しいので、授業時間外にも各自で研究・調査や執筆を進める必要があります。
　また、執筆開始までにパソコンやワープロソフトの基本的な使い方を習得しておかなくてはなりません。

評価方法
卒業研究への取り組み状況（50%）、卒業研究の内容・完成度（50%）で評価します。

教科書	参考図書
担当教員から指示します。	担当教員から指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　良い卒業研究をまとめるためには、社会に対する問題意識や旺盛な好奇心が必要です。インターネット上の記事だけに頼ることなく、さまざまな書籍や新聞を読むことや多くの人々との出会いも貴重な機会となります。何事にも積極的に挑戦しましょう。

01	卒業研究とは何かを学ぶI
02	卒業研究とは何かを学ぶII
03	卒業研究とは何かを学ぶIII
04	卒業研究とは何かを学ぶIV
05	卒業研究とは何かを学ぶV
06	文章の書き方指導I
07	文章の書き方指導II
08	文章の書き方指導・個別指導I
09	文章の書き方指導・個別指導II
10	文章の書き方指導・グループワーク
11	調査研究の進め方I
12	調査研究の進め方II
13	調査研究の進め方III・実践
14	調査研究の進め方IV・個別指導
15	課題登録準備
16	課題登録
17	個別指導および文献収集I
18	個別指導および文献収集II
19	個別指導および文献収集III
20	途中経過報告会資料作成I
21	途中経過報告会資料作成II
22	途中経過報告会I
23	途中経過報告会II
24	要約集作成作業I
25	要約集作成作業II
26	要約集個別指導
27	卒業論文発表会準備I
28	卒業論文発表会準備II
29	卒業論文発表会準備III
30	卒業論文発表会（各ゼミごとに）

31	まとめ

科目名:心理学	担当者:福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　この授業では「こころ」とは何かについて，①心理学理論による人間理解とその方法，②乳幼児期，児童期，青年期，老年期等人間の発達段階に特有な心理的・身体的な特徴，③心理的評価法・援助技法の概要，④社会福祉の援助活動と心理学理論の関連について学びます。また，各種心理テスト体験やコミュニケーションについてのペア（グループ）ワークも交えながら，自己理解や他者理解を深め，就職活動に活かします。
　授業では毎回振り返りの小レポートを提出していただきます。提出された小レポートはコメントをつけて，次回の授業時にフィードバックします。【AL】

【担当者の実務経験】臨床心理士・公認心理師としてこれまで医療機関（精神科・心療内科）や学校現場等において心理臨床業務に従事してきました。】

授業の到達目標
①心理学理論による人間理解とその方法を理解し説明ができる(DP)
②乳幼児期，児童期，青年期，老年期等人間の発達段階に特有な心理的・身体的な特徴を理解し，説明ができる(DP)
③心理的評価法（各種心理テストなど）・援助技法の概要について理解し，説明ができる(DP)
④社会福祉の援助活動と心理学理論の関連について理解し，説明ができる(DP)
⑤コミュニケーション力を養うグループワークを通して，他者の意見を理解する力と自分の意見を相手に伝えることができる(DP)
⑥メンタルヘルスマネジメント検定（大阪商工会議所主催）第Ⅲ種（セルフケアコース）合格を目指します(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　本授業の主に前半で実施する心理テストやワークについての予習は必要はありません（先に実施内容が分かってしまうと正確な情報が得られなくなるため）。そのため心理テストについては復習中心で取り組んでください。事後学習として授業で紹介した内容について関連書籍などを読み知識を深めましょう。
本授業の中盤以降で紹介する心理学の理論等については，下記参考図書等に目を通し事前に予習をしておいてください。

評価方法
毎回の小レポート(45%)、授業への参加態度(25%)，確認テスト（30%）。

教科書	参考図書
特に指定しないが，下記参考図書を購入することをお勧めします。	新・社会福祉士養成講座2「心理学理論と心理的支援」中央法規，￥2,200+税

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　本科目「心理学」，「社会福祉概論」，「経済学」，「法学」の4科目から計3科目を履修することで，社会福祉主事任用資格が取得できます。
　2年の前期は就職活動があり、エントリーシート作成などで「自分とは何か」を真剣に考えないと行けない時期です。本授業を通して自己理解を深め，就職活動に役立てましょう。
なお，リアルタイムでのオンライン授業となった場合はカメラオンを求めることがあります。

01	ガイダンス 心理学について ～ 心をどうやって調べるのか 人間の行動 ～ 自分の心は自分のものなのか 人間の行動 ～ 好き嫌いって？ 人間の行動 ～ 迷信をなぜ信じてしまうのか 記憶と学習 受講の注意点と講義内容について
02	心理学の基礎的理解：心の不思議，心の調べ方
03	自己理解を深める①エゴグラム体験
04	自己理解を深める②Y-G性格検査体験
05	心理学の意義と歴史
06	心理学の対象と研究方法
07	人間の心理学的理解，人間の成長・発達と心理的理解
08	適応とストレス①
09	適応とストレス②　メンタルヘルスマネジメント検定取得対策
10	人間理解のための心理学理論と技法（認知行動療法）
11	老人・障がい者の心理的理解と心理的援助法（心理支援）　コラージュ療法体験
12	コミュニケーションワーク
13	その他心理的援助法（心理支援）タッピングタッチ
14	その他心理的援助法（心理支援）マインドフルネス瞑想
15	まとめと確認テスト
16	なし

2022年度シラバス

科目名:人間関係と恋愛の心理	担当者:矢澤 久史	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
恋愛をはじめとする様々な人間関係における現象について臨床的な観点に立った視点で検討する。①社会心理学の研究について、日常生活に役立つように具体的な例を挙げながら、わかりやすく解説していく。②身の回りのちょっとしたところにいろいろな心理学が関係していることを実感しながら、。幅広い分野にわたる　知識を身につけ、より広い視野に立って物事を考えていくことができる思考力を身に付ける。③心理テスト（２回）、簡単な心理学実験（１回）、ＤＶＤ視聴（２回）により理解を深める。

【担当者の実務経験】臨床心理士、公認心理師としてのスクールカウンセラーや大学学生相談室カウンセラーとしての経験を踏まえ、恋愛をはじめとする様々な人間関係における現象について臨床的な観点に立った視点で講義する。

授業の到達目標
　単純接触効果、認知的不協和理論、対人魅力、同調、役割演技、責任分散仮説などのこれまでになされた社会心理学の研究についての理解を深め、日常生活で人間関係をうまく形成するために社会心理学の知識を役立たせることができるようになることを目標とする。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎専門知識
○思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
授業で興味を持った内容について関連図書を読んで、理解を深めること。

評価方法
定期試験の結果（８０％）＋各授業時の小レポート（２０％）。小レポートに書かれていた疑問点については次授業で解説を加える。

教科書	参考図書
指定なし	授業中に適宜紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
毎回の授業の最後に授業の感想や疑問点などを小レポートにまとめて提出してもらう。

01	社会心理学に関する知識は？（事前調査）、初めてのデートではどこへ行く？（吊り橋効果）
02	あなたの恋愛のタイプはどれ？　情熱的タイプ？　友愛的タイプ？　利愛的タイプ？
03	好意と恋愛、何回も逢うと好意度は増す？遠距離恋愛は実らないことが多い？（単純接触効果）
04	親が恋愛に反対するほど恋が燃え上がる？（ロミオとジュリエット効果、認知的不協和理論）
05	赤い色を身に付けるとモテる？一目ぼれのタイプとは？（対人魅力①）
06	どのような告白が効果的？お酒を飲むと異性が魅力的に見える？（ビアゴーグル効果）
07	なぜ女性は男性の指が気になるのか？左右対称（シンメトリー）の効果とは？（性選択①）
08	外見的魅力、美人顔の特徴とは？みんなの顔を合成したら、どんな顔になる？（対人魅力②）
09	相貌失認、プロポーション10：７、高級車に乗っているとモテる？（性選択②）
10	皆が紅茶を注文すると、コーヒーが飲みたくても紅茶を注文してしまうのはなぜ？（同調①）
11	「みんながそう言っている」という時の「みんな」とは何人？（同調②）、嘘を見破るには？
12	囚人役と看守役に分けて模擬刑務所で生活させたら？（役割演技、ＤＶＤ映画「エス」視聴）
13	ウワサはどのように広がるの？（流言の伝達実験実習、ＤＶＤ「200X・うわさ」視聴）
14	大勢で仕事をすると手抜きをする人がいるのはなぜ？（責任分散仮説）
15	第一印象はどのようにして決まる？　確認テスト
16	

科目名:芸術の世界	担当者:大竹 有子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
芸術のさまざまな分野（美術・音楽など）を、他分野（文学・歴史・民俗など）との関わりを通して紹介する。さまざまな実例を通して、芸術とはなにか、人間との関りを自分ごととして考え、また芸術を楽しむ。

授業の到達目標
講義で紹介する実例や様々な見解を通し、受講者それぞれの芸術についての意見・姿勢や、芸術との付き合い方を形成する（DP）。受講者それぞれが、好きな芸術分野や作家を持ち、自分のものとして芸術を享受する。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識…文学、芸術学、民俗学・文化人類学などの内容を総合的に含む内容
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力…上記に基づき、各自の芸術への姿勢・価値観を涵養する

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業内で紹介する参考文献や自分が興味を持った書籍を読み、講義の内容について考察を深める(DP)。インターネットを利用した関連事項の予習・復習をする。また興味ある分野について美術館・博物館・実演に触れる(DP)。（出かけてライブに参加が望ましいが、無理せずネット配信などを活用する）

評価方法
授業中の参加態度および授業後の小レポート（感想文）40%、期末レポート60%
フィードバックは、授業時等において、課題・レポート等について、個別あるいは全体へ行う。試験においても提出後に行う。

教科書	参考図書
指定しない。レジュメを配布。	都度紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
予備知識や技術は問わない。積極的な態度を歓迎する。講義内容は受講者の関心に合わせて多少変更することがある。また受講者の希望は可能な限り講義内容に反映する。

01	オリエンテーション：あなた／わたし　と「芸術」を再考する
02	「芸術」とはなにか：さまざまな「芸術」、さまざまな関連・隣接分野
03	伝統芸能の世界①インドネシア・バリ島の伝統舞踊　鑑賞（講師による実演）・体験
04	「芸術」とファッション：「民族衣装」の美
05	「きもの」の成立と文化：衣生活の歴史的変遷と美意識
06	日本と沖縄の伝統的衣装の美意識と現在
07	アクセサリー・ジュエリーの美意識と民俗
08	「美女」とはなにか：人体に対する美意識とその表現
09	上村松園と日本近代の美人画
10	伝統芸能の世界②能楽の囃子について（ゲストの大つづみ奏者による解説・実演・体験）
11	「用の美」：民藝と手しごと
12	沖縄の美：染織・芸能 音楽と社会：『オーケストラ！』前半鑑賞
13	ことばによる表現と芸術：文学との関わり
14	「芸術」と「手づくり」「手芸」のあいだ
15	まとめ：自分にとっての「芸術」とのつきあい方とは
16	なし

2022年度シラバス

科目名:日本の文学	担当者:鶴田 武志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
映画化されている日本の文学作品を扱い、原作と映画の双方に触れることで映像表現と文章表現との違いを知り、それぞれの技法や構成を考えます。講義としては3回で1作品、映画も実際に観てもらい、日本の文学を理解する。

授業の到達目標
映像表現と文章表現との違いから、それぞれのメディアの特性を考えることを目指します。また、「日本の文学」が人間関係というテーマを、どのような表現技法、あるいは物語の構成で描いていたのかを論理的に考えてもらいます。最終的には、それらの表現構造に対する自身の考えを書けるようになる。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
講義で扱う小説を1冊以上を完読してもらいます。読書感想文の課題を出します。

評価方法
テスト80%、課題+コメントシート（毎時間）20%

教科書	参考図書
適宜プリントを配布	なし

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
毎回、コメントシートを書くことで自分の考えを的確に記述できるようにしていきましょう。またコメントシートに書いてもらった質問には次回講義の冒頭で答えていきます。

01	オリエンテーション。授業のテーマの概説。授業の進め方の説明。
02	谷崎潤一郎原作『春琴抄』（2008）の前半を観る。谷崎潤一郎の文学史的意義について解説。
03	谷崎潤一郎原作『春琴抄』（2008）の後半を観る。『春琴抄』についての概説。
04	原作『春琴抄』の表現技法について解説。2008年版以外の『春琴抄』映画との比較。
05	東野圭吾原作『手紙』（2006）の前半を観る。東野圭吾についての解説。
06	東野圭吾原作『手紙』（2006）の後半を観る。前回、感想の共有。
07	原作『手紙』の表現技法を解説。映像表現と文章表現の比較。
08	松本清張『ゼロの焦点』（1961）の前半を観る。松本清張の文学史的意義、東野圭吾との関係について。
09	松本清張『ゼロの焦点』（1961）の後半を観る。松本清張についての解説。
10	原作『ゼロの焦点』の表現技法を解説。映像表現と文章表現の違いの意味について解説。
11	恩田陸原作『夜のピクニック』（2006）の前半を観る。恩田陸についての解説。
12	恩田陸原作『夜のピクニック』（2006）の後半を観る。前半の感想の共有。
13	原作『夜のピクニック』の表現技法について解説。原作を映像化への工夫について解説。
14	恩田陸原作『夜のピクニック』関連作品の解説。
15	まとめ
16	テスト

2022年度シラバス

科目名:福祉スポーツ	担当者:寺田 恭子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
様々な障がいのある人たちの身体活動とスポーツに関する歴史的変遷および現状について学び、全ての人間がスポーツという文化に親しみ、健康な心身を育んでいくためのスポーツと社会の在り方について理論と実践から学ぶ。

授業の到達目標
学生は、個々人の違いを理解し、より広い視野に立って物事を考える力を身につけ、“共にスポーツを楽しみ”、”共に生きること”をスポーツを通して深く考える。またそれらを通して社会生活に必要な教養と専門的な技術・知識さらに行動力が身につき（DP)、自らの持てる力を活かしてより良い人間関係を築き、社会に貢献することができる力を取得することを目標とする（DP）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○幅広い分野にわたる専門知識
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
2021年（夏季）および2022年（冬季）に開催されたパラリンピック等に関する情報をあらゆる角度から収集し、パラリンピックに関するディスカッションに積極的に参加できるよう準備をする。また事後学修については、新しい用語や制度などをノートに整理すること。

評価方法
　合計4回のミニレポートが10点満点×4回＝40点。障がいのある方との交流活動参加後のレポート課題20点満点。学期末確認テスト40点満点。以上の合計100点満点で評価する。

教科書	参考図書
特になし。その都度プリントを配布する。	必要なときに提示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
掲示板を毎回チェックすること。授業は実技あり。実技の際には動きやすい服装と体育館シューズを忘れないように。スポーツを実践している障がいのある方を外部講師としてお呼びする（初級指導資格関連）ので、その授業には必ず参加すること。

01	オリエンテーション　Adapted Sports について
02	障がい者スポーツとはなにか。障害者福祉施策からひも解く
03	障がい児・者とスポーツの意義と理念および歴史的変遷
04	パラリンピックの歴史と現状
05	スペシャルオリンピックスおよび様々な障がい者スポーツ
06	障がい者スポーツボランティア・全国障害者スポーツ大会他ボランティアの現状と志度者制度
07	重症心身障がい者とスポーツ　日常生活と心身に対する知識および理解
08	様々な身体と表現するカラダ　車いすダンススポーツ・シンクロナイズドスイミング他
09	障がい者とスポーツに関係する映画を通して、障がい者とスポーツ環境について考える
10	障がい者スポーツの実践の前に　スポーツ環境と安全管理　個々の身体への対応
11	実践活動①視覚障がい者とスポーツ　理解と補助/サウンドテーブルテニスの体験と講義
12	実践活動②パラリンピック正式種目　ボッチャの体験と講義
13	実践活動③高齢者のための身体活動　高齢者・知的障がい者対象　社交ダンスの体験
14	実践活動④車いすダンススポーツの体験　外部講師（障がいのあるダンスアスリート）と共に
15	2021年に向けての課題とパラリンピックスポーツのレガシーについて考える。確認テスト。
16	まとめ

2022年度シラバス

科目名:社会福祉概論	担当者:横井 優子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　社会福祉の基礎的な理論、福祉のニーズとサービス、援助技術や法制度などをテーマに授業をすすめる。事例などを用いて社会福祉の視点を身につける。グループワークを２回程度取り入れ、自分たちの考えや意見を共有し発表する。

授業の到達目標
　現代社会における社会福祉の理念と意義、社会福祉のあゆみの過程と方向性を理解する(DP) 。福祉サービスの提供と組織運営、社会福祉従事者の現状と専門職制度を理解して連携の基盤を形成する(DP) 。社会福祉をめぐる動向を理解する(DP) 。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　それぞれの福祉分野について、自分達でも課題や現状などを調べる。　また、情報を共有した後で再度、理解が深められたかを復習する。

評価方法
　学習態度と授業後に実施する小レポート（50%）課題レポート（50%）

教科書	参考図書
資料を配布	授業時に紹介

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　質問は、小レポートに記入してもらい、次の授業で返答する。

01	現代社会と現代福祉　社会福祉の定義と授業の流れ
02	社会福祉の歴史　日本
03	社会福祉の歴史　イギリスなど
04	社会福祉のニーズそなどの把握
05	社会福祉サービスの概観　サービスの提供と組織運営
06	児童福祉
07	高齢者福祉
08	障がい者福祉
09	社会保障と公的扶助
10	地域福祉
11	社会福祉の法律としくみ
12	社会福祉の機関と施設　社会福祉従事者と専門職 社会福祉の機関と施設　社会福祉従事者と専門職倫理
13	社会福祉援助技術　直接的援助
14	社会福祉援助技術　間接的援助
15	社会福祉の今後の課題
16	

2022年度シラバス

科目名:生活と医療	担当者:村上 忠明	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
日常生活に存在する「リスク」について、ワークショップやグループワークを通じて具体的に学ぶ【AL】。
また、「こどもの安全」に着目し、こどもの特性を踏まえながら「対策」と「対応」について基礎的な知識と技術を学ぶ。
授業ごとにコメントシートを提出し教員からフィードバックを受ける。講師は救急救命救護法国際インストラクター及び青少年活動の指導者（CONEトレーナー・NEALコーディネーター）であり、実践的な観点から知見を提示する。

授業の到達目標
日常生活に存在するリスクをコントロールしつつ、自分や家族、身近な人々が安心・安全に暮らすための基礎的な知識と技術（ファーストエイド）を身につけることができる【DP】。こどもの特性を理解し、緊急時に適切な対処ができる知識を身につけることができる【DP】。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
こどもを取り巻く生活上のリスクについて、衣・食・住の総合的な観点からICT等を通じた情報収集に努める。

評価方法
授業への参加態度30%　各回のコメントシートの内容30%　確認テスト40%

教科書	参考図書
必要に応じてプリント等を配布する。	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
初回のオリエンテーションは必ず出席すること。救急救命救護法ライセンスの取得については随時質問を受け付ける。講師の連絡先は授業で伝える。

01	オリエンテーション（授業の概要とねらい）
02	フィールドワーク／「生活の中に存在する多様なリスク」について考える
03	注意義務（「予見」と「回避」）について理解する
04	グループワーク／「ヒヤリハット体験」の共有
05	ワークショップ通じてリスク予知能力向上の必要性を理解する
06	こどもの特性の理解と実際にあった死亡事故の事例・判例を知る
07	「ファーストエイド」を理解する（自己防衛・法律・通報・初期の評価・事態に応じた対処）
08	グループワーク／「病気」の対処法を理解する
09	グループワーク／「ケガ」の対処法を理解する
10	グループワーク／「チョーキング」の基礎理解と手法を理解する
11	グループワーク／「CPR（胸部圧迫と人工呼吸）」の基礎理解と手法を理解する
12	グループワーク／「AED」の基礎理解と使用法を理解する
13	ワークショップ／スキル学習の統合・救急救命救護法の実践練習
14	救命率向上に関するディスカッション（安全・安心に暮らすために）
15	授業のまとめ、確認テスト（資格認定試験）
16	なし

2022年度シラバス

科目名:いのちの科学	担当者:山下 玲香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
【担当者の実務経験】高等学校教諭
この授業科目では、元高等学校教諭での経験を踏まえ、学校保健の知見から、生命科学を日常生活で活用するための具体的な方策を学ぶ。また女子教育において必要な知識を身につけるだけでなく、自ら課題を発見し、発表に向け計画・準備を行い、他者へ伝える発信力を養う。また、この授業はアクティブラーニング形式を取り入れ授業展開をする。（AL）

「いのち」とは、2つの生命の結合により発生するものであり、その連続が今日の自分にたどり着いた生命の歴史そのものである。ヒトが生まれて死ぬまでの人体の不思議や身の回りの生き物の生態など、生命科学の基礎を学び、理解を深める。

この授業を受けることにより、生理学的な分野の知識を身につけ物事を考えていくことができる思考力と、課題解決に取り組むことができる行動力、様々な方法により他者に伝えようとするコミュニケーション力が身につく。

授業の到達目標
１）ヒトが生まれて死ぬまでの人体の不思議や身の回りの生き物の生態など、生命科学の基礎を理解する。…GDP１◎
２）授業のテーマについて自ら考え、意見を述べたりまとめたりする。…GDP２、３○

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
１）興味のあるテーマについて、書籍やインターネットで調べる。２）提出された課題について、授業内で指定された方法で取り組む。

評価方法
１）まとめ３0点、平常７０点（出席状況、課題、授業への取り組み姿勢など）の合計100点満点で評価する。
２）授業中の迷惑行為（私語、化粧、スマホや携帯電話等の無断使用、遅刻、無断退出等）を行った場合は、平常点から減点する。

教科書	参考図書
教員から随時指示する	教員から随時指示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
１）授業には前向きな姿勢で取り組むことを期待しています。課題には真摯に打ち込み、グループワークは積極的に発言してください。
２）PCでレジメを配布しますが、紙面の場合もあります。

01	いのちの多様性
02	ヒトのからだの不思議
03	ヒトのからだの構造と内分泌系
04	血液・心臓
05	骨・筋肉
06	脂肪
07	内臓
08	グループディスカッション
09	個人発表準備
10	個人発表
11	菌とウイルス
12	ヒトと疾病の歴史
13	感染症
14	いのちの美しさ　数と整列
15	１～14回の授業まとめ
16	

2022年度シラバス

科目名:女性と労働	担当者:伊藤 静香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
国際化や多様化が進む現代社会のさまざまな問題に適切に対応する力を養うために、幅広い知識を身に着け自己を成長させる。授業では「労働」をテーマに、講義だけでなく、プリント資料やDVDを活用して、すぐに役立つ実践的な内容で進める。また、コメントシート記入（毎回）やグループワークやワークショップ（2～3回）を行い、課題解決のために自主的、主体的に取り組む力を身に着ける。課題にはコメントをつけて返却する【ＡＬ】

授業の到達目標
現代社会における働く女性の現状と課題を知り、学習を通して、一人ひとりが自分の人生に向き合あい、働く目的、目標を持つことができるようになる【DP】。労働に関する法律や制度を学び、雇用社会を生き抜く知恵を身に着けられるようになる。学修やグループワークを通じて、より広い視野に立って、物事を考えていくことができるようになる。【DP】
【到達目標と深く関連する学科DP】◎幅広い分野にわたる専門知識○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
準備学修：次回の授業で学習するテーマについて具体的な事例を考える。　事後学修：労働に関する記事や情報に関心を持ち、毎日1回は新聞やインターネットで労働に関連する記事や探し読み、自分なりの考えを持つ。　（準備学修、事後学修あわせて毎週4時間程度）

評価方法
①授業への参加態度20%　②授業に出席した際に配布するコメントシート30%　③期末レポート50%

教科書	参考図書
特に指定しない	授業中に指示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
対面授業におけるコメントシートは出席当日のみ受け付けます。教員の連絡先は授業にてお知らせします。

01	オリエンテーション：現代社会で女性が働くこと（グループワーク）
02	働く女性のあゆみ（グループワーク）
03	ワークルール①労働者を守る法律について
04	ワークルール②働く前に知っておきたいこと（採用・労働契約等）
05	ワークルール③働き始めに知っておきたいこと（労働条件、賃金、労働時間等） ワークルール：労働者を守る法律について
06	ワークルール④職業生活と社会保障
07	ワークルール⑤まとめ
08	職場のトラブル：ハラスメントの構造を学び、防止策を考える
09	人権問題としてのセクシュアル・ハラスメント
10	女性の就業をめぐる現状と課題
11	女性と子どもの貧困問題
12	多様化する雇用について考える
13	男女平等な働き方とは
14	女性と人身取引の問題
15	女性のキャリアと労働：自分らしい生き方を考える（ワークショップ）
16	なし

2022年度シラバス

科目名:企業と会計	担当者:久世 俊彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
私たちの身の回りでは、沢山の企業が活動しています。会計は、それら企業の活動を「貨幣」という尺度で写し取り、財務諸表として私たちに多くの情報をもたらしてくれます。この授業では、財務諸表を読み取る能力を育て、さらに現実の総務・経理実務で遭遇しそうな論点について解説をしていきます。

授業の到達目標
①財務諸表を読んで、企業の安定性・収益性・成長性を判断できるようにようになる（DP)。
②現実の総務・経理業務で遭遇しそうな論点につき、何を調べればよいかといった解決する方策を知識として習得する（DP)。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
①ニュースや新聞などで最新の企業の活動をチェックしてください。
②強制する訳ではないのですが、財務諸表の「作り方」を学ぶ簿記３級を並行して学習するとよいと考えます。

評価方法
小テスト：3回実施、各10点　中間レポート：30点　確認テスト：40点　合計：100点

教科書 講義資料を配布予定	参考図書 谷武幸・櫻井久勝　編著『１からの会計』中央経済社

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
レジュメは配賦しますが、目次的なもので、当日の講義内容・板書を書き写して頂く事を想定しています。

01	講義の説明及び決算書を読むために必要最小限の簿記の知識の解説
02	企業を取り巻く各種法令（会社法、金融商品取引法、法人税法の３法について）
03	企業の業務サイクルの理解と商品売買（ERPパッケージソフトを例に）
04	総務、経理、営業事務の仕事
05	重要な三つの財務諸表ー貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書
06	人件費取引に関する会計処理
07	有価証券取引、固定資産取引の基礎①（主として有価証券取引）
08	有価証券取引、固定資産取引の基礎②（消耗品費、修繕費と資本的支出）
09	経費取引（交際費及び寄付金）に関して
10	金融商品会計とリース会計の基礎
11	経理業務（消費税の基礎と月次決算）①
12	経理業務（確定申告）②
13	本支店会計、連結財務諸表
14	会社法における様々な組織再編手法
15	ケース・スタディ（企業内容開示情報を入手する手法）
16	考査

2022年度シラバス

科目名:事務管理	担当者:加藤 洋美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
仕事において必要な事務処理の基礎的能力を身に付けるためにビジネス文書作成について学ぶ。文書作成は仕事を進めるうえで必要不可欠であり、職業人としてのみならず社会生活全般で求められる基本的素養である。作成に必要な用語、表現、書式など具体的な事例を学び、毎回講義で実践演習を行い、次回の小テストにより知識の定着を図り、情報伝達のコミュニケーションとしてこれらを活用することができるようにする。

授業の到達目標
①事務の本質、経営の側面からみた役割を理解することにより、仕事の基礎的能力を修得する。(DP)
②社会人として、基本的な文章表現力を身につけることにより、様々な人生の局面における問題に対応していく力を養う(DP)
③ビジネス文書検定の合格を目指す。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
日頃から身の回りにある手紙や新聞などに関心を持ち、文章を注意深く読んでみる。言葉の意味に加え、正確でわかりやすい文章、感じのよい表現とはどのようなものかを意識する習慣をつける。
単元ごとに小テストを行うので、毎回講義終了後、学んだ内容を振り返り疑問点を解消し、基本事項は覚えること。

評価方法
確認テスト・小テスト・提出物など（70%）、授業に対する意欲的な取り組み・参加態度（30%）を評価し総合的に行う。

教科書	参考図書
『よくわかる社会人の基礎知識　マナー、文書、仕事のキホン』	『ビジネス文書検定受検受験ガイド3級』　『ビジネス文書検定受験ガイド1・2級』

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
配付プリントは各自で整理しファイルしてください。連絡先は授業で開示します。

01	授業のオリエンテーション
02	ビジネスに使われる漢字、固有名詞
03	間違えやすい漢字
04	文書の基礎知識
05	正確な文書
06	分かりやすい文書
07	礼儀正しい文書
08	社内文書
09	社外文書
10	社交文書
11	就職活動に関する文書
12	文書の取り扱い
13	ビジネス文書検定とは
14	メールの作成とマナー
15	学習のまとめと確認テスト
16	なし

科目名:秘書実務	担当者:吉田 智美・加藤 洋美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この授業では、秘書だけでなくあらゆる業種や職種において必要とされるビジネス実務のマナー、ルールを理解する。グループディスカッション（全2回）、グループワーク（全４回）やインバスケット（全7回）を行い、知識を理解し、臨機応変に応用できる力を修得する。さらに社会でより良い人間関係を構築するため、コミュニケーションに必要な知識も学ぶ。
社会生活で必要とされる知識を身につけ、その持てる力を活かし、社会へ貢献することを目的とする。【ＡＬ】
【担当者の実務経験】企業での実務経験、接客経験などから机上の内容でだけでなく、卒業後の仕事に活かせる内容を意識し、授業を行う。

授業の到達目標
前半では、ビジネスにおいて必要とされる言葉遣い、電話応対、来客応対などの仕事の基本的な進め方を理解することを目標とする。後半では、ビジネス文書、慶弔のマナーを学ぶ。さらに、ビジネススキルのインバスケットを行うことにより、事務処理の応用力を磨き、卒業後の社会生活に対応できるよう知識を身に付けることができるようになる。社会生活で必要とされる知識を身につけ、その持てる力を活かし、社会へ貢献することを目的とする。「（DP）」さらに、秘書検定2級、準1級の取得を目標とする。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
社会の出来事について、興味をもって新聞やニュースを見て理解すること。事前課題、事後課題、復習、試験対策などでおおよそ30時間程度の予習復習を要する。具体的な内容は授業中に指示する。2～３回（事後）授業で学んだ内容を意識しながら、普段の生活でのコミュニケーションスキル振り返り、より良いコミュニケーションができるよう対応する（4時間）。4～10回（事後・事前）普段使用する言葉（アルバイトなど）や電話応対を振り返り、疑問点を出し、正しい言葉遣いで対応する（4時間）11～14回(事後）接遇での知識をアルバイトで活用

評価方法
授業への参加態度30％　実技・提出課題30％　確認テスト40％
提出課題については、次回授業時に解説、返却を行う

教科書	参考図書
『よくわかる社会人の基礎知識　マナー、文書、仕事のキホン』	授業中に指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
卒業後の社会人生活を意識しながら授業に参加してほしい。
質問などはオフィスアワーで対応、連絡先は授業内に伝える。

01	学習の目的と進め方について　グループディスカッション
02	必要とされるコミュニケーション①聴き方　グループワーク
03	必要とされるコミュニケーション②伝え方　グループワーク
04	言葉遣い①　敬語について
05	言葉遣い②　接遇用語
06	言葉遣い③　状況対応
07	電話応対①　求められるマナー
08	電話応対②　かけ方について
09	電話応対③　受け方について
10	電話応対④　状況対応について　ケーススタディ、グループワーク
11	来客応対①　心構えについて
12	来客応対②　名刺交換、案内、グループワーク
13	来客応対③　席次、茶菓のマナー、見送り
14	来客応対④　状況対応
15	前半のまとめと確認テスト
16	慶弔のマナー①　慶事のマナー
17	慶弔のマナー②　弔辞のマナー
18	慶弔のマナー③　贈り物のマナー
19	ビジネス文書①　社内文書
20	ビジネス文書②　社外文書
21	ビジネス文書③　はがき、封筒の書き方
22	食事のマナー　和食、洋食、立食など　グループディスカッション
23	インバスケット１　仕事の優先順位について
24	インバスケット２　社外文書・社内文書復習
25	インバスケット３　電話応対復習

26	インバスケット４　慶弔の取り扱い復習
27	インバスケット５　出張業務
28	インバスケット６　ファイリング
29	インバスケット７　報告、連絡、相談について
30	まとめ、確認テスト
31	なし

2022年度シラバス

科目名:Ｅｘｃｅｌプログラミング	担当者:木下 博光	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
企業において幅広く活用されている表計算ソフトウェアExcelの基本関数を学び、実戦に近い練習問題をすることで、具体的な問題解決にチャレンジし、知っている関数から、使える関数にしていきます。

授業の到達目標
企業などにおいて即戦力としてExcelが使えるように、より実務的な機能を習得することを目的とします。基礎で学んだものをベースに、複合関数の使い方を学んでいく。知っている関数ではなく、使える関数40個を目指す。 (DP)製作者以外の人が、まちがいなく使いやすい入力方法やレイアウトを習得する。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
日常生活で困ったことをメモに残し、Excelを使用して効率のよい方法を考える。

評価方法
授業への参加態度50％　随時提出ファイル50％により評価する。

教科書	参考図書
随時プリント配布	ビジネスExcel 完全版　出版社: 日経BP社　ISBN-10: 4822258459

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
複合関数を使い１セル内で結果が出せるように、がんばってみましょう。

01	ガイダンス、複合関数体験
02	エクセル基礎の確認 1　基本的な操作、ファイル形式と保存方法 エクセル基礎の確認 1　基本的な操作とファイル保存形式と方法
03	エクセル基礎の確認 2　基本的な関数　SUM・AVERAGE・IF・XLOOKUP
04	IF関数のマスター　ネスト処理　NOTとAND
05	VLOOKUP　完全一致と近似値のちがい、エラー表示をなくそう
06	INDEXとMATCHで送料を求めよう
07	INTで金種計算と四捨五入
08	WEEKDAY で日曜日を赤色表示
09	リスト入力　動的変化するリストで簡単入力
10	ROWとCOLUMN で消えない行番号表示
11	文字列を制御 LEFT・MID・RIGHT
12	時間を制御 TIME・HOUR・MINUTE・NOW　給与計算にチャレンジ
13	日付を制御 DATE・YEAR・MONTH・DAY・TODAY　スケジュール帳作成
14	総合問題
15	総合質問・復習
16	

2022年度シラバス

科目名:応用Ｅｘｃｅｌプログラミング	担当者:木下 博光	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
Excel攻略！。VBA（Visual Basic for Application）を使用し、Excelの可能性にチャレンジしながら学びます。より多くの例題、企業でのExcel使用例やサンプルプログラム作成を行うことで、VBAの使い方を身に付けます。関数ではできない高度な処理が可能になり利用範囲が広い。

授業の到達目標
実務においてVBAは必須となっているので、サンプルプログラムを作成をすることでコマンドの基本、プログラミングの流れを学び、VBA基礎知識の習得を目標とする。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
時間内に完成しなかった課題は次の演習までに完成しておくこと。

評価方法
授業への参加態度50％　作成したスケジュール帳50％で評価する。

教科書	参考図書
随時プリント配布	授業内で紹介

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
自分で使いたい、他人が使ってみたいと思うような作品をつくることが必要。

01	ガイダンス、ＶＢＡ体験　マクロとVBAの違い
02	ＶＢＡ基本操作方法の実習　エディタの使い方　デバッグとエラー処理
03	ＶＢＡの基礎実習　コントロールの使用法　ラベル、ボタン、テキストボックス、フォーム
04	ＶＢＡの基礎実習　簡単なプログラムをつくってみよう 1　変数、データ型、代入
05	ＶＢＡの基礎実習　簡単なプログラムをつくってみよう 2　セルとワークシートの操作
06	ＶＢＡの基礎実習　簡単なプログラムをつくってみよう 3　動的配列、配列の演算
07	ＶＢＡの基礎実習　簡単なプログラムをつくってみよう 4　ループ処理For文、While文
08	ＶＢＡの基礎実習　簡単なプログラムをつくってみよう 5　文字列の操作
09	スケジュール帳を作ってみよう 1
10	スケジュール帳を作ってみよう 2
11	スケジュール帳を作ってみよう 3
12	スケジュール帳を作ってみよう 4　提出
13	Excelの復習　関数
14	Windowsの基本操作の復習
15	パソコン全体について復習
16	

科目名:韓国語と韓国文化ⅡＡ	担当者:李 正子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:韓国語と韓国文化ＩＡ，ＩＢを受講した学生 韓国語と韓国文化ＩA、ＩＢ を受講した学生		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
これからの時代は、外国人との共生が必要となる。このような時代や社会環境の変化に対して的確に対応するためにも、英語以外の外国語習得、特にアジア言語の習得は必須であると思われる。また、より広い視野に立って物事を考えるためにも他国の言語や文化を学ぶことは有意義である。韓国語と韓国文化２Aでは、上記の内容を念頭におき、中級レベルの韓国語の文法と会話、文化について理解を深める。【AL】

授業の到達目標
韓国語と韓国文化ＩA、Bですでに学んだ文法をもとに、同じ教科書の続きを学ぶ。後半からは教科書と同時進行しながら、Kポップの歌詞を翻訳してもらい、またその内容とその背景にある文化、思考方式を理解する。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力【DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識【DP】

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学習：前の週に配られたテキストの単語を調べ、読み込んでおく。
事後学習：その日に学んだ単語を覚え、テキストとともに覚える。

評価方法
授業への参加態度：30%、確認テスト(５回)：50%、課題・提出物：20%

教科書	参考図書
ひかりとシフのどきどき韓国語（1年生のときに購入済み）朝日出版社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
好奇心、興味をもって授業に臨むこと。日常生活において、韓国の音楽、ドラマ、映画はもちろん、それだけでなく、SNSのやりとりもハングルでチャレンジするなど、いろいろなところで韓国語に触れてほしい。

01	授業の説明、導入、ウォーミングアップ　합니다体と助詞
02	第６課①　１）話者の意思、２）目的
03	第６課②　１）逆説、第７課　１）해요体、２）～から（助詞）
04	第８課　１）～や（助詞）、２）否定形
05	第９課①　１）過去形①、２）～て（並列）
06	第９課②　１）過去形②、２）～ので（原因）
07	まとめと確認テスト①　文化体験①映画鑑賞
08	文化体験②映画鑑賞
09	第10課①　１）～しに（移動の目的）、２）～れば（仮定、条件）
10	第10課②　１）計画、意図、K一popとハングル①
11	第11課①　１）過去形の해요体、２）可能形
12	第11課②　１）約束、宣言、K一popとハングル②
13	第12課①　１）～が好きだ、２）聞き手の意向をたずねる
14	第12課②　１）勧誘、２）形容詞連体形、K一popとハングル③
15	まとめと確認テスト②
16	なし
17	会話編　第１４課　条件、理由、勧誘
18	会話編　第１５課　意志・意向、逆説、許可
19	まとめと小テスト、文化講義「韓国の結婚式」
20	会話編　第１６課　意図、丁寧な依頼、助言
21	会話編　第１７課　으変則活用、不可能、理由原因
22	確認テスト
23	Ｋ－ｐｏｐ編１　Gee
24	Ｋ－ｐｏｐ編２　내가 제일 잘나가
25	Ｋ－ｐｏｐ編３　나 혼자
26	まとめと小テスト　文化講義「韓国の祝日、記念日」
27	映像編１　イルマーレ
28	映像編２　JSA
29	映像編３　私たちの幸せな時間
30	確認テスト

31	

科目名:韓国語と韓国文化ⅡＢ	担当者:李 正子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:韓国語と韓国文化ⅡA を受講した学生		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
これからの時代は、外国人との共生が必要となる。このような時代や社会環境の変化に対して的確に対応するためにも、英語以外の外国語習得、特にアジア言語の習得は必須であると思われる。また、より広い視野に立って物事を考えるためにも他国の言語や文化を学ぶことは有意義である。韓国語と韓国文化２Bでは、上記の内容を念頭におき、中級レベルの韓国語の文法と会話、文化について理解を深める。【AL】

授業の到達目標
韓国語と韓国文化ⅡAですでに学んだ文法をもとに、同じ教科書の続きを学ぶ。後半からは教科書と同時進行しながら、韓国に関する各々の関心事について発表を行い、その内容とその背景にある文化、思考方式を理解する。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力【DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識【DP】

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学習：前の週に配られたテキストの単語を調べ、読み込んでおく。
事後学習：その日に学んだ単語を覚え、テキストとともに覚える。

評価方法
授業への参加態度と発表：30%、確認テスト(２回)：50%、課題・提出物：20%

教科書	参考図書
ひかりとシフのどきどき韓国語、朝日出版社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
好奇心、興味をもって授業に臨むこと。日常生活において、韓国の音楽、ドラマ、映画はもちろん、それだけでなく、SNSのやりとりもハングルでチャレンジするなど、いろいろなところで韓国語に触れてほしい。

01	前期の復習
02	第13課　　１）長い否定、２）～に（助詞）
03	第14課①　１）意志・推測、２）禁止
04	第14課②　１）ㅂ不規則用言
05	第15課①　１）～する前に、２）感嘆
06	第15課②　１）ㄷ不規則用言
07	まとめテスト①
08	文化授業
09	第16課①　１）動詞連体形、発表①
10	第16課②　１）原因、発表②
11	第17課①　１）動作の順序、２）～まで（助詞）
12	第17課②　１）尊敬表現、発表③
13	第18課①　１）으不規則用言、２）不可能表現
14	第18課②　１）義務、発表④
15	まとめと確認テスト
16	なし
17	会話編　第１４課　条件、理由、勧誘
18	会話編　第１５課　意志・意向、逆説、許可
19	まとめと小テスト、文化講義「韓国の結婚式」
20	会話編　第１６課　意図、丁寧な依頼、助言
21	会話編　第１７課　으変則活用、不可能、理由原因
22	確認テスト
23	Ｋ－ｐｏｐ編１　Gee
24	Ｋ－ｐｏｐ編２　내가 제일 잘나가
25	Ｋ－ｐｏｐ編３　나 혼자
26	まとめと小テスト　文化講義「韓国の祝日、記念日」
27	映像編１　イルマーレ
28	映像編２　JSA
29	映像編３　私たちの幸せな時間
30	まとめと確認テスト

31	

2022年度シラバス

科目名:中国語と中国文化ⅡＡ	担当者:張 書 涵	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:中国語と中国語文化ＩＡ・Bを履修した者		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　授業では、1年生で学んだ中国語の発音と基本的な文法事項を復習しながら、より正確な発音を習得し、新しい文法を学び、会話もよりスムーズにできるように練習していく。1課ごとにグループワークとグループ発表を通して会話能力を高め、更に必要に応じて、テキスト以外の音声教材などにより、言語の土台である中国の文化や社会事情などについても紹介し、中国語を学ぶ上で必要な教養を身につけていく。【AL】

授業の到達目標
　既習した中国語を活用しながら、多くの語句や文章についての知識を深め、基本的な中国語を読んで理解できるようになる。発音練習を重ねることで、日常的な会話などの表現を活用することができる。また中国の歴史や文化を学び、中国の異文化への理解を深めていく。【DP】

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　授業で出された課題や授業前の予習・授業後の復習も添付したCDを使いながらしっかりと行ってください。授業で学習した内容を身につけるために、授業時間だけではとても足りません。授業時間と同程度か、場合によっては2倍近くの時間で積極的に取り組んでください。

評価方法
　会話発表や授業への参加態度20%、小テスト30%、確認テスト50%

教科書	参考図書
「実学実用初級中国語」陳　淑梅・劉光赤　著　朝日出版社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　Ohka moodle等により伝達する

01	ガイダンスと復習
02	第11課　交番で道を尋ねる
03	ドリルの練習と会話⑪
04	第12課　今年はいくつ？
05	ドリルの練習と会話⑫　中国大学生の就職事情
06	文化体験　映画鑑賞
07	第13課　毎日何時に起きますか？　中国若者の恋愛・結婚事情
08	ドリルの練習と会話⑬
09	まとめと小テスト
10	第14課　セールでの買い物　中国人の余暇
11	ドリルの練習と会話⑭
12	文化体験　中国の歌　中国人の贈り物
13	第15課　歴史記念館で
14	ドリルの練習と会話⑮　総復習
15	復習と確認テスト
16	
17	第16課　テニスに誘う
18	第16課　ドリルの練習と会話⑥
19	第17課　バトミントンを楽しんだ後
20	第17課　ドリルの練習と会話⑦
21	食文化体験
22	第18課　中国語が聞き取れなくて
23	第18課　ドリルの練習と会話⑧
24	第19課　今何をしているの？
25	第19課　ドリルの練習と会話⑨
26	現代中国の紹介
27	第20課　引っ越し
28	第20課　ドリルの練習と会話⑩
29	後期のまとめ

30	まとめと確認テスト
31	なし

2022年度シラバス

科目名:中国語と中国文化ⅡＢ	担当者:張 書 涵	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:中国語と中国語文化ＩA・Bを履修した者		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　授業では、1年生で学んだ中国語の発音と基本的な文法事項を復習しながら、より正確な発音を習得し、新しい文法を学び、会話もよりスムーズにできるように練習していく。1課ごとにグループワークとグループ発表を通して会話能力を高め、更に必要に応じて、テキスト以外の音声教材などにより、言語の土台である中国の文化や社会事情などについても紹介し、中国語を学ぶ上で必要な教養を身につけていく。【AL】

授業の到達目標
　既習した中国語を活用しながら、多くの語句や文章についての知識を深め、基本的な中国語を読んで理解できるようになる。発音練習を重ねることで、日常的な会話などの表現を活用することができる。また中国の歴史や文化を学び、中国の異文化への理解を深めていく。【DP】

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　授業で出された課題や授業前の予習・授業後の復習も添付したCDを使いながらしっかりと行ってください。授業で学習した内容を身につけるために、授業時間だけではとても足りません。授業時間と同程度か、場合によっては2倍近くの時間で積極的に取り組んでください。

評価方法
　会話発表や授業への参加態度20％、小テスト30％、確認テスト50％

教科書	参考図書
「実学実用初級中国語」陳　淑梅・劉光赤　著　朝日出版社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　Ohka moodle等により伝達する

01	前期の復習と会話練習
02	第16課　テニスに誘う
03	ドリルの練習と会話⑯
04	第17課　バドミントンを楽しんだ後　中国の茶芸
05	ドリルの練習と会話⑰
06	文化体験　中国のお茶
07	第18課　中国語が聞き取れなくて　中国の大学事情
08	ドリルの練習と会話⑱
09	まとめと小テスト
10	文化体験　映画鑑賞
11	第19課　今何をしているの？　中国の春節
12	ドリルの練習と会話⑲
13	第20課　引っ越し　　中国の世界遺産
14	ドリルの練習と会話⑳　総復習
15	復習と確認テスト
16	
17	第16課　テニスに誘う
18	第16課　ドリルの練習と会話⑥
19	第17課　バトミントンを楽しんだ後
20	第17課　ドリルの練習と会話⑦
21	食文化体験
22	第18課　中国語が聞き取れなくて
23	第18課　ドリルの練習と会話⑧
24	第19課　今何をしているの？
25	第19課　ドリルの練習と会話⑨
26	現代中国の紹介
27	第20課　引っ越し
28	第20課　ドリルの練習と会話⑩

29	後期のまとめ
30	まとめと確認テスト
31	なし

2022年度シラバス

科目名:アジアの社会と文化	担当者:都 恩珍	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:特になし		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
本科目での学びは幅広い分野にわたる知識を身につけ、より広い視野に立って、物事を考えていくことができる思考力を身につけるものであり、社会生活に必要とされる教養と専門的な技術・知識を身につけるためのものです。アジアの中でも、とりわけ韓国と日本に焦点をしぼり（１）韓国の最新トレンドを中心に取り上げ、両国の違いが何かを理解し、その上で（２）両国の抱えている問題が何か、解決に向けて両国はどうしているかについて学びます。授業では、毎回のトピックについてテキストを予習した上で各自が関連内容を調べてから教員の講義を受けます。最新の韓国ニュースを調べることもあります。

授業の到達目標
次を目標とします。
（１）韓国の社会・文化を理解すると同時に、自国の文化について改めて理解を深める（DP）。
（２）日韓問題を理解することの意義について考える（DP）。
（３）アジアの国々の関連性について学ぶ（DP)。
（４）日本と韓国の過去・現在・未来について自分なりの視点を持つ（DP)。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：毎週のトピックについてテキストを熟読した後、文献、雑誌、ネットなどを利用して関連内容をさらに調べる（約２時間）。
事後学修：講義内容を総合的に理解し授業ノートを完成する。最新ニュースを確認する（約2時間）。
＊オリジナルの授業ノートや課題用のシート類は授業の最初の時間に配布します。

評価方法
授業参加態度20%、授業ノート40%、テキストの要約・週刊ニュースを含む課題40%
○授業ノートは毎回の授業後に提出（出欠チェックも兼ねる）
○課題はMoodleに提出
○フィードバックは、Moodleまたは授業中に行う。
○「授業参加態度」は、授業の参加姿勢や課題などの提出期限を守るかなどを考慮する。

教科書	参考図書
オリジナルテキスト	『新版日韓の文化比較と日韓問題ーよりよいに日韓関係を築くためにー』梁禮先　朝日出版社　2018年

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
自身の視点をもって取り組みましょう。連絡方法はMoodleと大学のメールで。
諸事情により授業内容を変更することがあります。オフィスアワー：水曜日2限、月曜3限

01	ガイダンス、韓国と言えば？
02	日韓比較（１）似ているようで違う日本と韓国
03	日韓比較（２）韓国概要
04	日韓比較（３）入試戦争と就職難
05	日韓比較（４）兵役制度と恋愛・結婚
06	日韓比較（５）宗教観
07	日韓比較（６）日流・韓流
08	日韓比較（７）韓国トレンド
09	日韓比較（８）伝統文化（衣）
10	日韓問題（１）映画に見る日韓問題①
11	日韓問題（２）韓国近代史
12	日韓問題（３）映画に見る日韓問題②
13	日韓問題（４）在日コリアン
14	日韓問題（５）日本と韓国の過去・現在
15	日韓問題（６）日本と韓国の未来
16	なし

2022年度シラバス

科目名:国際社会と日本	担当者:櫻井 雅俊	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
「国際情勢のいま」を理解できるように、4つのテーマ（核兵器の管理、地球環境問題、対テロ戦争、「アジア太平洋のなかの日本」）について基礎的な知識を学んでいく。各回の授業終わりに理解度を確認する小テストを行う。その答案は次回授業にて講評、返却する。

授業の到達目標
国際情勢に関する新聞記事の内容を大筋で理解した上で、自分なりの意見を持てる（DP）ようになることを目標とする。授業を通じてそのための基盤となる知識（DP）を手に入れたい。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
毎日30分程度使って授業内容と関連する新聞記事をチェックするように心がけ、毎日新聞に目を通す習慣を身につけてほしい。「新聞の読み方」は授業でも扱う。

評価方法
小テスト×15回　100%

教科書	参考図書
使用しない。新聞を用意してもらうことがある。	各回ごとに紹介する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
特になし

01	オリエンテーション／「Gゼロの時代」
02	新聞の読み方
03	地球環境問題1　「持続可能な開発」とSDGs
04	地球環境問題2　気候変動問題
05	地球環境問題3　脱炭素社会へ
06	核兵器1　北朝鮮の核・ミサイル実験
07	核兵器2　核抑止体制
08	核兵器3　核軍縮
09	対テロ戦争1　イスラーム入門
10	対テロ戦争2　アフガン戦争とイラク戦争
11	対テロ戦争3　「武器ではなく命の水を」医師中村哲さん
12	アジア太平洋のなかの日本1　製造拠点から市場へ
13	アジア太平洋のなかの日本2　外国人労働者
14	アジア太平洋のなかの日本3　アジア太平洋戦争
15	「冷戦2.0」と日本
16	なし

科目名:地域文化研究	担当者:李 正子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:すでに韓国語と韓国文化ＩA, ＩBを受講していること		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
日韓共同開催ワールドカップ以降、日本で起こった「韓流」ブームは、すでに日本での一過性のブームではなく、「Kカルチャー」として世界での地位を確立しているといえます。それらと接することで私たちは新たな視点を得て、創造的なアイデアを生み出す源になることもあります。
授業では映像を通じて、さまざまな韓国発のコンテンツについて学びます。
第６講以降は学生たちにも自分の興味のある分野について10分程度のプレゼンを行ってもらいます。
授業で紹介されたドラマ、映画、小説の中からレポートを１本書いて提出してもらいます。

授業の到達目標
本講義では「Kカルチャー」を通して、韓国社会への多面的な視野と発想力を身につけることを到達目標とします。なお、韓国社会の明るい表の面だけでなく、影の面も合わせて考え、韓国社会への理解をバランスよくできるように学ぶものとします。それは自ずと日本社会への問題意識を養うことにつながるはずです。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
普段からテレビのニュース、新聞に目を通すようにする。
韓国ドラマや映画、K-popなどの「Kカルチャー」に触れる際に、「なぜこのような描き方をするのか、その背景には何があるのか」という視点を持って視聴する。

評価方法
授業への参加姿勢等30％　授業内発表20％　期末レポート50％　なお、私語等､授業を妨げる言動や行動があった場合は出席として扱いません。『履修の手引き』にあるように、3分の1以上を欠席した場合は単位が認められません。

教科書	参考図書
なし	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
似て非なる隣国、韓国、そして朝鮮。受講者はこの授業を受講することにより、Kカルチャーと韓国社会への理解を深めるだけでなく、日本との関係についても理解を深めてほしいです。

01	授業概要　　（以下の講義は順番が入れ替わる場合があります）
02	朝鮮半島の統一と民族の「ハン（恨）」―『愛の不時着』と『JSA』
03	韓国社会の多様性―『イテウォン・クラス』
04	韓国の軍隊と日本の部活―『D・P』
05	韓国の格差社会と父権―『パラサイト』
06	世界を席巻したKドラマ―『イカ・ゲーム』
07	韓国の受験戦争―『SKYキャッスル』
08	世界に羽ばたくK-pop ― BTSの誕生とその「世界観」
09	ファクトリ・ガールズから世界のガールズユニットへ ―少女時代、BLACK PINK ファクトリ・ガールズから世界のガールズユニットへ―少女時代、BLACK PINK
10	韓国のフェミニズム文学―『82年生まれ、キム・ジヨン』
11	現代韓国最大の悲劇セウォル号事件、その家族
12	『賢い医者生活』が描けなかった90年代―『ハチドリ』
13	韓国の民主化―『1987』
14	日帝時代とは―『マルモイ』
15	『日韓のもやもや』―日本軍「慰安婦」、徴用工、竹島（独島）　　まとめのレポート提出
16	なし

2022年度シラバス

科目名:ツーリズムと地理	担当者:根尾 文彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この授業は現代教養学科のディプロマポリシーである幅広い分野にわたる知識を身につけ、より広い視野に立って、物事をかんがえていくことの出来る思考力を養うことを目的としている。少子高齢社会の中で、我が国の重要な成長戦略である「観光」について、観光資源、観光産業、観光政策の観点から、その歴史的背景と今後への課題などを学びます。また、日本の観光地理に関する基礎的な知識を修得するため、旅行地理検定試験問題を自宅学修とします。講義ではオリジナルプリント、映像などを多様することで、より分かりやすい内容となっています。

授業の到達目標
① 我が国の観光の歴史や観光資源、観光関連産業などについて基礎的な知識を習得します。 (DP)
② 日本の基礎的な観光地理の知識を習得します。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
毎回の授業の中で関心のあるテーマについて各自で更に深く調べてレポートを提出する。
隔週で過去の国内旅行地理検定試験問題を解答して提出する。
事前事後学修として週に4時間程度の自主学習が望まれる。

評価方法
授業への参加態度（20%）、定期試験（50%）、旅行地理検定問題（15%）、課題レポート（15%）を基に総合的に判断する。

教科書	参考図書
なし、オリジナルプリントを配布	・トラベルジャーナルなど（図書館に有り）

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
研究室 7307号室
neo@ohkagakuen-u.ac.jp

01	9/29 オリエンテーション、観光の定義と概念、国内旅行地理検定試験問題
02	10/6 観光の歴史（中世・近世～明治～昭和時代の観光）
03	10/13 観光の歴史（昭和～平成の観光）、国内旅行地理検定問題
04	10/20 観光の歴史（近年の観光）
05	10/27 我が国の観光の現状と課題（国内旅行）、国内旅行地理検定問題 我が国の観光の現状と課題（国内旅行）、国内旅行地理検定問題
06	11/3 我が国の観光の現状と課題（海外旅行）、
07	11/10 我が国の観光の現状と課題（訪日旅行）、国内旅行地理検定問題
08	11/17 我が国の観光の現状と課題（地域創生、観光まちづくり）
09	11/24 観光資源①、国内旅行地理検定試験問題
10	12/1 観光資源②、海外旅行地理検定問題 観光資源②
11	12/8 観光政策と観光行政、国内旅行地理検定問題
12	12/15 観光関連産業（運輸交通機関）
13	12/22 観光関連産業（宿泊機関）、国内旅行地理検定問題
14	1/12 観光関連産業（旅行業）
15	1/19 まとめ
16	定期試験

科目名:ポルトガル語とブラジル文化ⅡＡ	担当者:竹内 クリスチーナ	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
愛知県にたくさんのブラジル人が在住し、保育園や学校でブラジル国籍の園児・児童・生徒も見られます。この授業では、ブラジル文化に触れながら、演習という授業形態で、子ども及び保護者と会話や文章を通じてコミュニケーションが取れるようにポルトガル語の能力を高めることを目指します。

授業の到達目標
ポルトガル語の「読む」「書く」「聞く」「話す」能力を向上し、ポルトガル語の日常会話や文章の読み書きができるようにします。(DP)
【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業内容の理解度確認小テストのための準備をすること。

評価方法
授業への参加意欲・態度　２０％
小テスト・課題　５０％
プレゼンテーション　３０％

教科書
新たな書籍の購入は不要です。

参考図書
ポルトガル語とブラジル文化ＩA/Bで使用した兼松シルビア典子『ブラジルを発見―ブラジルポルトガル語入門』同学社を参考に使います。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡はメールで行います。毎回の授業の積み上げが重要です。ポルトガル語Ｉでポルトガル語の難しさを感じた人にも学びなおしの機会になるような授業にしたいと思うので、分からないところについて聞いてください。

01	オリエンテーション、自己紹介
02	ブラジル文化の紹介
03	名詞、冠詞、発音の確認
04	形容詞、SER動詞
05	指示詞、所有詞
06	動詞の現在形
07	助詞と場所の副詞
08	3回～7回の内容を使っての練習
09	動詞の過去形①
10	動詞の過去形②
11	９回～１１回の内容を使っての練習
12	未来を表す表現
13	これまでの内容を使っての文章の作成
14	プレゼンテーション
15	まとめとブラジル文化の紹介
16	

2022年度シラバス

科目名:ポルトガル語とブラジル文化ⅡＢ	担当者:竹内 クリスチーナ	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
愛知県にたくさんのブラジル人が在住し、保育園や学校でブラジル国籍の園児・児童・生徒も見られます。この授業では、ブラジル文化に触れながら、演習という授業形態で、子ども及び保護者と会話や文章を通じてコミュニケーションが取れるようにポルトガル語の能力を高めることを目指します。

授業の到達目標
ポルトガル語の「読む」「書く」「聞く」「話す」能力を向上し、ポルトガル語の日常会話や文章の読み書きができるようにします。(DP)
【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業内容の理解度確認小テストのための準備をすること。

評価方法
授業への参加意欲・態度　２０％
小テスト・課題　５０％
プレゼンテーション　３０％

教科書
新たな書籍の購入は不要です。

参考図書
ポルトガル語とブラジル文化ⅠA/Bで使用した兼松シルビア典子『ブラジルを発見―ブラジルポルトガル語入門』同学社を参考に使います。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡はメールで行います。毎回の授業の積み上げが重要です。ポルトガル語Ⅰでポルトガル語の難しさを感じた人にも学びなおしの機会になるような授業にしたいと思うので、分からないところについて聞いてください。

01	これまでの内容の確認
02	要求を伝える表現
03	誘いや断りを伝える表現
04	疑問を伝える表現
05	時間を伝える表現
06	2回～５回の内容を使っての練習
07	動詞の現在進行形
08	動詞の過去進行形
09	７回～８回の内容を使っての練習
10	動詞の命令形
11	命令形を使っての練習
12	読み聞かせの練習
13	紙芝居などの作成
14	プレゼンテーション
15	まとめとブラジル文化の紹介
16	

科目名:英語と英米文化ⅡＡ	担当者:高橋 妙子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:１年時に英語の授業を受講していること		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
授業を２部構成にし、前半はテキストを用いて英米文化を学び、Listening のコツを掴む練習やペアワークなどで会話の練習をします。後半は、欧米のビデオ（映画、海外ドラマなど）を見たり、洋楽を聞いていろいろなActivity にチャレンジします。(AL)(EN)

授業の到達目標
実際に使われている英語に触れ、シチュエーションや文化的背景を理解しながら、「使える英語」を聞き取り、内容を理解し、さらに使いこなす力を身につけていきます。ペア／グループワークを通して、英語でコミュニケーションが取れるようになります。 (DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業で学んだ表現や語彙は必ず覚え、課題や復習はしっかりと行うこと。PC／スマートフォンでDigibookにアクセスして、課題に取り組むことできるので、通学などの時間を利用して繰り返し聞いて下さい。Moodle で授業で使う音声教材を全て聞くことができ、テキストの問題以外にも、Moodle Quiz (Dictation) を提供するので、各自のペースで学習すること。

評価方法
Activity (Pair & Group Work) = 30 %　　Quiz = 20 %　　Review Test = 50 %

教科書	参考図書
Breakthrough PLUS 1 2nd Edition Miles Craven著 Macmillan	授業内で紹介

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業には辞書必携（電子辞書、辞書アプリOK)

01	Orientation
02	Unit 1 : Introductions (simple present & Yes/No questions)
03	Unit 1 : Introductions : Skills expansion
04	Unit 2 : What a life! (simple present & Wh-questions)
05	Unit 2 : What a life! : Skills expansion
06	Unit 3 : Free time (can/can't for ability)
07	Unit 3 : Free time : Skills expansion
08	Review Unit1-3
09	Unit 4 : Places (there is/are & can/can't for possibility)
10	Unit 4 : Places : Skills expansion
11	Unit 5 : Getting around (asking for & giving directions)
12	Unit 5 : Getting around : Skills expansion
13	Unit 6: Shopping (How much questions)
14	Unit 6: Shopping : Skills expansion
15	Review Unit4-6
16	なし

2022年度シラバス

科目名:英語と英米文化ⅡＢ	担当者:高橋 妙子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:１年時に英語の授業を受講していること　（２年前期に英語と英米文化IIBを受講していること）		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
授業を２部構成にし、前半はテキストを用いて英米文化を学び、Listening のコツを掴む練習やペアワークなどで会話の練習をします。後半は、欧米のビデオ（映画、海外ドラマなど）を見たり、洋楽を聞いていろいろなActivity にチャレンジします。(AL)(EN)

授業の到達目標
実際に使われている英語に触れ、シチュエーションや文化的背景を理解しながら、「使える英語」を聞き取り、内容を理解し、さらに使いこなす力を身につけていきます。ペア／グループワークを通して、英語でコミュニケーションが取れるようになります。 (DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業で学んだ表現や語彙は必ず覚え、課題や復習はしっかりと行うこと。PC／スマートフォンでDigibookにアクセスして、課題に取り組むことできるので、通学などの時間を利用して繰り返し聞いて下さい。Moodle で授業で使う音声教材を全て聞くことができ、テキストの問題以外にも、Moodle Quiz (Dictation) を提供するので、各自のペースで学習すること。

評価方法
Activity (Pair & Group Work) = 30 %　　Quiz = 20 %　　Review Test =　50 %

教科書	参考図書
Breakthrough PLUS 1 2nd Edition Miles Craven著 Macmillan	授業内で紹介

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業には辞書必携（電子辞書、辞書アプリOK）。

01	Orientation
02	Unit 7 : What’s happening?　(present continuous & affirmative/negative questions)
03	Unit 7 : What’s happening? : Skills expansion
04	Unit 8 : People (be like & look like)
05	Unit 8 : People : Skills expansion
06	Unit 9 : Having fun　(present continuous for plans & making invitations)
07	Unit 9 : Having fun : Skills expansion
08	Review
09	Unit 10 : Vacation　(simple past affirmative/negative time expressions)
10	Unit 10 : Vacation : Skills expansion
11	Unit 11 : Life stories (simple past questions & Wh-questions)
12	Unit 11 : Life stories : Skills expansion
13	Unit 12: Hopes and intentions (going go for intentions & want to/would like to)
14	Unit 12: Hopes and intentions : Skills expansion
15	Review
16	なし

2022年度シラバス

科目名:英会話ⅡＡ	担当者:Lee Sargent	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
英会話IIA is an elective course for second year students in the Liberal Arts Department.
The aim of this course is to enable students to provide basic information about themselves in English.
Also, students will learn conversation for survival in environments outside Japan.【ＥＮ】

授業の到達目標
Upon successful completion of this course students can:
1. Communicate in English with confidence, 自信をもって英語で話せるようになります。
2. Understand more spoken English through improved listening skills, 英語の聴解力を高められます。
3. Speak with a strong command of grammatical ac

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
Students need to review the vocabulary learnt in every lesson and practice conversations with their classmates outside class. They need to talk a lot inside and outside the classroom.

評価方法
Classwork/Preparation/Participation (30%), Quizzes/Assignments (30%),Mid-semester Speaking Check (20%), Final Speaking Check (20%)

教科書	参考図書
Nice Talking With You 1 (Cambridge)	Please bring pen or pencil, notebook, textbook and dictionary to each class.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Don’t forget to bring your textbook and all your handouts to each class.
Participate actively in all activities.
Do all assigned homework on time and review what you study in class.
Finally, do your best and have fun using English with your teacher and

01	Course introduction, explanation of course goals and expectations.
02	Nice Talking With You 1 Unit 1 part 1: Introduction
03	Nice Talking With You 1 Unit 1 part 2: Introduction
04	Nice Talking With You 1 Unit 2 part 1: Family
05	Nice Talking With You 1 Unit 2 part 2: Family
06	Nice Talking With You 1 Unit 3 part 1: Shopping
07	Nice Talking With You 1 Unit 3 part 2: Shopping
08	Review of Units 1 to 3: Speaking Check 1
09	Nice Talking With You 1 Unit 4 part 1: Food
10	Nice Talking With You 1 Unit 4 part 2: Food
11	Nice Talking With You 1 Unit 5 part 1: Music
12	Nice Talking With You 1 Unit 5 part 2: Music
13	Nice Talking With You 1 Unit 6 part 1: Free Time
14	Nice Talking With You 1 Unit 6 part 2: Free Time
15	Review of Units 1 to 6: Speaking Check 2
16	None

2022年度シラバス

科目名:英会話ⅡＢ	担当者:Lee Sargent	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
英会話IIB is an elective course for second year students in the Liberal Arts Department.
The aim of this course is to enable students to provide basic information about themselves in English.
Also, students will learn conversation for survival in environments outside Japan.【ＥＮ】

授業の到達目標
Upon successful completion of this course students can:
1. Communicate in English with confidence, 自信をもって英語で話せるようになります。
2. Understand more spoken English through improved listening skills, 英語の聴解力を高められます。
3. Speak with a strong command of grammatical ac

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
Students need to review the vocabulary learnt in every lesson and practice conversations with their classmates outside class. They need to talk a lot inside and outside the classroom.

評価方法
Classwork/Preparation/Participation (30%), Quizzes/Assignments (30%),Mid-semester Speaking Check (20%), Final Speaking Check (20%)

教科書	参考図書
Nice Talking With You 1 (Cambridge)	Please bring pen or pencil, notebook, textbook and dictionary to each class.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Don’t forget to bring your textbook and all your handouts to each class.
Participate actively in all activities.
Do all assigned homework on time and review what you study in class.
Finally, do your best and have fun using English with your teacher and

01	Course introduction, explanation of course goals and expectations.
02	Nice Talking With You 1 Unit 7 part 1: Travel
03	Nice Talking With You 1 Unit 7 part 2: Travel
04	Nice Talking With You 1 Unit 8 part 1: Sports
05	Nice Talking With You 1 Unit 8 part 2: Sports
06	Nice Talking With You 1 Unit 9 part 1: Friends
07	Nice Talking With You 1 Unit 9 part 2: Friends
08	Review of Units 7 to 9: Speaking Check 1
09	Nice Talking With You 1 Unit 10 part 1: Work
10	Nice Talking With You 1 Unit 10 part 2: Work
11	Nice Talking With You 1 Unit 11 part 1: Movies
12	Nice Talking With You 1 Unit 11 part 2: Movies
13	Nice Talking With You 1 Unit 12 part 1: Personal Tech
14	Nice Talking With You 1 Unit 12 part 2: Personal Tech
15	Review of Units 7 to 12: Speaking Check 2
16	None

2022年度シラバス

科目名:SNSとコミュニケーション	担当者:高谷 邦彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
情報のデジタル化が進んで急激に変化している社会の「今」を、特にウェブで起きている技術やサービスの変化、そしてSNSの普及とコミュニケーションの変化に注目しながら解説します。

授業の到達目標
SNSを中心としてウェブのさまざまなサービスを利用する際に必要となるリテラシー（知識や経験、マナー、常識など）を身につけることを目標とします（DP）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
○幅広い分野にわたる専門知識
◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
講義の中で紹介するインターネットのいろいろなサービスについては、興味があれば自分でも試してみるようにしてください。

評価方法
各回のミニレポートの提出状況30%、確認テスト70%

教科書	参考図書
なし（必要に応じて参考サイト等を指示します）	授業中に指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
ウェブの最新動向（新しいサービスの登場やネット上の事件など）によって、講義の内容が変わることがあります。各種連絡および確認テストのフィードバック等はTeamsを通じて行います。

01	オリエンテーション ～ 情報社会とは何か
02	今ウェブで何が起きているのか ～ withコロナ時代に向けて
03	メディアとは何か ～ 電話というメディア
04	もうテレビはいらない？ ～ マス・メディア時代の終わり
05	SNSとは何なのか ～ 承認欲求がすべて？
06	ウェブのコミュニケーション ～ AIとコミュニケーションは可能か
07	Twitterの多様性
08	初音ミクの正体
09	YouTubeが変えたもの　～ 動画によるクチコミ
10	YouTuberたちの世界
11	ニコニコ動画のコミュニケーション
12	マイノリティとSNS
13	SNS事件簿 ～ ウェブで身を守るために
14	震災とSNS
15	確認テストと全体のまとめ
16	

2022年度シラバス

科目名:ウェブデザイン	担当者:岩佐 孝子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
ウェブページをデザインする際に必要となる、HTMLやCSSのコーディングについて実践的に行い、自らページを制作してその仕組みを学ぶ。

授業の到達目標
普段から日常的に閲覧・利用しているウェブページの仕組みや原理について理解し、HTMLやCSSを用いてウェブページをデザインすることができるようになる。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
昨今のウェブページの傾向や自分がよく利用しているウェブページを、「デザイン」や「構成」、「利用し易さ」という観点から意識して閲覧してみる。

評価方法
授業への参加態度50%　提出課題50%によって総合的に評価する。

教科書	参考図書
適宜プリント配布	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先は授業で開示する。データ保存用にUSBメモリを用意すること。

01	ウェブサイトのしくみと作成手順
02	コーディングとマークアップ言語
03	HTMLの基礎知識
04	HTMLの実習
05	CSSの基礎知識
06	CSSの実習
07	Webサイトの構築
08	トップページ、サブページの作成、画像表示
09	リンクの設定
10	サイドメニューの作成、表の作成
11	動画の挿入、見栄えとバランス
12	課題ページ作成（１）
13	課題ページ作成（２）
14	課題ページ作成（３）
15	総まとめ
16	なし

2022年度シラバス

科目名:デジタル・デザイン	担当者:町田 由徳	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
デジタル画像の仕組みや、レイアウト、色彩といった基本的なデザインの要素を学び、それを応用して名刺、フライヤー(チラシ)などのデザイン制作を行います。
このプロセスを通じて、現代教養学科のGDP2.GDP3.で謳われている[専門知識]と[思考力]を身につけます。

授業の到達目標
・デジタル画像の解像度や色彩の表示などの原理を理解している。(DP)
・グラフィックデザイン作品を鑑賞し、その構成原理を読み解くことが出来るようになる。
・コンピュータを用いて画像の加工や基礎的なグラフィックデザインの構想、制作が出来るようになる。　(DP)
【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
広告やSNSにおけるレタッチ画像や、フライヤー、名刺などのグラフィックデザイン事例の観察、研究などの準備・事後学修を計4時間程度行う。

評価方法
提出課題70%、授業への取り組みの姿勢30%　各課題毎の講評にて評価、フィードバックを行う。

教科書	参考図書
なし。適宜資料を配布します。	授業内で紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
制作物データのバックアップ用にUSBメモリを用意してください。（詳細は授業内で指示します。）
課題２（第11~14回）は集中講義で実施する予定です。

01	デザインのジャンルと、デジタル技術の活用について
02	レイアウトソフト(Inkscape)の基本操作について
03	ペンツールとテキストツールの練習
04	課題１.名刺の制作(1) 構成要素の配置
05	課題１.名刺の制作(2) 色彩の調整、講評
06	画像編集ソフト (GIMP) の基本操作について
07	選択範囲、パスの作成練習
08	レイヤー、フィルターの使用について
09	グラフィックデザインとデジタル画像の知識について
10	レイアウトと色彩について
11	課題２.フライヤーの制作(1) 素材画像の選択、アイデアスケッチ
12	課題２.フライヤーの制作(2) 画像のレタッチ、配置
13	課題２.フライヤーの制作(3) 配置要素、色彩の調整
14	作品講評
15	まとめと作品の最終調整
16	なし

2022年度シラバス

科目名:フードデザイン	担当者:井寺 麻依	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
皆さんにとって、食事とは何でしょうか？必要な栄養を体に入れることですか？食欲を満たすもの？
この授業では皆さんにとっての食事の意味を考えていこうと思います。
私たちの体に必要な栄養を知り、食事を作る意味を考え、正しく食べる方法がわかるようになることが目標です。
また、簡単な調理でバランスよく食べられるように調理方法の提案もしていきます。講義や調理デモンストレーションを行います。（試食はありません。）デモンストレーションを行ったものを実際に自宅で調理し、レポートにして提出していただきます。（毎回ではありません。）

授業の到達目標
①　食事作りの基本を学び、食事を考え、作り、食べることの楽しさを知る。
②　健康な食生活の基本や栄養に関する知識を理解する。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
授業内で学んだ調理に関すること、健康に関することを活かして自宅で積極的に料理をしてみてください。また、食や健康に関する情報に関心をもってください。

評価方法
授業への参加態度30%　小レポート40%（調理レポート）　大レポート30%
レポートについては授業内で説明

教科書	参考図書
家庭料理技能検定　公式ガイド4級	家庭料理技能検定　各級テキスト

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
食事についてじっくり考えたい人、お料理が好きな人、これから挑戦していきたい人、是非受講してください。料理未経験でも大丈夫です。

01	健康で美しい身体作りのための生活習慣と食生活
02	ごはん作りの基本ー妊婦さんの食事を例にしてー、だしの取り方
03	おいしいごはんの炊き方、お気に入りのだしで味噌汁を作ろう【味噌汁】
04	野菜を切る①千切り　【ビビンパ】
05	野菜を切る②みじん切り【ハンバーグ】
06	腸内環境を整える大切さ（美と免疫）【オートミールリゾット】
07	肉は敵か？！（コレステロール①）【鶏胸肉のごまだれ焼き】
08	女子力を上げる魚料理と豆腐料理（コレステロール②）【煮魚または麻婆豆腐】
09	骨を元気に！①　【失敗しないこくうまホワイトソース】
10	骨を元気に！②　”日本の調味料と乾物”　【高野豆腐】
11	骨を元気に！③　”衛生管理と常備菜”　【ひじきの煮物を使った副菜】
12	朝ご飯を食べよう　献立作成の実際
13	おやつって何だ？【豆腐の白玉でフルーツポンチ】
14	気になる添加物を知る【ホットケーキ】
15	まとめ
16	

科目名:エコライフ実習	担当者:辻 広志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	2
受講者制限:「自然環境と生き物の世界」を受講していることが望ましい		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
化学汚染、地球温暖化、酸性雨、大量廃棄物などの地球規模の環境問題は日々深刻化している。この実習では、水・大気・土壌などの環境や食品を化学的および生物学的に調査・分析・評価する手法を習得し、「食と環境」への理解を深める。調査の意義と方法について講義した後、グループ単位で実習を行い、実習レポートを作成する。【AL】
レポートや確認テスト等、提出物の講評は授業中やmoodle等で行う。

授業の到達目標
身近な生活環境に関する実習を通して、さまざまな環境問題に関心を持ち、エコライフを実践するための具体的な方法について理解する。【DP】

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
環境問題や暮らしに関する最新の情報を、新聞、雑誌、テレビ、インターネット等で入手するよう心掛けること。

評価方法
確認テスト40%、平常点60%（実習レポート、授業への取り組み姿勢）で総合評価する。授業において提示した課題については、次回以降にフィードバックを行う。

教科書 使用しない	参考図書 授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
作業しやすい服装と身だしなみを心がけること。天候や材料の入手状況等により授業計画を変更することがあります。eco検定（環境社会検定試験）の受験を希望する学生は相談に応じます。

01	実習ガイダンス
02	キャンパスの五感マップをつくろう
03	ミネラルウォーターの硬度を調べる
04	水道水と生活排水の水質を調べる
05	水道水の残留塩素を調べる
06	身近な酸とアルカリの性質を調べる
07	石鹸と合成洗剤の比較実験
08	漬物の合成着色料を調べる
09	簡易細菌検出キットによる一般細菌の培養
10	細菌コロニーの観察、衛生状態の判定
11	土壌生物による環境診断
12	ムラサキキャベツを使って三色やきそばを作る
13	プラスチックの性質と分類
14	環境情報の活用
15	まとめと確認テスト
16	なし

2022年度シラバス

科目名:英語能力認定	担当者:綾部 六郎	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	2
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　現在、世界約160カ国で実施され、日本においても企業の人事や自己啓発活動の一環として利用されている国際コミュニケーション英語能力テストTOEIC（Test of English for International Communication の略、トーイック）において、一定の結果を出してから申請した場合に単位として認定する。
　目標点を具体的に設定することで、各自の英語能力向上のための自主的な学習を促したい。

授業の到達目標
　継続的学習の結実が成果として現れると考えて設定された科目である。一度の受験だけで完結するのではなく、何度も試験にチャレンジして高得点を目指すことで英語力を高めていく（DP）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　語学は継続的な学習が重要である。英語関係の授業を受講するほか、図書館や教員の研究室、学芸学部や英語コミュニケーション学科が設置しているESC(English Study Center)には、問題集や英語教材、視聴覚資料等があるので活用してほしい。

評価方法
Listening & Reading Testでの総合350点以上で1単位／450点以上で2単位として認定する。

教科書	参考図書 TOEICのレベル別問題集等

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
＜勉強に関して＞
　TOEICで一定以上の点数をとるためには、総合的な読み取りおよび聴き取りの力が必要とされる。これらを伸ばすには、基礎を踏まえたうえで継続的な学習が必要になる。短期的に成果が出なくても、あせらずに2年間じっくりと少しずつ取り組んでいってほしい。
　また、高得点をとるためには、語彙や文法、状況に応じた表現の学習、英語の音やTOEIC出題形式への慣れ等、さまざまな要素の勉強も必要になる。目的に応じた教材や資料が図書館等の学内施設に用意されているので、これらを利用して自分のペースで勉強をしていってほしい。

01	ガイダンスを参考にして、各自の学習計画を立てる。
02	本人からの申請がなければ、単位としては認定されないので留意すること。
03	TOEICは年に3~4回学内でも実施されるので、関連する掲示に注意しておく。
04	2022年度より本科目は「キャリア支援」に統合されるので、そちらの掲示にも注意すること。
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2022年度シラバス

科目名:キャリアデザインⅠ	担当者:茶谷 淳一・高谷 邦彦・辻 広志・綾部 六郎・矢澤 久史・山下 玲香・西原 麻里・小出 祥子・福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
卒業後、社会で自分を活かしていくために必要な力を養います。各種の講演や講座、社会と接点を持つための研修、そして自分達での調査や報告発表のプレゼンテーションなどを行います。必要な知識や情報の獲得をし、実践方法を体験的に学び、社会人として活躍するための基礎となる力を身につけます。【AL】

授業の到達目標
(1) 社会で必要になる知識やマナー、行動力、思考力、チームワーク力を身につけること (DP)
(2) 自分の進路について具体的に考えられるようになること(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
○幅広い分野にわたる専門知識
◎幅広い知識と広い視野に基づく思考力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
筆記試験対策問題集やオンラインでの小テスト、報告会などでの発表の準備作業、レポート作成など キャリア・スタディにおける企業や事業所への訪問

評価方法
平常点45点： 授業参加・取り組み状況、『キャリエノート』の記入活用状況、筆記試験対策問題集・オンライン学習への取組み、その他提出物レポート点35点： 「キャリア・スタディレポート」、「キャリアデザインIレポート」、発表点20点：「キャリア・スタディ　クロストーク」、「キャリア体験報告会」、「キャリアデザイン報告会」

教科書	参考図書
『キャリエノート』(現代教養学科作成)	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
この授業の内容はすべて、社会で活躍していくのに必要になることです。毎回の授業に積極的に関与して、内容を吸収していくという姿勢が重要です。また話を聞く、自分で考える、マナーやルールを守ることなどは日常生活でも実践してください。授業内容の変更や持ち物などは学科掲示板で確認してください。緊急の連絡にはLINEや電子メール、teamsを使うので、各自で登録をしておいてください。

01	コミュニケーション講座①
02	コミュニケーション講座②
03	先輩の声/キャリア・スタディとは
04	訪問の準備①
05	マナー講座
06	訪問の準備②
07	キャリア・スタディ　クロストーク①
08	キャリア・スタディ　クロストーク②
09	就職活動の流れ/履歴書/エントリーシートの書き方
10	インターンシップの探し方
11	自己分析
12	自己分析の実践
13	メイク講座
14	生き方シンポジウム
15	夏休みにおける就職活動について
16	キャリア体験報告会①
17	キャリア体験報告会②
18	進路講演会
19	業界・企業研究①実践編
20	就職関係資料の使い方
21	求人票の読み方
22	業界・企業研究②人事担当者の話
23	オンライン・対面の面接講座
24	面接講座
25	模擬テスト
26	2年生内定者報告会①
27	2年生内定者報告会②
28	キャリアデザイン報告会の準備①

29	キャリアデザイン報告会の準備②
30	キャリアデザイン報告会
31	

科目名:教養演習Ⅰ	担当者:茶谷 淳一・高谷 邦彦・辻 広志・綾部 六郎・矢澤 久史・山下 玲香・西原 麻里・小出 祥子・福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
　1年次に少人数で行われる演習です。大学での学び方や学生生活の過ごし方を考えたり、自分の生き方を含めた進路についても学んだりしていきます。　またこの授業では、他の授業で学んだ知識・スキルを活用しつつ、チームによる問題解決の体験を通じて「読む・聴く・話す・書く・調べる」力を発揮させる仕方も学習します。そのためにゼミの仲間とともに学内外でのさまざまなプロジェクトに取り組みながら、パソコンを使って資料を作成し、その成果を発表します。【ＡＬ】

授業の到達目標
　この授業では、一人ひとりの学生がゼミというチームの中でどのような役割を果たすべきかを考えながら、プロジェクトの企画や実行、まとめなどを行うことで、社会に出てから働くために本当に必要とされる力（社会人基礎力）を身につけ、円滑に仕事に従事できるようになることが目標です。[DP]

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
○幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　この授業においては、社会人基礎力の向上がもっとも重要な課題となります。ゼミの仲間とのチーム学習が中心となるので、日頃から連絡や意見交換などの基本的なコミュニケーションの機会を大切にし、ゼミ活動を充実させるように心がけることが重要です。

評価方法
　平常点（5割・出席状況なども含む）や提出レポート（4割・全6本）、共通テキスト『ゼミノート』の記入内容（1割）などから総合的に評価します。

教科書	参考図書
『ゼミノート』および配布資料	担当教員から指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
担当教員やゼミのメンバーとしっかりコミュニケーションを取り、充実した学生生活を送れるようにしましょう。
困ったことやわからないことは、担当教員に遠慮なく聞いてください。

01	GENKYO FESの説明／レポートの書き方
02	GENKYO FESの準備①
03	GENKYO FESの準備②
04	GENKYO FESの準備③
05	GENKYO FESの実施①
06	GENKYO FESの実施②
07	読書を楽しもう①
08	読書を楽しもう②
09	秋のセミナーに向けて：有松・桶狭間・中京競馬場の現状
10	秋のセミナーに向けて：課題の発見と準備①
11	秋のセミナーに向けて：課題の発見と準備②
12	秋のセミナーに向けて：課題の発見と準備③
13	秋のセミナーに向けて：体験学習の計画①
14	秋のセミナーに向けて：体験学習の計画②
15	前期の振り返り
16	秋のセミナーに向けて：体験学習の実施①
17	秋のセミナーに向けて：体験学習の実施②
18	秋のセミナー：体験学習の実施③・発表の準備・報告書作成
19	秋のセミナー：体験学習の実施④・発表の準備・報告書作成
20	秋のセミナー全体発表会
21	秋のセミナー報告書作成と振り返り
22	大学祭の準備①
23	大学祭の準備②
24	大学祭の準備③
25	大学祭の準備④
26	2年ゼミ説明会・1,2年交流会
27	芸術鑑賞会に向けて／ビブリオバトルに向けて
28	ビブリオバトルの実施（予選）

29	ビブリオバトルの実施（本戦）
30	ビブリオバトル報告書作成と1年間の振り返り
31	

科目名:日本語表現A	担当者:小出 祥子・浅岡 悦子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
大学生活や、社会生活において、言語によるコミュニケーションは欠かせません。言語表現能力の向上をはかるため、日本語を「話す・聴く・書く・読む」力を培います。具体的には、学内でのインタビュー活動(1回)や、その成果のプレゼンテーション(1回)等を行ないます。活動への取組みを通じて、ディプロマポリシーの3に関連する実践的な日本語表現力を身につけます。提出された課題については、添削を行い返却します。【AL】

授業の到達目標
１．対話の諸形式(1対1、1対複数…)に応じた適切な言葉遣いができるようになる(DP)
２．適切にメモを取ったり、あいづちを打ちながら、対話できるようになる(DP)
３．文章を書く際に、読み手を意識できるようになる(DP)
４．実用書を複数読み、筆者の意見を比較できるようになる

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
・毎週行なわれる漢字小テストの学習をすること(小テストごとに1～2時間程度)
・新聞をスクラップする習慣を身につけ、社会の出来事に対して関心を持つこと(課題ごとに1～2時間程度)
・プレゼンテーションの準備は、授業前までに必ず終わらせること(2時間程度)
・その他、必要に応じて課題が出ることがある

評価方法
授業への参加態度(課題の提出を含む)50%、漢字小テスト30%、確認テスト20%

教科書	参考図書
松浦ほか著『実践日本語表現』(ナカニシヤ出版) 『漢検10日間でできる練習問題』2級または準2級(級は授業の中で指示しますので、授業開始前に購入しないでください)	授業内で適宜指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
グループ活動の多い演習形式の授業です。そのため、欠席は他の受講生の迷惑となります。やむを得ず欠席する場合は、事前に受講生同士で連絡を取り合い、お互いに迷惑をかけないように努めましょう。

01	ガイダンス/図書館
02	新聞の読み方
03	レポートの書き方/インタビュー準備
04	新聞学習・漢字学習・メールの書き方
05	新聞学習・漢字学習・メールの書き方
06	新聞学習・漢字学習・インタビュー内容
07	新聞学習・漢字学習・インタビュー実践
08	新聞学習・漢字学習・インタビューのまとめ
09	新聞学習・漢字学習・報告会の準備
10	新聞学習・漢字学習・報告会の準備
11	新聞学習・漢字学習・報告会
12	新聞学習・漢字学習・報告型レポートの書き方
13	新聞学習・漢字学習・報告型レポートの推敲
14	新聞学習・漢字学習・報告型レポートの完成
15	まとめ・確認テスト
16	なし

科目名:日本語表現B	担当者:小出 祥子・浅岡 悦子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
主に、論理的な日本語の文章を「読む力」と「書く力」を養成します。具体的には、図書館を利用し、文献検索の方法を学びます。更に、テーマに沿って、複数の文献を比較しながら読む活動を繰り返します。この活動により、ディプロマポリシーの３に関連する「各文献の要点を明確にし、自らも意見を持つ力」を養います。
また、根拠に基づいた論理的な文章の作成方法を学び、就職活動における書類の作成や卒業研究に役立てます。

授業の到達目標
・自ら必要とする情報を文献から探すことができるようになる
・複数の文献を読み、比較検討することができるようになる
・客観的で説得力のある文章を書くことができるようになる(DP)
・自らの魅力を分かりやすく文章で表すことができるようになる(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
・毎回の授業で、漢字小テストを行うため、学習を行なうこと(テストごとに1～2時間程度)
・新聞のスクラップを行なうこと(スクラップごとに1時間程度)
・授業内で読みきれない文献については、授業外で読むこと(1時間程度)
・授業内で書ききれない文章については、授業外で作成すること(1時間程度)

評価方法
授業への参加態度(課題の提出を含む)50%、漢字小テスト30%、レポート20%

教科書	参考図書
松浦ほか著『実践日本語表現』(ナカニシヤ出版)、『漢検10日でできる練習問題』2級または準2級	授業中に適宜指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業中はもちろん、授業外でも多くの文献を読む必要があります。また文章を書く際には、皆さん自身が意見を持ち、文章を作成しなければなりません。そのため、授業に主体的に取り組む姿勢が求められます。

01	漢字学習・新聞学習・論文を読む
02	漢字学習・新聞学習・論文を読む
03	漢字学習・新聞学習・レポートの準備
04	漢字学習・新聞学習・資料を探す
05	漢字学習・新聞学習・事実と意見の書き分け
06	漢字学習・新聞学習・論証について
07	漢字学習・新聞学習・構成を考える
08	漢字学習・敬語学習・構成を完成する
09	漢字学習・敬語学習・レポートの執筆
10	漢字学習・敬語学習・レポートの完成
11	漢字学習・敬語学習・レポートの推敲
12	漢字学習・敬語学習・レポートの添削
13	漢字学習・敬語学習・就職作文
14	漢字学習・敬語学習・就職作文
15	漢字総復習・まとめ
16	なし

2022年度シラバス

科目名:コンピュータ演習A	担当者:南 裕一郎・岩佐 孝子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
コンピューターとソフトウェアについての基礎知識や、ウェブの効果的で安全な利用方法などを演習形式で学びます。

授業の到達目標
コンピューターやオフィスソフトの基本操作だけではなく、情報化社会で生きていくために必要となる総合的な情報活用力を身につけることを目標とします。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
この授業で学んだ内容は、授業の中だけで終わらせずに、大学生活（サークルや委員会活動、ゼミ活動、学科行事）や就職活動など、実際のさまざまな場面で活用してみましょう。

評価方法
授業への参加状況や課題への取り組み状況等によって総合的に評価します。

教科書	参考図書
必要に応じてプリントを配布	授業内で指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
各自のノートパソコンを使う実習です。

01	オリエンテーション ～ Gmailの利用方法とメールマナー
02	学内システムの利用法：Teams、Moodle、ohka.net、オンラインでのファイル操作
03	Google検索の基本（複数キーワード、マイナス検索、画像検索、ストリートビュー等）
04	インターネットセキュリティ：SNSの注意点、アカウント管理、ドメインの仕組み、フィッシング詐欺、等
05	ビジュアル表現：イラスト・画像の効果的な使い方と加工、配色、レイアウト、著作権、等
06	PowerPoint：基本操作～箇条書きとアニメーション
07	PowerPoint：リンク（外部リンク、スライド間リンク）
08	PowerPoint：プレゼンテーション準備1
09	PowerPoint：プレゼンテーション準備2～実践1
10	PowerPoint：プレゼンテーション実践2
11	Excel：セル操作の基本（追加、削除、連結、連番、コピー、並べ替え等）
12	Excel：基本関数（セルを使った四則演算、SUM、AVERAGE等）
13	Excel：関数（セルの相対指定、絶対指定、If関数等）
14	Excel：各種グラフの作成とカスタマイズ
15	前期のまとめ
16	

2022年度シラバス

科目名:コンピュータ演習B	担当者:岩佐 孝子・鈴村 市恵	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	必須

授業概要と方法
コンピューターとソフトウェアについての基礎知識や、ウェブの効果的で安全な利用方法などを演習形式で学びます。後期は２年次の卒業研究や就活を意識した実践的な情報活用やプレゼンテーションに取り組みます。【ＡＬ】

授業の到達目標
コンピューターやオフィスソフトの基本操作だけではなく、情報化社会で生きていくために必要となる総合的な情報活用力を身につけることを目標とします。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
この授業で学んだ内容は、授業の中だけで終わらせずに、大学生活（サークルや委員会活動、ゼミ活動、学科行事）や就職活動など、実際のさまざまな場面で活用してみましょう。

評価方法
授業への参加状況と受講態度、提出課題、プレゼンの内容等によって総合的に評価します。

教科書 必要に応じてプリント等を配布します。	参考図書 授業内で指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
各自のノートパソコンを使う実習です。

01	コンピュータとネットワークの基礎：OS、アプリケーション、ファイル、フォルダ、IPアドレス、ブラウザ、サーバ、等
02	論文検索（CiNii、Google Scholar）、正しい引用方法、著作権・肖像権の取り扱い、等
03	Word：レポートの書き方（書式、形式、引用、参考文献、等）
04	Word：ビジネス文書の書き方（送付状・お礼状）
05	Word：箇条書き、画像や図表の挿入と配置、等
06	WordとExcelの連携：グラフの挿入と配置～アンケート結果の報告レポートを書いてみよう
07	就活メール作法：基本編（件名の書き方、挨拶と言葉遣い、署名、等）
08	就活メール作法：返信編（CCとBCC、全員に返信、引用、等）
09	オンラインでのグループワーク①（Teamsを使ったファイル共有とチャット）
10	オンラインでのグループワーク②
11	自己PRプレゼンの準備（スライドの作成）
12	自己PRプレゼンの準備（スライドの完成とリハーサル）
13	自己PRプレゼン（発表）①
14	自己PRプレゼン（発表）②
15	まとめ
16	

2022年度シラバス

科目名:コミュニケーションの心理	担当者:矢澤 久史	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　本講義では、実際の場面で相手とどのようにコミュニケーションを取ったらよいかを考えていく。
① よりよい人間関係を築いていくことができるコミュニケーション力を身に付けるために、コミュニケーションに関する様々な心理学の知見を具体的な例を挙げながら、わかりやすく解説していく。②２人ペアでコミュニケーションの実習を実施したり（全４回）、関連するＤＶＤを見てグループディスカッションをすることによっても、講義の内容に対する理解を深める。【AL】

【担当者の実務経験】臨床心理士、公認心理師、スクールカウンセラーとして携わった児童生徒や保護者、教員とのカウンセリング経験を踏まえ、実場面での相手とのコミュニケーションの取り方を講義する。

授業の到達目標
①人間関係をうまく形成するためのコミュニケーション（話の聴き方、話し方、質問の仕方）を身につける。
②コミュニケーションについての心理学的な知識（言葉の発達、男女の違い、来談者中心療法など）を深める。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎専門知識
○思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業で興味を持った内容について関連図書を読んで、理解を深めること。

評価方法
確認テストの結果（８０％）＋各授業時の小レポート（２０％）

教科書	参考図書
指定なし	授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
毎回の授業の最後に授業の感想や疑問点などを小レポートにまとめて提出してもらう。

01	コミュニケーションについてどのくらいの知識がある？（事前調査）、愛着の形成
02	話の上手な聴き方を体験しよう（ペアによる実習を含む）
03	どのように質問したら会話が長続きする？（閉ざされたvs. 開かれた質問）（ペア実習を含む）
04	あなたは早口、それともゆっくりとした口調で話す？（ペア実習を含む）
05	コミュニケーションのコツ（Ｉメッセージ、イエスバット話法）
06	相手に対してどのように言葉をかけたら、会話がうまく進むのだろう（やる気の出る言葉かけ）
07	来談者中心療法、カウンセラーによる面談（DVD「来談者中心療法」視聴）
08	無言のコミュニケーション（実習）。コミュニケーションの成立はいつからか？（ヘスの研究）
09	赤ちゃんとお母さんのコミュニケーション（ＤＶＤ・ＮＨＫスペシャル「赤ちゃん」前半視聴）
10	赤ちゃんはどのようにして言葉を獲得していくのだろう（ＤＶＤ「赤ちゃん」後半視聴）
11	赤ちゃんとお父さんのコミュニケーション(ＤＶＤ「お父さんへ・赤ちゃんからのメッセージ」)
12	あなたは楽観的それとも悲観的？（自分の考え方のクセを知ろう）（心理検査実習）
13	楽観主義と悲観主義どちらがいい？
14	イルカセラピーと発達障害（ＤＶＤ「イルカセラピー」視聴）
15	男性と女性の会話の違い（ＤＶＤ・ＮＨＫスペシャル・「男と女」第１集視聴）、確認テスト
16	

2022年度シラバス

科目名:接客の心理	担当者:吉田 智美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
サービスと接遇で満足してもらうための具体的な考え方、それを表現するための振る舞いを実習を通して理解する。お客さまに満足していただくための「サービス」と、その行動の「接遇」について柔軟に対応できるように修得し、行動できるようにする。前半では、サービス接遇検定の流れに沿って知識を学び、後半では接遇に必要な考え方を身につけ、サービス接遇検定合格を視野に入れ授業を進める。【AL】

【担当者の実務経験】企業での実務経験、航空会社などの接客経験から机上の内容でだけでなく、卒業後の仕事に活かせる内容を意識し、授業を行う。

授業の到達目標
サービス・接遇の仕事の基本を理解し、お客さまとのコミュニケーション技術を身につけることができる。
サービス接遇検定の学び通して、社会で求められていること、相手を意識した対応ができるようになる。
社会生活で必要とされる知識を身につけ、その持てる力を活かし、社会へ貢献することを目的とする。「（ＤＰ）」
【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
事前課題や事後学修、復習、検定試験対策、確認テスト対策などでおおよそ30時間程度の予習復習を要する。
具体的な内容に関しては、授業中に指示する。
１～2回（事後）テキストの対応部分を読み、まとめる（4時間）3～4回（事前・事後）自分が使っている言葉や使われている言葉についての疑問点をあげ、正しく使うことができるようにする（4時間）5～11回（事後）テキストの対応部分を読み、授業中に間違えた問題を再度確認する（4時間）12～15回（事後）サービスを受ける、物を買うときのサービス、どんな応対が感じが良くて、どんな応対が感じが悪いのか、を意識する。アルバイト先などの働いている人もよく観察する。コミュニケーションの方法や身のこなしなどの接客に必要なスキルを考えてまとめる。（4時間）

評価方法
確提出課題については、次回授業時に解説、返却を行う
確認テスト・提出物（60%）授業に対する意欲的な取り組み・参加態度（40%）を評価し総合的に行う。

教科書	参考図書
サービス接遇検定3．2級テキスト問題集	サービス接遇検定2級　公式テキスト

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡手段：授業内で知らせる。

01	オリエンテーション
02	接客者としての心得
03	信頼される接遇者とは
04	サービス接遇に必要な４Ｓとは
05	お客様への言葉遣い
06	お客様を迎えるときの心構え
07	サービスの機能を考えた態度、行動についてのまとめ
08	多様性について考える
09	クレーム対応の心構え
10	接遇に必要なコミュニケーション①（話のきき方、相手との距離）
11	接遇に必要なコミュニケーション②（よりわかりやすい伝え方）
12	お客様対応の実際
13	ロールプレイング（第一印象を考える）
14	ロールプレイング（より良い接客のために）
15	まとめ
16	

2022年度シラバス

科目名:色彩の心理	担当者:大草 知裕	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　色彩は、物の区別やファッションなど日常生活で幅広く活用されている感覚情報である。この授業では、色彩を扱うための基礎知識として光の性質、視覚の仕組み、色の三属性、表色系などを学習し、その活用として配色やパーソナルカラー、バリアフリーなどへの展開などを行う。受講により、社会生活に必要とされる教養と専門的な技術・知識を身につけることになる。

授業の到達目標
(1) 色彩に関係する光や視覚についての基礎知識を得る(DP2)。
(2) 色相、明度、彩度などに基づいて、色を体系的に扱うことができるようになる(DP2)。
(3) 学習内容をファッションや配色などの日常生活で活用できるようになる(DP3)。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
配色課題の作成物の製作を行います。

評価方法
授業への取り組み姿勢(40%)、期末試験の得点(40%)、作業などによる作成物(20%)

教科書	参考図書
配色カード（指定された153色以上のカードを含むもの。「日本色研配色カード158a」など)	色彩心理学入門（中公新書)、色彩検定テキストなど

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
・できるだけ正確な色を観察するため配色カードを各自に用意してもらいます(¥682)。
・検定試験にチャレンジする場合は研究室や図書館の過去問題集などを利用してください。
・Moodleの科目のページに情報提供するので、定期的に閲覧してください。

01	ガイダンス
02	光と色
03	色を感じる目の仕組み
04	色の三属性
05	色の名前と表現方法
06	色相環やトーンマップの作成
07	色の表現
08	色の数値化や三次元構造
09	動物の色覚と進化
10	ユニバーサルデザインについて
11	色相にもとづいた配色
12	明度や彩度にもとづいた配色
13	グラデーション、アクセントカラー、セパレーション
14	環境やファッションにおける色彩
15	まとめと確認テスト
16	なし

科目名:現代の文化	担当者:西原 麻里	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　この授業では日本の「マンガ文化」を主なテーマとし、社会学やメディア研究の視点から、作品や作家、雑誌、ファン、ジャンルと時代的背景、マンガ文化を取り巻くメディアなどの特徴について考察します。国内外のマンガ文化、あるいはマンガを起点とするポピュラー文化がどのように成立しているのか、またどのような問題が含まれているのかを批判的に検討することにより、現代教養を学ぶ者として社会を見る目を養います。
　授業は講義形式ですが、ディスカッションをおこなうことがあります。また、受講生（挙手制）による「わたしがオススメするマンガ作品」プレゼンテーションを実施します。【AL】

授業の到達目標
①マンガ文化研究を学ぶことにより、現代社会のあり方やメディア文化の特徴などを理解することができる。（DP）
②メディア分析を通じて、表現されるものとそこに含まれるメッセージを読み解くことができる。（DP）
③プレゼンテーションやディスカッションで、自分の考えを言葉にして述べることができる。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
【準備学修】
授業にて指示された「次週テーマに関する課題」に取り組むこと。授業の関連する話題を積極的にリサーチすること。
【事後学修】
授業にて指示された「復習課題」に取り組むこと。授業で学んだことをノート等にまとめること。
※「わたしがオススメするマンガ作品」プレゼンテーションに参加する人は、その準備をおこなうこと。

評価方法
○授業への参加態度・復習／予習課題：50%
○確認テスト：50%
※「わたしがオススメするマンガ作品」プレゼンテーションの参加により加点評価します。

教科書	参考図書
適宜紹介します。	竹内オサム・西原麻里編著『マンガ文化55のキーワード』ミネルヴァ書房、2016年

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
○マンガに詳しい（ふだんからマンガに親しんでいる）人は、その「おもしろさ」や「楽しさ」がどのような条件によって成り立つのかを考えてください。
○マンガについて詳しくなくても受講に差し支えありません。ただし、自分から積極的にマンガに触れていってください。
○授業の資料掲示やアナウンスはTeamsを用います。連絡先は授業で開示します。

01	イントロダクション：マンガの読み解き方
02	「マンガ」の誕生①：現代の「マンガ」の始まり
03	「マンガ」の誕生②：戦後の赤本・貸本・月刊誌と劇画
04	ジャンルの多様性①：高度経済成長期・自己表現のためのマンガ
05	ジャンルの多様性②：少女の“憧れ”と規範の形成
06	ジャンルの多様性③：異性愛のドラマを描く少女マンガ
07	ジャンルの多様性④：少年愛と「JUNE」
08	ジャンルの多様性⑤：コミックマーケットと同人文化
09	ジャンルの多様性⑥：マンガの「ポップカルチャー」化
10	ジャンルの多様性⑦：エッセイマンガ・実用マンガ・学習マンガ
11	マンガ文化とメディア社会①：メデイアミックスとアダプテーション
12	マンガ文化とメディア社会②：マンガミュージアムなどのメディア空間
13	マンガ文化とメディア社会③：海外のコミックス文化
14	マンガ文化とメディア社会④：90年代以降の女性文化とマンガ
15	コンクルージョン：確認テストとフィードバック
16	なし

2022年度シラバス

科目名:からだを動かす	担当者:山下 玲香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
【担当者の実務経験】高等学校教諭
この授業科目では、元高等学校教諭での経験を踏まえ、体育の知見から、人間の体の使い方、あらゆる身体活動について広く講義を行う。また知識を身につけるだけでなく、自分の体をどのように使うのか実践を行い、発表に向けての計画・準備を通し、他者へ伝える発信力を養う。また、この授業はアクティブラーニング形式を取り入れ展開する。（AL）

ヒトが生きていく中で自然と行える動作も、もとをたどれば遊びから学んでいることが多い。また、幼い頃の遊びは、スポーツ活動や健康行動に発展する。講義の前半では、古くから脈々と受け継がれている遊び（伝承遊び）を中心にヒトの身体活動を学ぶ。中盤では社会におけるスポーツを多方面からアプローチし、様々なかかわり方を学ぶ。後半では余暇としての身体活動について広く学ぶ。全体を通して、遊びやスポーツなどの余暇の活動によって人生が豊かになることを知り、自分の身体活動の視野を広げることを目的とする。
この授業を受けることにより、身体活動全般の知識を身につけ物事を考えていくことができる思考力と、課題解決に取り組むことができる行動力、様々な方法により他者に伝えようとするコミュニケーション力が身につく。

授業の到達目標
１）様々な角度から身体活動を捉え理解することができる…GDP１◎
２）考えたことを表現したり具現化して実践・表現することができる…GDP２，３○

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識
○主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
普段からスポーツや遊び（レジャーを含める）に興味関心を持ち、文献や書物、テレビ、新聞などに目を通すこと

評価方法
授業の参加態度６0%　制作物・提出物・ノート４0%
授業中の迷惑行為（私語、化粧、スマホや携帯電話等の無断使用、遅刻、無断退出等）を行った場合、平常点から減点する。

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
・レジメはTeams上で配布しますので、PCを持参してください。
・体を動かしますので、動きやすい服装と靴で参加してください。

01	「遊び」とは　ホモ・ルーデンス
02	子どもと遊び　伝承遊び（昔遊び）
03	伝承遊びの発展　身体活動としての遊びと発育発達
04	身近なもので作って遊ぶ（新聞：お手玉遊び）
05	身近なもので作って遊ぶ（折り紙：メンコ）
06	運動系伝承遊び：ゴム跳び
07	道具操作系伝承遊び：けん玉
08	道具操作系伝承遊び：駒
09	自然の中で行う伝承遊び：かくれんぼ、ドロケイ
10	生涯スポーツ／理想のジムを考えよう
11	理想のジムを発表しあう／競技スポーツ：スポーツをする・見る・支える
12	レクリエーションスポーツ
13	身近なもので作って遊ぶ：ニュースポーツやレクリエーションスポーツ①
14	身近なもので作って遊ぶ：ニュースポーツやレクリエーションスポーツ②
15	1～14回授業のまとめ
16	

科目名:ポピュラーカルチャー論	担当者:西原 麻里	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　この授業では現代のさまざまな（とくに女性の参加が中心となる）ポピュラーカルチャーをテーマとし、社会学やメディア研究の視点から、その特徴や意義、歴史的背景、問題などを考察します。さまざまな文化現象がなにをもって成立するのか、またどのような問題が含まれているのかを批判的に検討することを通じて、自分（たち）が求める「生き方」のヒントを探していきます。
　授業は講義形式ですが、グループワークやディスカッションなどを含みます。また、受講生（挙手制）による「わたしの好きなポップカルチャー」プレゼンテーションを実施します。【AL】

授業の到達目標
①現代のさまざまな（女性向け）文化現象を学問として批判的に捉えることができる。（DP）
②ポピュラーカルチャーやサブカルチャーの楽しさだけでなく、そこに潜む問題や意義について考察することができる。（DP）
③自分の考えを言葉にして、具体的かつ論理的に述べることができる。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
【準備学修】
授業にて指示された「次週テーマに関する課題」に取り組むこと。授業の関連する話題を積極的にリサーチすること。
【事後学修】
授業にて指示された「復習課題」に取り組むこと。授業で学んだことをノート等にまとめること。

評価方法
○授業への参加態度・復習／予習課題：50%
○確認テスト：50%
※「わたしの好きなポップカルチャー」プレゼンテーション参加により加点します。

教科書	参考図書
適宜紹介します。	吉光正絵・池田太臣・西原麻里編著『ポスト〈カワイイ〉の文化社会学: 女子たちの「新たな楽しみ」を探る』ミネルヴァ書房、2017年

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
○現代の文化は一つの見方だけでは把握できません。積極的にさまざまな「おもしろそうなこと」に飛び込み、幅広い知識・詳しい知識を得てください。
○授業の資料掲示やアナウンスはTeamsを用います。連絡先は授業で開示します。

01	イントロダクション：授業の概要と進め方
02	現代の女性向け文化の特徴①：ジェンダーやフェミニズムの視点から
03	現代の女性向け文化の特徴②：〈カワイイ〉の銀河系
04	女性向けメディアを読み解く①：メディアでの女性の描かれ方
05	女性向けメディアを読み解く②：女性向け雑誌の言説を分析する
06	メディア空間と女性文化①：東アジアのアイドル文化
07	メディア空間と女性文化②：女子旅・コンテンツツーリズム
08	メディア空間と女性文化③：夏フェスとロック文化
09	メディア空間と女性文化④：ハロウィン・祭り・イベント
10	ポピュラーカルチャー①：ディズニープリンセス
11	ポピュラーカルチャー②：ミュージカル
12	ポピュラーカルチャー③：同人誌（zine）
13	生き方を考える①：ギャル・オタク・〇〇女子
14	生き方を考える②：「自分らしさ」と規範のはざま
15	コンクルージョン：確認テストとフィードバック
16	なし

科目名:みんなのスポーツA	担当者:松尾 浩世	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実技
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法

テニス・卓球・球技ほか、さまざまなスポーツを行い基本的なルール・マナーそして競技特性を学び、スポーツの楽しむ姿勢を身に着ける。集団の中での協調性・社会性を身につけ積極的に講義へ参加しコミュニケーション力を向上させる。健康への意識向上、体力向上を図り、生活の質が向上するよう「生涯スポーツ」として役立たせる。
※選択人数次第で種目・回数の変更があります。実技になります。

授業の到達目標
・スポーツの基本的なルール・マナーの習得、基本的なスキルの獲得。DP
・スポーツを実施することによる、意義（社会性・協調性の向上）DP
・効果を把握し実感すること・集団の中での協調性を身につけ自分の課題をみつけ積極的に取り組むこと(自主性)。DP

【到達目標と深く関連する学科DP】
○幅広い分野にわたる専門知識
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
体調管理①授業前：十分に運動できるように体調を整えて参加すること（睡眠・疲労回復・食事）
②授業後：疲労回復を十分行うこと
※前期後半は気温が高くなることが予想されます、指導者の暑さ対策に従って下さい。

評価方法
①授業への参加態度：20% ②スポーツへのマナー・ルールの理解、個人技能の向上度：40%②受講姿勢：メンバーとの協力・準備・片付け・積極的に練習やゲームに参加しているか等）40%

教科書	参考図書
なし	授業中に紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
・テニス・卓球は大学でラケットが用意できています。しかし自分の使い慣れたラケットがある場合は使用可です.
・毎授業時必ずタオル・水分補給(水・お茶・スポーツドリンク）を準備すること.
・各種目にふさわしい身だしなみ(爪の長さ等） ・スポーツウェアで参加・スポーツシューズで授業に望むこと.
・体調を整えて授業に参加すること。(寝不足など気を付けましょう)
・遅刻をしないこと. その他, 水分補給等については担当者の指示に従うこと.

01	オリエンテーション・テニス①：基本技術の習得1 ケットの操作の基本グリップの握り方
02	テニス②：基本技術の習得2ヒッティングポイントを覚えるためのテイクバックの小さいショートラリー
03	テニス③：基本技術の習得3（グランドストローク・ミドルラリー・ボレー）
04	テニス④：ゲーム（ルール・ゲームの進め方・サーブ）
05	テニス⑤：ゲーム（チーム対抗）
06	テニス⑥：ゲーム（チーム対抗）
07	テニス⑦：ゲーム（チーム対抗）
08	テニス⑧：ゲーム（ダブルス）ほか
09	卓球①：基本技術の習得1（打球動作・フォアハンドの打ち方バックハンドの打ち方）
10	卓球②：基本技術の習得2（ドライブ・カット）
11	卓球③： ゲーム（ルールとゲームの進め方）
12	卓球④：ダブルスゲーム
13	卓球⑤：ダブルスゲーム
14	卓球⑥：ダブルスゲーム
15	卓球⑦：シングルス ほか
16	なし

2022年度シラバス

科目名:みんなのスポーツA	担当者:中山 滉一	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実技
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　生涯にわたってスポーツに取り組むことは、健康の保持増進に加え、精神的な充実感にも結びつく。本講義で取り扱うバトミントンとゴルフは、生涯を通じて取り組むことができるスポーツのひとつである。これらは、瞬時の判断力や戦略性を要し、ひとつひとつの基本動作の正確性が勝敗を分ける。本講義では基本的な動作を身につけるとともに、互いに動作を習得できているかを判断できるように動作の評価の仕方などを学習する。

授業の到達目標
・基本的なルールを理解する。
・基本的な動作をできるようになる。
・状況に合わせたショットおよびスイングができるようになる。
・他者の動作の改善点を理解し，指摘できるようになる。【DP】

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
・バトミントンとゴルフが競技特性を事前学習すること。
・講義内で学習した内容を理解もしくは技術課題を達成できるようにすること。

評価方法
・授業への参加態度：40%
・基本的ルールおよび技術の理解：40%
・課題・レポート：20%

教科書	参考図書
なし	授業中に紹介する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　バトミントンとゴルフの用具は大学で用意するが、私物のラケット、クラブを使用可、但し自己管理を徹底すること。服装は運動にふさわしいスポーツウェアやシューズで参加すること。装飾品（ピアス等）は脱着し、爪の長さ等は安全性の観点から整えること。水分やタオル等は持参すること。

01	オリエンテーション・ゴルフ①：道具・器具の扱い方
02	ゴルフ②：グリップ、アドレス、インパクトゾーンの理解
03	ゴルフ③：ショートアイアンでのハーフショット
04	ゴルフ④：ショートアイアンでのフルショット
05	ゴルフ⑤：ミドルアイアンの使い方
06	ゴルフ⑥：ドライバーの使い方
07	ゴルフ⑦：ラウンドするための基礎知識と練習方法
08	ゴルフ⑧：ミニラウンド
09	バトミントン①：サービス，ミニゲーム
10	バトミントン②：レシーブ，ミニゲーム
11	バトミントン③：ドロップ&カット，シングルスゲーム
12	バトミントン④：プッシュ，シングルスゲーム
13	バトミントン⑤：スマッシュ，ダブルスゲーム
14	バトミントン⑥：リーグ戦
15	バトミントン⑦：リーグ戦
16	なし　　注：上の1～15は学生の受講状況や習得レベルによって変更する場合もある

2022年度シラバス

科目名:みんなのスポーツB	担当者:伊藤 理香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実技
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
身体的および精神的な健康の観点から、運動やスポーツへの関心が高まっています。本講義にて、フィットネス系の運動およびニュースポーツを行います。運動は誰でも気軽に楽しむことができるため、気持ちが明るくなり心とからだを豊かにします。本講義では、運動を楽しむことができ、またグループワークを行うことによりコミュニケーション能力や創造力を高めます。【AL】

授業の到達目標
授業では、からだを動かす楽しさを体得する。また、仲間と一緒に運動をすることによりコミュニケーション能力を高めることを目標とします。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○幅広い分野にわたる専門知識
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
現代社会における健康と疾病状況を事前学修してください。
運動を行うことで心とからだに与える影響について事前学修してください。
15時間

評価方法
授業への参加態度(積極的な実技への取り組み内容)50% 、グループワークへの取り組み25% 、授業内でのミニレポート25%とします。

教科書	参考図書
なし	なし

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
随時対応します。

01	運動と健康（社会的な背景、運動による効果、）
02	フィットネス系：ヨガ、ピラティス、エアロビクス ①（有酸素運動がからだに与える影響）
03	フィットネス系：ヨガ、ピラティス、エアロビクス ②（呼吸が心とからだに与える影響）
04	フィットネス系：ヨガ、ピラティス、エアロビクス ③（柔軟性と筋力がからだに与える影響）
05	ニュースポーツ：ラージ卓球 ①（基本的動作）
06	ニュースポーツ：ラージ卓球 ②（ラリーの実践）
07	ニュースポーツ：ラージ卓球 ③（グループラリーの実践）
08	ニュースポーツ：卓球バレー ①（視覚的ラリーの実践）
09	ニュースポーツ：卓球バレー ②（聴覚的ラリーの実践）
10	ニュースポーツ：スポーツ鬼ごっこ ①（ゲームの実践）
11	ニュースポーツ：スポーツ鬼ごっこ ②（ペアーゲームの実
12	ニュースポーツ：タスポニー ①（ルールの確認、基本的動作）
13	ニュースポーツ：タスポニー ②（ラリーの実践）
14	ニュースポーツ：フリーテニス ①（ルールの確認、基本的動作）
15	ニュースポーツ：フリーテニス ②（実践）
16	なし

2022年度シラバス

科目名:ボランティア論	担当者:小木曽 早苗	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　ボランティア活動に関する、基礎的な教養と実践に必要な知識などを学んでいきます。身近な生活の中に蔓延している課題について、ボランティア活動を通じてどのように解決できるのか考えていきましょう。ボランティアの社会的な役割や可能性についても掘り下げていきます。その他に、自分がどのような活動に取り組みたいのか、その取り組みを行うことで何を改善できるのかを柔軟に考えていきます。
【担当者の実務経験】
　担当者は、NPO専従事務局職員や社協職員等とアクションリサーチによる共同研究に取り組んできた経験を活かし、ボランティア、地域福祉、NPO制度と法人などを踏まえた内容と関係を持たせた授業を行います。

授業の到達目標
　受講学生が、意欲を持ち社会や地域を良くするためにボランティア活動に参加し、活躍できることを最終目標とします。そのために必要なボランティア活動の基礎的な制度の理解、ボランティア活動を支える制度の活用などを学びます(DP)。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　ボランティア活動に関する情報は、新聞記事・文献・テレビ・インターネットなどを通じて得ることができます。常にアンテナを張り巡らし、身近にある様々なボランティア活動に興味関心を持ってください。また、自然災害も日常的に起きています。日頃の関係づくりや視点が突発的な事象のなかでどのように活かされているかなども重要です。

評価方法
定期試験80%　授業の参加態度20%

教科書	参考図書
適宜レジュメ配布	適宜紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業中だけでなく、普段の生活の中でボランティア活動に対する意識を持ってください。
メールアドレスはk-ogiso@n-fukushi.ac.jpです。

01	授業ガイダンス（シラバスの説明）　ボランティア活動とは何か
02	市民が地域や社会を変えていく可能性とは何か
03	海外でのボランティア活動の位置付けと国内のボランティア活動の位置付け
04	学生が活躍するボランティア活動
05	制度から考えるボランティア活動
06	まちづくりに関わり深いボランティア活動
07	企業と行政に関わり深いボランティア活動
08	農山村で活躍するボランティア活動
09	身近な福祉の担い手としてのボランティア活動
10	障がいの理解と適切なボランティアによる支え合い
11	地域福祉とコミュニティに関わり深いボランティア活動
12	NPOという法人格の特徴を学ぶ
13	NPOとの関わりの中で行うボランティア活動
14	取り組みたいボランティア活動で何を改善したいのか【報告会】
15	授業全体のまとめ
16	なし

2022年度シラバス

科目名:人間と健康	担当者:山下 玲香	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
【担当者の実務経験】高等学校教諭
この授業科目では、元高等学校教諭での経験を踏まえ、保健の知見から、女性の健康問題やスポーツ活動などに関する講義を行う。
女性として強く、たくましく、しなやかに生きるために、自分のカラダの不思議や過去・未来の自分の健康を見つめることや、社会で生活するための知識として、現代社会の健康問題や障がいを持つ人への理解を深める。
この授業を受けることにより、公衆衛生学や学校保健学などの分野の知識を身につけ物事を考えていくことができる思考力と、課題解決に取り組むことができる行動力、様々な方法により他者に伝えようとするコミュニケーション力が身につく。
また、この授業はアクティブラーニング形式を取り入れ展開をしていく。（AL）

授業の到達目標
1）現代病や女性特有の病気や、健康・スポーツなどについて理解を深める…GDP１◎
2）自分の健康や運動について興味関心を持ち、生涯の健康と運動の見通しを立てる…GDP２○
3）健康や運動について様々な視点から考える力を身につけ、他者に向けて発信することだできる…GDP3○

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
1）授業で出された課題についてしっかり取り組むこと。
2）興味関心のあるテーマについて、書籍やインターネットなどで調べること。

評価方法
1）まとめ30点、平常70点（出席状況、課題、授業への取り組み姿勢など）の100点満点で評価する。
2）授業中の迷惑行為（私語、化粧、スマホや携帯電話等の無断使用、遅刻、無断退出等）を行った場合、平常点から減点する。

教科書	参考図書
教員から随時指示する	教員から随時指示する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
1）授業には前向きな姿勢で臨んでください。課題やディスカッション、グループワークなど、積極的に取り組んでくれることを期待しています。2）授業中に配布した資料、ノート、メモなどは全て1つのファイルに綴るようにしてください。

01	「健康」を学ぶにあたって　自分の健康を見つめよう
02	発育発達と成長過程の疾病
03	体力・運動能力について　体力低下が身体に与える影響
04	痩身と肥満　より健康なカラダ作りを目指して
05	疲労とストレス
06	月経とそれに関わる日常の困難
07	女性特有の疾患　妊娠と出産
08	グループ発表準備①　【SDGｓを考える】
09	グループ発表準備②　【SDGｓを考える】
10	グループ発表
11	高齢者の運動と健康
12	女性と運動　生涯スポーツ
13	女性と近代スポーツ　安全に運動を楽しむために
14	運動処方
15	1～14回までの授業のまとめ
16	

2022年度シラバス

科目名:障がい者の理解と支援	担当者:福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この授業では、強い不安を感じた時に自傷や異食など生活環境への著しい不適応行動を示し日常生活が困難な「強度行動障害」に対応するため、障がいについて理解し支援方法を学びます。
　この授業では、障がいを理解するグループワークを中心とした授業と支援方法を体験し修得する施設実習を行います。下記ディプロマポリシーに関連します。【AL】
【担当者の実務経験】臨床心理士・公認心理師としてこれまで医療機関（精神科・心療内科）や学校現場等において心理臨床業務に従事してきました。事前指導と事後指導及びレポート作成時にアドバイスします。

授業の到達目標
将来，対人援助の現場などで従事するための基礎（障がいや症状についての基本的な知識と対応技術）を学び，身につけます「(DP)」。
本授業を学外実習等含めて漏れなく受講すれば，強度行動障害支援者養成研修（基礎）受講証明が得られます（ただし，新型コロナ感染症の状況等によって変更となる場合があります）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
自閉スペクトラム症や知的障害，過敏症などに関する基礎的な理解を持って学ぶとスムーズに講座に入れます。
（事前の授業でも事前指導として随時紹介します）

評価方法
○取り組み姿勢　40%
○実習先評価　40%
○事後レポート　20%

教科書	参考図書
行動障害のある人の「暮らし」を支える（特定非営利活動法人全国地域生活支援ネットワーク監修）中央法規出版（予定）	適宜指示します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
1年次開講ですが，やや専門的な内容になりますので2年次の受講も歓迎します。
学外での施設実習（1日間），学外研修受講（2日間）を含みます。
日程等の詳細については別途受講者にお知らせします。

01	○授業説明会（欠席者は受講できません） ○受講者選抜（実習先は小規模なので大人数の受け入れは不可） ○事前指導（1.5h）（学内） ○施設実習（7.5h）（施設実習は学外） ○講義（12h）※（講義会場は学外） ○事後指導（1.5h）（学内） 諸注意 ※学外の講義、施設実習などがあるため、施設実習の日時と学外講義の開催場所や日時に関する説明を聞き逃さないこと ※受講人数に限りがある為（最大5名を予定）、受講選抜を行う場合があります ※連絡がきちんと取れるようにしてください
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2022年度シラバス

科目名:ＮＰＯインターンシップＡ	担当者:西原 麻里	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　この科目では、夏期休暇にNPOを含む非営利組織の現場で5日間の研修（インターンシップ）をおこないます。
　NPOなど非営利組織は、地域や社会を改善するために多岐に渡る分野で社会貢献活動をする団体です。その団体にインターンシップとして参加し、NPO・非営利組織の現場で研修を受けることで、何が社会や地域の問題であるのか理解し、その解決方法を周囲の人々と一緒に考える力を実践的に養います。【AL】

授業の到達目標
　インターシップを通じて、市民活動の取り組みとその社会的な役割を理解します。5日間の研修で得られた体験が将来の地域活動やキャリア形成に役立つことを目標としています。普段から地域社会や暮らす人びとの生活などに関する情報を積極的に収集し、自分にできる活動や地域の未来を考えられるようになることを目指します。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
【準備学修】NPOに関する情報収集と学習、事前学修レポートの提出（1000字程度）、各書類提出
【事後学習】研修日誌の提出、事後学修レポートの提出（1000字程度）
※提出物は期限厳守

評価方法
　事前・事後レポート、研修の取り組み姿勢、研修先の評価を踏まえて総合的に評価をします。（研修日誌やレポート50%・研修先評価30%・取り組み姿勢20%）

教科書	参考図書
なし	適宜紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　研修は学外で行うため、安全確保と体調管理に特に注意しましょう。また、時間厳守は社会における基本的なマナーです。真面目に取り組むことが自身の成長につながりますので、研修期間中は積極的な姿勢で取り組んでください。

01	①NPOインターンシップAの説明会 １．NPOを含む非営利組織の理解を深める ２．活動内容を理解する ３．研修先と研修内容とスケジュールの確認と調整 ②選別　希望者が多い場合は選別を行うことがある ③事前指導　事前レポート等の提出物は、締め切り厳守 ④実施期間　夏期（5日間） ⑤研修内容　受け入れ先の指示に従う ⑥事後指導　研修日誌の確認と提出／事後レポート等の提出物は締め切り厳守のこと。 諸注意 ※交通費や昼食代が必要です。また、実習先は愛知県内を考えています。
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:ＮＰＯインターンシップＢ	担当者:西原 麻里	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　この科目では、春期休暇にNPOを含む非営利組織の現場で5日間の研修（インターンシップ）をおこないます。
　NPOなど非営利組織は、地域や社会を改善するために多岐に渡る分野で社会貢献活動をする団体です。その団体にインターンシップとして参加し、NPO・非営利組織の現場で研修を受けることで、何が社会や地域の問題であるのか理解し、その解決方法を周囲の人々と一緒に考える力を実践的に養います。【AL】

授業の到達目標
　インターシップを通じて、市民活動の取り組みとその社会的な役割を理解します。5日間の研修で得られた体験が将来の地域活動やキャリア形成に役立つことを目標としています。普段から地域社会や暮らす人びとの生活などに関する情報を積極的に収集し、自分にできる活動や地域の未来を考えられるようになることを目指します。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
【準備学修】NPOに関する情報収集と学習、事前学修レポートの提出（1000字程度）、各書類提出
【事後学習】研修日誌の提出、事後学修レポートの提出（1000字程度）
※提出物は期限厳守

評価方法
事前・事後レポート、研修の取り組み姿勢、研修先の評価を踏まえて総合的に評価をします。
（研修日誌やレポート50％・研修先評価30％・取り組み姿勢20％）

教科書	参考図書
なし	適宜紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　研修は学外で行うため、安全確保と体調管理に特に注意しましょう。また、時間厳守は社会における基本的なマナーです。真面目に取り組むことが自身の成長につながりますので、研修期間中は積極的な姿勢で取り組んでください。

01	①NPOインターンシップBの説明会 １．NPOを含む非営利組織の理解を深める ２．活動内容を理解する ３．研修先と研修内容とスケジュールの確認と調整 ②選別　希望者が多い場合は選別を行うことがある ③事前指導　事前レポート等の提出物は、締め切り厳守 ④実施期間　春期休暇（5日間） ⑤研修内容　受け入れ先の指示に従う ⑥事後指導　研修日誌の確認と提出／事後レポート等の提出物は締め切り厳守のこと。 諸注意 ※交通費や昼食代が必要です。また、実習先は愛知県内を考えています。
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2022年度シラバス

科目名:カウンセリング入門	担当者:福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
①「自分の心」について積極的な関心を持って理解を深め，「他者の心」に真摯で温かな眼差しを向けるカウンセリングの理論や技法について基本的な知識を学ぶだけでなく，援助者としての基本姿勢について学びます。下記ディプロマポリシーに基づいて，よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力の習得と深い関連性があります。
カウンセリングの理論や技法について事例を読んだりロールプレイをしながら、より実践的に修得することで，将来さまざまな場面で活用できることを目指します。
②授業の方法は、毎回扱うトピックとそれに関連した体験学習（個人またはペア・ワーク）という構成で進めます。
③毎回、授業への出席票を兼ねたふり返りレポートの作成をお願いし，次回の授業時にフィードバックします。【ＡＬ】

【担当者の実務経験】臨床心理士・公認心理師としてこれまで医療機関（精神科・心療内科）や学校現場等において心理臨床業務に従事してきました。

授業の到達目標
①基礎的なカウンセリング（傾聴）の知識と技法を学び，理解することができます「(DP)」。
②代表的なカウンセリング（心理療法）の知識と技法を学び，理解することができます「(DP)」。
③ペアワーク等の体験を通して課題に取り組むことで，実践的な理解やスキルを身につけ，自己理解や他者理解を深めます「(DP)」。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
①授業の中で関心を持ったテーマについて，関連書籍などを読み，理解を深めてください。
②授業で得た学びを積極的に日々の生活に取り入れ，自分磨きに努めましょう。

評価方法
授業への参加態度45%，レポート25%，確認テスト３０％

教科書	参考図書 授業の中で適宜紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先は授業時にお知らせします。
ペアワーク等の体験を多く取り入れますので積極的に取り組んでください。
将来一般企業等に就職する場合にも，相手の意見がしっかり聞ける（傾聴）ことは役立ちます。
オンライン対応となる場合はmoodleで連絡します。また，オンラインでのリアルタイム授業の場合には，カメラオンを求めることがあります。

01	ガイダンス・カウンセリングとは（カウンセリングの目的や定義）
02	カウンセリングの効果
03	傾聴の基礎①（非言語的なコミュニケーション）
04	傾聴の基礎②（反射 / リフレクション）
05	傾聴の基礎③（共感的な伝え返しshort ver.）
06	傾聴の基礎④（共感的な伝え返し／エンパシーラボ）
07	傾聴の基礎⑤（カウンセラーの仕事）
08	傾聴の基礎⑥（共感的な伝え返しlong ver.）
09	傾聴の基礎⑦（模擬カウンセリング）
10	事例を通してカウンセリングを考える①（初回面接）
11	事例を通してカウンセリングを考える②（アセスメント）
12	事例を通してカウンセリングを考える③（夢分析）
13	事例を通してカウンセリングを考える④（認知行動療法）
14	事例を通してカウンセリングを考える⑤（解決志向アプローチ）
15	まとめと確認テスト
16	なし

科目名:医療実務Ａ	担当者:塚本 佳子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
医療実務に関連する法規、医療機関のしくみ、医療費のしくみ、医療用語、患者接遇など、医療機関の事務職員として必要な知識を学びます。さらに、ホスピタルコンシェルジュ検定合格をめざします。また、授業で理解した内容を業務に活かせるよう、PBL（問題解決学習）を取り入れます。【AL】
提出された課題については、授業内にて模範解答を示しフィードバックします。

授業の到達目標
　医療事務に関連する法規、医療機関のしくみ、医療費のしくみ、医療用語、患者接遇の方法などを理解するとともに、医療機関窓口等での基本業務について、得た知識を応用し、考えることができるようになる。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
・授業のみの学習では知識の定着が難しいため、必ず復習として自宅学習をすること。
・各回の授業で出された課題を積極的に取り組み、理解しづらい点は付箋などをつけ必ず次の授業にて質問すること。（毎回の準備・事後学修180分程度）

評価方法
定期試験60％、課題提出40％

教科書	参考図書
テキスト１．２（ホスピタルコンシェルジュ）、医療関連用語・略語集　（全て、ソラスト）	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先は授業内にお伝えします。授業内で分からないことがありましたら遠慮なくご質問ください。

01	オリエンテーション（受講ルールと到達目標）／医療機関の概要
02	医療保障制度と医療保険制度について
03	医療保険給付について
04	その他の医療保障制度について（公費負担医療制度等） その他の医療保障制度について（公費負担医療制度等）
05	医療サービスとは 医療サービスの概念について
06	接遇の基本について
07	法律に基づく医療について
08	医療機関における組織について
09	個人情報の取り扱いと医療の質について
10	診療報酬について
11	診療報酬と調剤報酬について
12	労災保険と自賠責保険について
13	損益管理と医事統計について
14	実践問題（接遇）（知識8）
15	総復習と確認テスト
16	
17	医療用語４（検査・処置）
18	医療事務職員の基本業務を考える（ＰＢＬ）
19	医事業務におけるﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄを考える（ＰＢＬ）
20	薬と薬効
21	調剤基本料のしくみと算定方法
22	調剤基本料算定の実際
23	薬剤料等のしくみと算定方法
24	薬剤料等算定の実際
25	調剤料のしくみと算定方法
26	調剤料算定の実際
27	薬学管理料のしくみと算定方法
28	薬学管理料算定の実際
29	調剤レセプトの書き方

30	調剤レセプト作成演習
31	定期試験

2022年度シラバス

科目名:医療実務Ｂ	担当者:塚本 佳子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:医療実務Aを受講することが望ましい		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
医療実務に関連する法規、調剤報酬の算定方法、医療用語、患者接遇など、医療機関の事務職員として必要な知識を学びます。さらに、ホスピタルコンシェルジュ、調剤事務管理士などの検定合格をめざします。また、授業で理解した内容を業務に活かせるよう、PBL（問題解決学習）を取り入れます。【AL】

授業の到達目標
　医療事務に関連する法規、医療機関のしくみ、医療費のしくみ、医療用語、患者接遇の方法などを理解するとともに、医療機関窓口等での基本業務について、得た知識を応用し、考えることができるようになる。（DP）
　調剤報酬のしくみと算定方法を知り、調剤薬局における事務とは何かを理解することができるようになる。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
・授業のみの学習では知識の定着が難しいため、必ず復習として自宅学習をすること。
・各回の授業で出された課題を積極的に取り組み、理解しづらい点は付箋などをつけ必ず次の授業にて質問すること。（毎回、準備・事後学修として180分程度）

評価方法
定期試験60％、課題提出40％

教科書	参考図書
テキスト１（医療保障制度）、テキスト2（調剤報酬の算定）、テキスト3（トレーニングブック）、資料ブック、薬価表、調剤報酬明細書　（全て、ソラスト）	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先は授業内にお伝えします。授業内で分からないことがありましたら遠慮なくご質問ください。

01	オリエンテーション（受講のルールと到達目標について）／薬局の基礎知識
02	処方箋の基礎知識について
03	調剤報酬の算定について１（調剤基本料）
04	調剤報酬の算定について２（薬剤料）
05	調剤報酬の算定について３（調剤料）
06	調剤報酬の算定について４（調剤料の加算）
07	調剤報酬の算定について５（薬学管理料）
08	調剤報酬算定のまとめ
09	レセプトの作成方法について
10	薬の基礎知識
11	調剤薬局における接遇マナー
12	医療用語１（病名略語等）
13	医療用語２（検査、薬品略語等）
14	実践問題（学科）（実技）
15	総復習と確認テスト
16	
17	医療用語４（検査・処置）
18	医療事務職員の基本業務を考える（ＰＢＬ）
19	医事業務におけるﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄを考える（ＰＢＬ）
20	薬と薬効
21	調剤基本料のしくみと算定方法
22	調剤基本料算定の実際
23	薬剤料等のしくみと算定方法
24	薬剤料等算定の実際
25	調剤料のしくみと算定方法
26	調剤料算定の実際
27	薬学管理料のしくみと算定方法
28	薬学管理料算定の実際
29	調剤レセプトの書き方

30	調剤レセプト作成演習
31	定期試験

科目名:病院インターンシップＳ	担当者:茶谷 淳一・高谷 邦彦・辻 広志・綾部 六郎・矢澤 久史・山下 玲香・西原 麻里・小出 祥子・福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期･後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　大学の提携した病院や医療機関にて、実際の事務や受付などの仕事を研修生として体験する。
　また、それに関して必要となる事前の準備や、研修終了後の振り返りを行う。研習先での研修だけでなく、事前の説明会やガイダンスなどへの出席、事前訪問も授業に含まれる。「病院インターンシップS」は1週間程度の研修を対象とする。
　なお、希望人数が多い場合には大学による選考が行われる。【AL】

授業の到達目標
　病院や医療機関での仕事のイメージを体得するとともに、病院や医療機関などで働くのに必要となる技能、知識、心構えなどを理解して、その後の学習に取り入れていく。
　また、学外での実社会の方との関わりの中で、社会人として必要になるコミュニケーション力や情況把握力、責任感などを養う（DP）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　説明会は他のインターンシップと合同で開催される場合もあり、昼休みなどに実施されるので、掲示版の案内を見て確認すること。履歴書などの書類の提出や、場合によっては事前訪問なども必要になる。
　研修中は現場の職員や医療従事者の方と同じく責任感および緊張感のある行動が求められる。そのために礼儀作法や身だしなみ、一般常識、コミュニケーション能力などについて、普段から(日常的に)意識を高めておく必要がある。

評価方法
　研修日誌と研修レポートをもとにした研修内容と研修成果（60%)、研習先の評価と事前事後の指導をもとにした研修態度（40%)という割合で評価する。

教科書	参考図書
ガイダンスや事前指導で適宜指示する。	『就職ガイドブック』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
通常の授業科目とは、履修登録の時期や方法が異なるので、注意する。
学生課が窓口となり、緊急の通知などもあるので、メールなどで迅速に連絡ができるようにしておくこと。

01	以下の事前指導、研修、事後指導から構成される。 事前指導：（7時間） （1）研修先や研修概要に関する説明会 （2）希望人数によっては選考 （3）研修先ごとのガイダンス （4）研修先の事前訪問 研修：（50時間） （1）前期は夏季休業、後期は春季休業中に各自の研修実施先にて研修を行う。 （2）研修内容は、実習先によって異なる。基本的に研修者のために用意されたプログラムに従って研修を行い、 実施先での担当者による指導を受ける。 事後指導：（3時間） （1）研修内容の振り返り （2）課題レポートの提出
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:病院インターンシップＬ	担当者:茶谷 淳一・高谷 邦彦・辻 広志・綾部 六郎・矢澤 久史・山下 玲香・西原 麻里・小出 祥子・福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許･資格:		開講時期	前期･後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　大学の提携した病院や医療機関にて、実際の事務や受付などの仕事を研修生として体験する。
　また、それに関して必要となる事前の準備や、研修終了後の振り返りを行う。研習先での研修だけでなく、事前の説明会やガイダンスなどへの出席、事前訪問も授業に含まれる。「病院インターンシップL」は2週間程度の研修を対象とする。
　なお、希望人数が多い場合には大学による選考が行われる。【AL】

授業の到達目標
　病院や医療機関での仕事のイメージを体得するとともに、病院や医療機関などで働くのに必要となる技能、知識、心構えなどを理解して、その後の学習に取り入れていく。
　また、学外での実社会の方との関わりの中で、社会人として必要になるコミュニケーション力や情況把握力、責任感などを養う（DP）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　説明会は他のインターンシップと合同で開催される場合もあり、昼休みなどに実施されるので、掲示版の案内を見て確認すること。履歴書などの書類の提出や、場合によっては事前訪問なども必要になる。
　研習中は現場の職員や医療従事者の方と同じく責任感および緊張感のある行動が必要になる。そのために礼儀作法や身だしなみ、一般常識、コミュニケーション能力などについて、普段から(日常的に)意識を高めておく必要がある。

評価方法
　研修日誌と研修レポートをもとにした研修内容と研修成果（60%)、実習先の評価と事前事後の指導をもとにした研修態度(40%)という割合で評価する。

教科書	参考図書
ガイダンスなどで適宜指示する。	『就職ガイドブック』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
通常の授業科目とは、履修登録の時期や方法が異なるので、注意する。
学生課が窓口となり、緊急の通知などもあるので、メールなどで迅速に連絡ができるようにしておくこと。

01	以下の事前指導、研修、事後指導から構成される。 事前指導：（7時間） （1）研修先や研修概要に関する説明会 （2）希望人数によっては選考 （3）研修先ごとのガイダンス （4）研修先の事前訪問 研修：（110時間） （1）前期は夏季休業、後期は春季休業中に各自の研修実施先にて研修を行う。 （2）研修内容は、実習先によって異なる。基本的に研修者のために用意されたプログラムに従って研修を行い、 実施先での担当者による指導を受ける。 事後指導：（3時間） （1）研修内容の振り返り （2）課題レポートの提出
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2022年度シラバス

科目名:経済学	担当者:茶谷 淳一	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
私たちの暮らしがいまどのような状況にあるのか、これからどのように変わろうとしているのかを考える手がかりとして、現代日本の経済が直面し国民生活に大きく影響している諸課題について説明する。授業は基本的に講義形式ですが、意見をまとめ、発表していただく機会もあります。社会福祉主事任用資格取得のための勉強も行います。ノート提出については翌週の授業で講評します。期末確認テストはmoodleに模範解答を1週間程度掲載します。

授業の到達目標
①社会や経済のあり方に関心を持ち、新聞や日々のニュースに、自ら触れようとするようになる。②現代日本の経済社会に関する基礎的な知識を身につけ、現代経済に関連することがらについて、自分なりに考えることができる。（DP）③ニュースなどを鵜呑みするのではなく、批判的に考えることができるようになる。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
①新聞やテレビのニュース、ドキュメンタリーを積極的に見ましょう。そして今、何が起こっているのかを敏感に悟ることができるようになりましょう。②宿題として確認テストがあります。必ず自分で解答しましょう。③社会福祉主事任用資格取得のために「現代社会における経済の機能や役割」「社会福祉行政について国家財政や地方財政等の側面から理解する」「経済政策や社会政策と社会福祉・社会保障との関連について理解する」「経済と貧困等社会福祉の社会的背景について理解する」ことを目的として「経済学の構成と概要」「国家財政と地方財政」「公共政策と経済政策」「社会政策と国民生活」「国際化時代の経済」に関する課題を5回に分けて出します。

評価方法
レポートやワークなど授業への参加度20%、期末の確認テスト80%

教科書
なし。スライドをもとに授業を進めます。

参考図書
鎌田雄一郎　ゲーム理論入門の入門　岩波新書　2019年。阿部誠　行動経済学　新星出版　2021年などのほか、授業で用いた資料も。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
重要なニュースの説明などのため、授業が予定通りに進まないことがあります。レジュメの余白にメモを取ること。質問は木曜昼休みに研究室へ。途中退出・遅刻・私語など受講マナーを守れない場合は受講を取り消します。

01	授業の目的と方法　経済学が社会を考える手掛かりを与えてくれます
02	トイレットペーパーの経済学～なぜ行列に並ぶのか①
03	トイレットペーパーの経済学～なぜ行列に並ぶのか②
04	トイレットペーパーの経済学～なぜ行列に並ぶのか③
05	トイレットペーパーの経済学～なぜ行列に並ぶのか④
06	トイレットペーパーの経済学～なぜ行列に並ぶのか⑤
07	女性の貧困①　ビデオ「調査報告　女性たちの貧困」を見る
08	女性の貧困②・女性の就労と結婚を経済学で考える①
09	女性の就労と結婚を経済学で考える②
10	女性の就労と結婚を経済学で考える③
11	女性の就労と結婚を経済学で考える④
12	現代日本社会の貧困を考える①
13	現代日本社会の貧困を考える②
14	「育児」の経済学
15	授業のまとめと授業内確認試験
16	なし

2022年度シラバス

科目名:現代の経営	担当者:清水 真	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　この科目では、日常生活とのかかわりを含め、ビジネスの視点から据えた個人の行動や市場・会社の仕組みを理解することを基本とする。理解を深めるため、問題解決学修を取り入れる。
レポートや確認テストについては講評や模範解答などを講義中に説明する。

授業の到達目標
　社会人として社会の諸問題を判断し、解決するための、社会のしくみに関する幅広い知識・素養を身につけることができる「DP」。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　事後学修として、自宅で会社の仕組みについて理解を深める。

評価方法
　授業への参加態度40%、試験60%による総合評価

教科書	参考図書
プリントを適宜配布する。	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
shimizu@isc.chubu.ac.jp

01	経済の基礎
02	ビジネスの発展
03	流通の意義と役割
04	売買業者のビジネス
05	流通活動とマーケティング
06	企業の形態と経営組織(1)
07	企業の形態と経営組織(2)
08	経営戦略（１）戦略パターン・経営資源の配分法
09	経営戦略（２）M&Aの実態と経営手法
10	企業の資金調達
11	サービス業のビジネス
12	金融機関のビジネス
13	企業活動と税
14	人事・労務の仕組み
15	まとめ、確認テスト
16	

2022年度シラバス

科目名:マーケティング	担当者:清水 真	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
身近に存在する商品が、どのように開発、価格設定、販売促進され、消費者の手元に届くかを学ぶのが本授業の概要である。基本的に講義形式で授業を進めるが、理解を深めるため、グループディスカッションも実施する。【AL】
レポートの講評やテストの模範解答などのフィードバックについては授業中に行う。

授業の到達目標
マーケティングとは如何なるものかを理解し、今日における社会環境の課題を発見するとともに、それを解決する能力を身につけることができる「DP」。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
事後に、ショッピングに出かけ、授業に学んだことを念頭に、商品価格の比較、販売員の態度、広告などを調べる。グループディスカッションの準備学修としてケースを熟読し、課題をまとめる。

評価方法
授業への参加度50%、テスト50%による総合評価

教科書	参考図書
朝岡敏行編『マーケティングと消費者』慶應義塾出版会 ISBN978-4-7664-1508-7	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
shimizu@isc.chubu.ac.jp

01	マーケティングとは何か
02	マーケティングの誕生
03	マーケティング環境としての消費
04	サービス・マーケティング
05	ブランドの構築と消費者との関係性
06	製品計画(1)新製品開発と戦略
07	製品計画(2)製品ミックス, 製品属性
08	価格決定(1)価格の持つ意味
09	価格決定(2)価格の種類と価格の決定方式
10	プロモーション(1)コミュニケーション
11	プロモーション(2)AIDMA, 人的販売
12	プロモーション(3)販売促進, 広告・宣伝・パブリシティ
13	流通チャネル(1)流通チャネルの構築基準と機能, 流通系列化
14	流通チャネル(2)流通系列化をめぐる変化とSCM
15	まとめ、確認テスト
16	

科目名:企業インターンシップS	担当者:茶谷 淳一・高谷 邦彦・辻 広志・綾部 六郎・矢澤 久史・山下 玲香・西原 麻里・小出 祥子・福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　大学が協定を結んでいる学外の企業や事業所にて、実際の事務などの仕事を研修生として体験する。研修先での研修だけでなく、事前の説明会やガイダンスなどへの出席、事前訪問および研修終了後の振り返りも単位取得の要件である。希望人数が多い場合には大学による選考が行われる。
　なお、「企業インターンシップS」は1週間程度の研修を対象とする。【AL】

授業の到達目標
　企業や事業所、店舗などでの仕事のイメージを体得するとともに、実際の職場で働くのに必要となる技能、知識、心構えなどを理解して、その後の学習に取り入れていく。
　また、学外での実社会の方との関わりの中で、社会人として必要になるコミュニケーション力や情況把握力、責任感などを養う（DP）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　説明会は他のインターンシップと合同で開催される場合もあり、昼休みなどに実施されるので、掲示版の案内を見て確認すること。履歴書などの書類の提出や、場合によっては事前訪問なども必要になる。
　研習中は現場の職員の方と同様の責任感および緊張感のある行動が求められる。そのために礼儀作法や身だしなみ、一般常識、コミュニケーション能力などについて、普段から(日常的に)意識を高めておく必要がある。

評価方法
　研修日誌と研修レポートをもとにした研修内容と研修成果（60%)、研習先の評価と事前事後の指導をもとにした研修態度(40%)という割合で評価する。

教科書	参考図書
ガイダンスなどで適宜指示する。	『就職ガイドブック』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
通常の授業科目とは、履修登録の時期や方法が異なるので注意すること。
学生課が窓口となり、緊急の通知などもあるので、メールなどで迅速に連絡ができるようにしておくこと。

01	以下の事前指導、研修、事後指導から構成される。 事前指導：（7時間） （1）研修先や研修概要に関する説明会 （2）希望人数によっては選考 （3）研修先ごとのガイダンス （4）研修先の事前訪問 研修：（50時間） （1）前期は夏季休業、後期は春季休業中に各自の研修実施先にて研修を行う。 （2）研修内容は、研習先によって異なる。基本的に研修者のために用意されたプログラムに従って研修を行い、 実施先での担当者による指導を受ける。 事後指導：（3時間） （1）研修内容の振り返り （2）研修レポートの提出
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:企業インターンシップL	担当者:茶谷 淳一・高谷 邦彦・辻 広志・綾部 六郎・矢澤 久史・山下 玲香・西原 麻里・小出 祥子・福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　大学が協定を結んでいる学外の企業や事業所にて、実際の事務などの仕事を研修生として体験する。研修先での研修だけでなく、事前の説明会やガイダンスなどへの出席、事前訪問および研修終了後の振り返りも単位取得の要件である。希望人数が多い場合には大学による選考が行われる。
　なお、「企業インターンシップL」は2週間程度の研修を対象とする。【AL】

授業の到達目標
　企業や事業所、店舗などでの仕事のイメージを体得するとともに、実際の職場で働くのに必要となる技能、知識、心構えなどを理解して、その後の学習に取り入れていく。
　また、学外での実社会の方との関わりの中で、社会人として必要になるコミュニケーション力や情況把握力、責任感などを養う（DP）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　説明会は他のインターンシップと合同で開催される場合もあり、昼休みなどに実施されるので、掲示版の案内を見て確認すること。履歴書などの書類の提出や、場合によっては事前訪問なども必要になる。
　研習中は現場の職員の方と同様の責任感および緊張感のある行動が求められる。そのために礼儀作法や身だしなみ、一般常識、コミュニケーション能力などについて、普段から(日常的に)意識を高めておく必要がある。

評価方法
　研修日誌と研修レポートをもとにした研修内容と研修成果（60%)、研習先の評価と事前事後の指導をもとにした研修態度（40%)、という割合で評価する。

教科書	参考図書
ガイダンスなどで適宜指示する。	『就職ガイドブック』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
通常の授業科目とは、履修登録の時期や方法が異なるので注意すること。
学生課が窓口となり、緊急の通知などもあるので、メールなどで迅速に連絡ができるようにしておくこと。

01	以下の事前指導、研修、事後指導から構成される。 事前指導：（7時間） （1）研修先や研修概要に関する説明会 （2）希望人数によっては選考 （3）研修先ごとのガイダンス （4）研修先の事前訪問 研修：（50時間） （1）前期は夏季休業、後期は春季休業中に各自の研修実施先にて研修を行う。 （2）研修内容は、研習先によって異なる。基本的に研修者のために用意されたプログラムに従って研修を行い、 実施先での担当者による指導を受ける。 事後指導：（3時間） （1）研修内容の振り返り （2）研修レポートの提出
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

科目名:法学	担当者:綾部 六郎	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　本科目では憲法や民法などに代表される法学の諸分野のうち、代表的な領域についていくつか取り上げます。現代社会において自立した女性となるために、法学についての基礎的な知識を学びましょう。
　なお、この科目は社会福祉主事任用資格を取得するために必要なものの1つとなっています。

授業の到達目標
　この授業では、現代社会における法の機能について、具体的な題材を通じて学び、受講生のみなさんがそれまでの自分とは違う視点を得られるようにします（DP）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　日常的な出来事のなかに潜んでいるさまざまな問題を、法的に適切に分析するための視座を獲得することが大切です。教科書の予習・復習が毎回求められます。

評価方法
1. 学期末試験の成績（90%）
2. 受講態度などの勘案（10%）
3. 任意課題の提出（適宜加点する）
★学期末試験の講評をOhka Moodle上でおこなう予定です。

教科書	参考図書
開講までに指示します。	授業中に紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
・学期末試験はOhka Moodle上で出題する予定です。
・公務員採用試験などの受験希望者は、同じ担当者による英語コミュニケーション学科開講科目「日本国憲法」もあわせて受講することが望まれます。

01	ガイダンスの実施
02	概論①：法とはなにか？
03	概論②：システムとしての法
04	概論③：法の解釈と適用
05	憲法①：総論・人権
06	憲法②：統治機構・地方自治
07	行政法①：総論・行為・手続
08	行政法②：救済・情報公開
09	民法①：総論・財産法
10	民法②：家族法
11	福祉関連法①：成年後見
12	福祉関連法②：消費者保護
13	国際法①：国際公法
14	国際法②：国際私法
15	授業のまとめなど
16	なし

2022年度シラバス

科目名:オフィススタディ	担当者:吉田 智美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
ビジネス社会で働いていくために必要な基本的な心構え、知識を会社内でのケースを通して理解する。アルバイトを含め社会生活で必要とされるビジネスマナーを身に付け、様々な状況に臨機応変に対応できるように修得し、行動できるようにする。授業の流れは、最初に内容に関する説明を行い（インプット）、その後、プリントなどで問題を解き（アウトプット）秘書検定2級取得を目的とする。
【担当者の実務経験】企業での実務経験、接客経験などから机上の内容でだけでなく、卒業後の仕事に活かせる内容を意識し、授業を行う。アウトプット）し、知識の定着を図る。秘書検定2級の資格取得を目標にする。

授業の到達目標
大学生活やアルバイトなどの社会経験の中で、最低限のビジネスマナーを身に付け、臨機応変に対応できる力を身に付けていくことを目標とする。インターンシップなどで、社会人との関わりを持ちながら疑問に思ったことを、明らかにし、正しく行動することができるようなる。
社会生活で必要とされる知識を身につけ、その持てる力を活かし、社会へ貢献することを目的とする。「（DP）」
【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
事前課題や事後学修、復習、検定試験対策、確認テスト対策などでおおよそ30時間程度の予習復習を要する。具体的な内容に関しては、授業中に指示する。１～2回（事後）テキストの対応部分を読み、まとめる（4時間）3～4回（事前・事後）自分が使っている言葉や使われている言葉についての疑問点をあげ、正しく使うことができるようにする（4時間）5～11回（事後）テキストの対応部分を読み、授業中に間違えた問題を再度確認する（4時間）12～15回（事後）ビジネス文書を作成し、社内文書を確実にかけるようにする（4時間）

評価方法
授業への参加態度（話し合いへの参加、提出物）40%、実技試験20%、確認テスト40%
提出課題については、次回授業時に解説、返却を行う

教科書	参考図書
秘書検定2級クイックマスター（秘書検定2級取得者も必要）、秘書検定2級実問題集（秘書検定2級取得者は、準1級問題集を使用）　前期に、秘書概論を受講した学生はそのまま同じテキストを使用する。	授業中に指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
前期の秘書概論と同じテキストを使用する。秘書概論を受講した学生は、オフィススタディで新しくテキストを購入する必要はない。
質問などはオフィスアワーで対応、連絡先は授業内に伝える。

01	オリエンテーション　　仕事をする上で必要な心構え
02	職場と人間関係について
03	敬語と接遇用語について①　敬語の種類と使い分け
04	敬語と接遇用語について②　接遇用語
05	命令・指示の受け方、報告・説明の仕方について
06	苦情処理の仕方、断り方について
07	来客応対について①　応接室の対応、茶菓の出し方など
08	来客応対について②　上座・下座、紹介の仕方など
09	電話応対について①　言葉遣い
10	電話応対について②　会議中などの対応の仕方など
11	交際の業務（慶弔、贈り物のマナー）
12	ビジネス文書の作成①　社内文書
13	ビジネス文書の作成②　社外文書
14	書類の取り扱い方、資料管理
15	環境の整備　まとめ　確認テスト
16	なし

科目名:秘書概論	担当者:吉田 智美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
秘書業務を通じて、職業人として求められる資質や要求される役割などを学んでいく。さらに、秘書検定の問題やケースワークをもとに、具体的に必要とされる人材について理解をする。グループワーク（全５回）を行い、社会人としての心構えを認識する。【ＡＬ】
。
【担当者の実務経験】企業での実務経験、接客経験などから机上の内容でだけでなく、卒業後の仕事に活かせる内容を意識し、授業を行う。

授業の到達目標
秘書としてだけでなく、職業人として取り巻く人間関係、関係対応などを知ることで将来働く姿をイメージし、学生時代とは異なる社会人としての対応ができるようなることを目標とする。
さらに、仕事を行う姿勢などを学び、卒業後び仕事へ向かう意識を身につける。
秘書検定2級の検定合格を目標とする。
社会生活で必要とされる知識を身につけ、その持てる力を活かし、社会へ貢献することを目的とする。「（DP）」

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
社会問題に対して、新聞やニュースなどから積極的に知識を得るようにすること。事前課題や事後課題、検定対策、確認テスト対策などで、おおよそ30時間程度の予習復習を要する。具体的な内容に関しては、授業中に指示する。1回（事前）秘書検定はどのような問題なのか、テキストを読む（4時間）2-3回（事後）今までのコミュニケーションの仕方について、普段の生活に取り入れる（4時間）4～15回（事後）授業内で説明された部分をテキストで確認をし、間違えた問題を解き直し理解する（4時間）

評価方法
授業への参加態度（話し合いへの参加、提出物）40%、レポート20%、確認テスト40%
提出課題については、次回授業時に解説、返却を行う

教科書	参考図書
秘書検定2級クイックマスター（秘書検定2級取得者も必要）、秘書検定2級実問題集（秘書検定2級取得者は準1級実問題集を使用）	授業中に指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
秘書検定などの検定取得を目指し、主体的に学んでほしい。
質問などはオフィスアワーで対応、連絡先は授業内に伝える。

01	オリエンテーション　学生と社会人との違いについて
02	社内・社外の人とのコミュニケーションについて①　聴き方、話し方　グループワーク
03	社内・社外の人とのコミュニケーションについて②　伝え方　グループワーク
04	秘書として備えるべき資質について
05	補佐役として秘書としての立場
06	秘書に求められる能力について
07	秘書の役割機能について
08	秘書を取り巻く人間関係について
09	仕事をしていく上で必要な職務知識について
10	秘書の日常業務①　定型業務について
11	秘書の日常業務②　非定型業務について
12	仕事をしていく上で求められる心構えについて　グループワーク
13	仕事をしていく上で求められる人材とは　グループワーク
14	企業で働くということについて
15	まとめ、確認テスト、解説
16	なし

2022年度シラバス

科目名:簿記Ａ	担当者:杉原 誠志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　ビジネス社会で必要な基本知識としての「簿記」の基本原理（前半）を理解する。現代の企業の在り方や経営の仕組みを「簿記」をとおして学びます。「簿記」の知識を修得するためには、多くの演習問題を自ら解く反復練習をすることが必要です。授業内の演習問題では、グループワークも行います。授業では多くの演習問題を取り入れ、Teams等による課題の指示と提出により、知識を定着させていきます。確認テストを第15回に行います。

授業の到達目標
　初めて「簿記」を勉強する人を対象として、授業での「内容理解」と「問題を解くこと」により、日商簿記検定３級レベルの簿記の基本原理（前半）を理解し、知識を修得します。貸借対照表・損益計算書からビジネスの感覚が、基礎スキルとして修得できるようになります(DP)。「簿記」を理解することにより、企業の経理事務に必要な会計知識だけでなく、財務諸表を読む力により、基礎的な経営管理や分析力も修得できるようになります。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
＜準備学修＞：教科書とYouTubeの動画を使って、各単元の内容を事前に予習〔30時間〕
＜事後学修＞：各回のレジュメで提示(授業内容の復習と練習問題)〔45時間〕
＜授業開始前学修４月＞：YouTube動画等「日商簿記3級　入門」等のキーワードで検索し視聴〔10時間〕
＜授業終了後学修８月＞：インターネット「日商簿記3級　入門」等で検索し、まとめ学修〔5時間〕

評価方法
授業への参加態度：課題・レポート・問題集提出等を含む（50%）
確認テスト　　：第15回に実施（50%）

教科書	参考図書
「みんなが欲しかった！簿記の教科書」日商３級（TAC出版）	「簿記ワークブック３級」（中央経済社）授業で使用します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
復習を丁寧に行うことにより、次回の授業がより良く理解できます。第１回の授業で電卓について説明します。
第5回目以降の授業から、電卓が必要になります。　「連絡先は授業で開示します」

01	ガイダンス「簿記」
02	簿記の基礎
03	商品売買
04	現金過不足　現金預金（1）
05	小口現金　現金預金（2）
06	手形と電子記録債権（債務）
07	有形固定資産
08	未収入金・未払金・貸付金・借入金　その他の取引（1）
09	前払金・前受金・仮払金・仮受金・立替金・預り金　その他の取引（2）
10	消費税・株式の発行・商品券・差入保証金　その他の取引（3）
11	現金出納帳・当座預金出納帳・小口現金出納帳　帳簿（1）
12	仕入帳・売上帳・受取手形記入帳・支払手形記入帳　帳簿（2）
13	商品有高帳・固定資産税　帳簿（3）
14	総復習
15	まとめと小テスト
16	
17	有価証券の記帳
18	固定資産の記帳
19	純資産（資本）と税金の記帳
20	決算整理（売上原価の計算）
21	決算整理（貸し倒れの見積もり）
22	決算整理（減価償却）
23	決算整理（費用・収益の繰り延べ）
24	決算整理（費用・収益の見越し）
25	８桁精算表の作成（1）
26	８桁精算表の作成（2）
27	財務諸表の作成
28	５伝票制の集計と転記
29	総合演習
30	まとめと小テスト（2）

31	

2022年度シラバス

科目名:簿記Ｂ	担当者:杉原 誠志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　ビジネス社会で必要な基本知識としての「簿記」の基本原理（後半）を理解する。現代の企業の在り方や経営の仕組みも「簿記」をとおして学びます。「簿記」の知識を修得するためには、多くの演習問題を自ら解く反復練習をすることが必要です。授業内の演習問題では、グループワークも行います。授業では多くの演習問題を取り入れ、またTeams等による課題の指示と提出により、知識を定着させていきます。確認テストを第15回に行います。

授業の到達目標
　初めて「簿記」を勉強する人を対象として、授業での「内容理解」と「問題を解くこと」により、日商簿記検定３級レベルの簿記の基本原理（後半）を理解し、知識を修得します。貸借対照表・損益計算書からビジネスの感覚が、基礎スキルとして修得できるようになります(DP)。「簿記」を理解することにより、企業の経理事務に必要な会計知識だけでなく、財務諸表を読む力により、基礎的な経営管理や分析力も修得できるようになります。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
＜準備学修＞：教科書とYouTubeの動画等を使って、各単元の内容を事前に予習〔30時間〕
＜事後学修＞：各回のレジュメで提示(授業の内容の復習と練習問題)〔45時間〕
＜授業終了後２月＞：日商簿記検定３級の模擬問題５回分(解答・採点・見直し)〔15時間〕

評価方法
授業への参加態度：課題・レポート・問題集の提出等を含む（50%）
確認テスト　　：第15回実施（50%）

教科書	参考図書
みんなが欲しかった！「簿記の教科書」日商3級（TAC出版）	「簿記ワークブック３級」（中央経済社）授業で使用

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
復習を丁寧に行うことにより、次回の授業の理解がより進みます。「日商簿記検定３級」を受検する場合は、多くの模擬問題に取り組み、見直しの学習を大切に取り組むと良いでしょう。「連絡先は、授業で公開します。」

01	試算表
02	伝票と仕訳日計表
03	決算手続きⅠ
04	貸倒引当金　　決算手続きⅡ　決算整理（1）
05	減価償却　　決算手続きⅡ　決算整理（2）
06	売上原価　　決算手続きⅡ　決算整理　(3)
07	前払費用・前受収益　　決算手続きⅡ　決算整理（4）
08	未払費用・未収収益　　決算手続きⅡ　決算整理（5）
09	決算整理後残高試算表　　決算手続きⅡ　決算整理（6）
10	精算表その１　　決算手続きⅢ（1）
11	精算表その２　　決算手続きⅢ（2）
12	財務諸表の作成　決算手続きⅢ（3）
13	勘定の締め切り　　決算手続きⅢ（4）
14	発展的な内容
15	まとめと小テスト
16	

2022年度シラバス

科目名:データベース演習	担当者:伊藤 宏隆	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
ビジネスにおいて収集したデータの管理と分析は重要な業務となっている。この授業では、EXCEL のデータベース機能を用いて、データ管理とデータ分析について学習する。一人一台パソコンを使用して、例題の学習、練習問題、課題演習を行う。

授業の到達目標
例題や演習の遂行を通して、EXCELのデータベース機能を自由自在に使いこなせるようになる(DP)。
ビジネス実務で活用できるようなデータの入力、編集、並べ替え、抽出、関数の活用やデータ分析のスキルを身につける(DP)。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
授業前には、教科書を読んで授業内容を事前に把握しておく（2時間）。授業後には、授業で学習した内容をパソコンを使用して復習し、各回で課された課題を遂行する（2時間）

評価方法
授業への参加態度 20%　課題80%
フィードバックは、授業時等において、課題等について、個別あるいは全体へ行う。

教科書	参考図書
できるExcelデータベース　早坂清志　インプレス	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
資料の掲示、授業連絡はMoodleにて行う。

01	ガイダンス、データベースの基礎
02	データベース、テーブルの作成
03	データベース、テーブルの作成の演習
04	データの入力、外部データの取り込み
05	データの整形
06	データの入力、外部データの取り込み、データの整形の演習
07	データの並べ替え、演習
08	データの抽出、演習
09	データの強調表示、演習
10	データの集計
11	データの集計の演習
12	ピボットテーブル
13	ピボットテーブル演習
14	総合演習１
15	総合演習２
16	

2022年度シラバス

科目名:コンピュータ・ネットワーク	担当者:木下 博光	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
コンピュータの基本である、2進数の計算から始め、通信の仕組みを学習していく。ソーラーパネルを使った光通信の実験なども行う。

授業の到達目標
コンピュータやインターネットなど、近年の情報技術の進展は著しい。現代の情報社会において、これらの仕組みを正しく理解し使用することが求められている。 (DP)この講義ではこれからの社会参加に向けて、コンピュータネットワークに関する基礎的な知識を習得することを目標とする。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
パソコン情報のホームページなどを見て、最新の技術に関心を持つ。

評価方法
15回目に行う確認テスト（100%）の成績により評価する。

教科書	参考図書
随時プリント配布	令和04年 イメージ&クレバー方式でよくわかる 栢木先生のITパスポート教室　出版社: 技術評論社

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
最近では各メディアで情報機器や技術に関する話題を目にする機会も多いと思います。講義の理解を深めるためにも、日頃から関心をよせるように心がけましょう。参考図書の購入を強く勧めます。

01	ガイダンス
02	コンピュータネットワークの歴史
03	2進数の計算
04	16進数の計算
05	通信ネットワークの原理　bit、bps
06	パソコンの仕組み（ハードウェア）CPU・RAM・HDD・VGA・Ethernet
07	通信機器の仕組み（ハードウェア）サーバーとクライアント構成
08	ソフトウエアの仕組み（クライアント編）ブラウザーとメーラー
09	ソフトウエアの仕組み（サーバー編）Webサーバの役割と機能
10	ネットワーク層・トランスポート層・アプリケーション層
11	イーサネット（LAN)構成法・IPv4・IPv6, 無線LAN
12	情報セキュリティ対策　ウィルス対策、不正アクセス
13	クラウドコンピューティング SaaS（アプリケーション）、IaaS（ハードウェア）
14	最新の通信技術紹介
15	まとめ、確認テスト
16	

2022年度シラバス

科目名:ＩＴパスポート入門	担当者:木下 博光	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
ストラテジ系（経営全般）、マネジメント系（IT管理）、テクノロジ系（IT技術）の各分野の基礎から取り組み、毎回CBT（Computer Based Testing）を使って問題を解いていく。

授業の到達目標
経営戦略、マーケティング、財務、法務など経営全般をはじめ、セキュリティ、ネットワークなどのITの基礎知識、プロジェクトマネジメント知識など幅広い分野の知識習得し、国家試験「ITパスポート」取得を目標とする。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
過去問題集を活用して国家試験対策を行う。

評価方法
15回目に行う確認テスト（100%）の成績により評価する。

教科書	参考図書
随時プリント配布 参考図書の購入をお勧めします。	令和03年 イメージ&クレバー方式でよくわかる 栢木先生のITパスポート教室 出版社 ： 技術評論社

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
就職内定後、企業からITパスポート取得を求められる学生が毎年出てきます。就職活動前に取得することを強く勧めます。

01	ガイダンス　国家試験受験方法と合格基準
02	テクノロジ系（基礎理論）
03	テクノロジ系（アルゴリズムとプログラミング）本年度より国家試験導入課題
04	テクノロジ系（コンピュータ構成要素・システム構成要素）
05	テクノロジ系（ソフトウエア・データベース）
06	テクノロジ系（マルチメディア・ネットワーク・セキュリティ）
07	ストラテジ系（会計・財務・経営戦略）
08	ストラテジ系（ビジネスインダストリ・システム戦略）
09	ストラテジ系（知的財産権・標準化関連）
10	マネジメント系（システム開発技術・開発プロセス・手法）
11	マネジメント系（プロジェクトマネジメント・サービスマネジメント）
12	マネジメント系（システム監査）
13	過去問1
14	過去問2
15	まとめ、確認テスト
16	

2022年度シラバス

科目名:Ｅｘｃｅｌ演習	担当者:岩佐 孝子・鈴村 市恵	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
「Microsoft Office Specialist (MOS) Excel 365＆2019（一般レベル）」とは企業が求めるパソコンスキルにおいて、有益な資格である。その資格取得対策として、この授業は4日間とプラス非常時用予備日1日で集中開催される。
模擬試験を通して、試験のノウハウを身につけ、必要な操作を習得する。
　また、資格取得試験は授業とは別日に、学外にて予定している。

授業の到達目標
Microsoft Office Specialist(MOS)　Excel 365＆2019（一般レベル）の資格取得を目標とする。
社会で活用が求められる、Microsoft Excelの技術を、MOS Excel 365＆2019対策テキストを利用し、実践的に身につける。

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
事後学修として、授業で習った操作を繰り返し練習し、身に付けておくこと。
授業後と予備日の教室開放を有効活用する。

評価方法
授業への参加態度60%　模擬試験30%　資格試験合否の結果10%によって総合的に評価する。
各担当教員の話をよく聞くこと。

教科書	参考図書
MOS Excel 365＆2019対策テキスト＆ 問題集（FOM出版） 2,310円（税込）	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
連絡先は授業で開示する。
受験料として学割価格8,580円（税込）が必要となる。
集中開催のため、休むと授業についてこれなくなるので注意すること。

01	MOS試験概要、出題範囲１（ワークシートやブックの管理）
02	出題範囲２（セルやセル範囲のデータの管理）
03	出題範囲３（テーブルとテーブルのデータの管理）
04	出題範囲４（数式や関数を使用した演算の実行）
05	受験者登録
06	出題範囲５（グラフの管理）
07	模擬試験１
08	模擬試験２
09	模擬試験３
10	模擬試験４
11	模擬試験５
12	模擬試験補足
13	受験準備（最終確認）
14	受験操作説明
15	学外における検定試験
16	なし

2022年度シラバス

科目名:ビジネスExcel実践	担当者:木下 博光	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
毎回、関数の学習後にサンプルを作成していきます。サンプル作成は実務同様に用紙を見て1から作表、計算機能を作っていきます。終盤は口頭によるサンプル作成依頼を行います。1つの関数を考え方、使用方法を工夫し、繰り返し学習することで実践に役立つ使用方法を学びます。

授業の到達目標
仕事の効率、成果をアップさせるコツと方法など、テクニックによる時間短、入力時にヒューマンエラーの無い、仕事で役立つ実践的なExcelの使い方を学びます。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
バイト先、自宅に届く請求書など実際に使用されている表などを見て学習に役立ててください。

評価方法
提出ファイルの完成度70%、学習意欲態度30%

教科書	参考図書
毎回プリント配布します。	Excel関数+組み合わせ術［実践ビジネス入門講座］ 出版社 ： SBクリエイティブ ISBN-10 ： 4797388714

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Teamsにて連絡

01	基礎 「起動方法」－「リボンの使い方」－「セルの使い方」－「保存法」
02	絶対参照と相対参照の違いと使い方 コピーと貼り付け方法
03	きれいな表の作成方法 グローバルデザイン方法
04	IF関数1 基礎的な使い方からIFでエラー訂正
05	データの入力規則でヒューマンエラーを減らす
06	文字の制御 LEFT・MID・RIGHT・FIND・LENをマスター
07	IF関数2 複数条件に挑戦 ネスト処理、AND、OR
08	XLOOKUPとVLOOKUPの違い 処理速度の違い
09	日付を扱う 月末の求め方、曜日の求め方 シリアル値を理解する
10	オリジナルな条件付き書式 カレンダー作成
11	時間の計算方法 タイムカードを作成
12	INDEXとMATCHでクロス集計 運賃表を作成
13	INTで金種計算
14	行を削除しても狂わない行番号の付け方 ROW
15	総合復習
16	

科目名:韓国語と韓国文化ＩＡ	担当者:金 昭鎤	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
グローバル化が進む現代社会において他国を理解することは大切です。特に最も近い国、韓国の言語や文化を知ることはお互いを理解するために重要な意味を持つと思われます。本科目では韓国語の文字と基礎文法を学びつつ、韓国の文化に触れながら理解できるようになる。

授業の到達目標
ハングルを習得し、旅行など実際の場面で役に立つ表現が話せるようになります。また実践的な会話能力を身に付け、テキストの読解を通して語彙力、表現能力を高めていきます。「読む、書く、聴く、話す」の四技能をバランスよく伸ばし、コミュニケーション能力を高めることによって、言語にとどまらず、隣国の文化に対する理解を深めることを目標とします。(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：学修する各課のCDを聞き、音読の練習をしてください。（所要時間約30分）
事後学修：学修した単語を単語帳にまとめ、覚えてください。（所要時間約30分）
その他日頃、k-popや韓国語ドラマなどの身近な韓国の文化に触れることをお勧めします。

評価方法
授業への参加程度：１０％、確認テスト(2)：５０％、課題：４０％

教科書
『ひかりとシフのどきどき韓国語』／著：李正子/金昭鎤／出版：朝日出版社

参考図書
『ハングルの誕生』／著： 野間秀樹／出版：平凡社新書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
語学は日々の重ねが重要です。授業内容を必ず復習するようにしてください。

01	オリエンテーション及びハングルのしくみ
02	文字編　第1課　アンニョンハセヨ？　母音５つ、子音４つ
03	文字編　第2課　私は大学生です　基本母音、基本母音と子音４つの組み合わせ
04	文字編　第3課　ありがとうございます　子音５つ
05	文字編　第4課　どこですか　合成母音①、パッチム①、連音化①
06	文字編　第5課　いらっしゃいませ　激音、合成母音②、日本語のハングル表記
07	文字編　第6課　お誕生日おめでとう　パッチム②、連音化②、合成母音③
08	文字編　第7課　これ、どうですか　激音化、濃音
09	文字編　第8課　　サムギョプサル2人前ください　パッチム③、濃音化、漢数詞
10	確認テスト、文化体験
11	文法編　第1課　私の名前は天野ひかりです（1）～は～です
12	文法編　第1課　私の名前は天野ひかりです（2）～は～です
13	文法編　第2課　　これはスキヤキですか？（1）　～ですか
14	文法編　第2課　これはスキヤキですか？（2）　～ではありません、～も
15	まとめ、確認テスト
16	なし

2022年度シラバス

科目名:韓国語と韓国文化ＩＡ	担当者:金 三淑	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
現代教養学科ではより良い人間関係を築くコミュニケーション力と幅広い分野にわたる知識を身につけ、人間、社会、自然に対する理解を深める人材が求められています。これからの時代は、外国人との共生、特にアジアからの外国人との付き合いが無条件に必要となります。このような時代や社会環境の変化に対して的確に対応するためにも、英語以外の外国語習得、特にアジア言語の習得は必須であると思われます。また、より広い視野に立って物事を考えるためにも他国の言語や文化を学ぶことは有意義です。韓国語と韓国文化１Aでは、上記の内容を念頭におき、基本的な韓国語の文法と会話、文化について理解を深めていきます。【AL】

授業の到達目標
ハングル（韓国語の文字）が読めるようになり、簡単な日常会話ができるようになります。(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：学修する課の音源を聞き、音読の練習をしてください。必要時間：約60分。
事後学修：学修した単語を単語帳にまとめ、覚えてください。必要時間：約60分。
K-POP、ドラマなど韓国の文化と触れ合うことをお勧めします。

評価方法
主体的に学習に取り組む姿勢(日々の授業の様子や授業後の感想記述内容などから評価する)　20%
確認テスト　40%、課題　40%

教科書	参考図書
『ひかりとシフのどきどき韓国語』、都恩珍　監修　李正子・金昭鎤　著　、朝日出版社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
オフィスアワー：授業の前後の時間
好奇心、興味をもって授業に臨んでください。積極的な姿勢が質問を生み、質問が増えれば学習効果が高まります。

01	ガイダンス
02	文字編　第1課・第2課　基本母音と子音①
03	文字編　第３課　子音②
04	まとめ、確認テスト（１）、韓国概要（文化学修）
05	文字編　第４課　合成母音①とパッチム①、発音変化①
06	文字編　第５課　激音と合成母音②、日本語のハングル表記
07	まとめ、確認テスト（２）、文化体験　映画鑑賞①
08	文化体験　映画鑑賞②
09	文字編　第6課①　パッチム②と合成母音③
10	文字編　第6課②　発音変化②
11	文字編　第7課　濃音
12	まとめ、確認テスト（３）
13	文字編　第8課　パッチム③、発音変化③
14	文法編　第1課　제 이름은 아마노 히카리입니다.　私の名前は天野ひかりです
15	まとめ、確認テスト（４）
16	なし
17	会話編　第３課①　こそあど（指示詞）、あります・ありません、家族
18	会話編　第３課②　～と、～に、位置を表す言葉
19	会話編　第４課①　です・ます、～を
20	会話編　第４課②　～で（場所）、～に（時間）
21	確認テスト（自己紹介）　文化体験　映画鑑賞①
22	文化体験　映画鑑賞②
23	会話編　第５課①　用言の丁寧語①
24	会話編　第５課②　用言の丁寧語②、～しに（目的）
25	確認テスト
26	会話編　第６課①　否定形、～より（比較）
27	調理実習
28	会話編　第７課①　漢数詞、誕生日、誕生日の歌
29	会話編　第７課②　同意を求める語尾、感嘆を表す語尾

30	確認テスト
31	なし

2022年度シラバス

科目名:韓国語と韓国文化ＩＢ	担当者:金 昭鎤	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
グローバル化が進む現代社会において他国を理解することは大切です。特に最も近い国、韓国の言語や文化を知ることはお互い理解するために重要な意味を持つと思われます。本科目では韓国語の文字と基礎文法を学び、韓国の文化に触れながら理解できるようになる。

授業の到達目標
韓国語の運用に必要な知識と技能の基本を学習するとともに、日本語や日本文化との対比の観点から韓国語や韓国文化に対する理解を深めることが目的です。(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：学修する各課のCDを聞き、音読の練習をしてください。（所要時間約30分）
事後学修：学修した単語を単語帳にまとめ、覚えてください。（所要時間約30分）
その他日頃、k-popや韓国語ドラマなどの身近な韓国の文化に触れることをお勧めします。

評価方法
授業への参加程度：１０％、確認テスト(3)：６０％、課題：３０％

教科書	参考図書
『ひかりとシフのどきどき韓国語』／著：李正子/金昭鎤／出版：朝日出版社	『ハングルの誕生』 ／著：野間秀樹／出版：平凡社新書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
未知の世界に踏み込み自分の世界を広げるのだという気持ちで、積極的に授業に参加してください。
語学は日々の重ねが重要です。授業内容を必ず復習するようにしてください。

01	オリエンテーション及び前期の復習
02	第3課①　１）～が、２）～ですか
03	第3課②　１）～は何ですか　２）～と
04	第4課①　　１）～に、２）합니다体①肯定文
05	第4課②　　１）합니다体①　　２）～を
06	第３、４課まとめテストと文化授業①
07	第５課①　１）합니다体②
08	第５課②　１）～たい（願望）　２）～で
09	第６課①　１）～する（意志）　２）～のために（目的）
10	第６課②　１）形容詞　２）～だが（逆説）
11	第５、６課まとめテストと文化授業②
12	第７課①　１）해요体①
13	第７課②　１）名詞＋です　２）～から（時間）
14	第８課①　１）해요体②
15	まとめ、第７、８課まとめテスト
16	なし

2022年度シラバス

科目名:韓国語と韓国文化ＩＢ	担当者:金 三淑	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
現代教養学科ではより良い人間関係を築くコミュニケーション力と幅広い分野にわたる知識を身につけ、人間、社会、自然に対する理解を深める人材が求められています。これからの時代は、外国人との共生、特にアジアからの外国人との付き合いが無条件に必要となります。このような時代や社会環境の変化に対して的確に対応するためにも、英語以外の外国語習得、特にアジア言語の習得は必須であると思われます。また、より広い視野に立って物事を考えるためにも他国の言語や文化を学ぶことは有意義です。韓国語と韓国文化１Bでは、上記の内容を念頭におき、基本的な韓国語の文法と会話、文化について理解を深めていきます。【AL】

授業の到達目標
ハングル（韓国語の文字）が読めるようになり、簡単な日常会話ができるようになります。みんなの前で自己紹介ができるようになります。(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
準備学修：学修する課の音源を聞き、音読の練習をしてください。必要時間：約60分。
事後学修：学修した単語を単語帳にまとめ、覚えてください。必要時間：約60分。
K-POP、ドラマなど韓国の文化と触れ合うことをお勧めします。

評価方法
主体的に学習に取り組む姿勢(日々の授業の様子や授業後の感想記述内容などから評価する） 20%
確認テスト 40%、課題 40%

教科書	参考図書
『ひかりとシフのどきどき韓国語』、都恩珍 監修 李正子・金昭鍒 著 、朝日出版社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
好奇心、興味をもって授業に臨んでください。積極的な姿勢が質問を生み、質問が増えれば学習効果が高まります。オフィスアワー：授業の前後の時間

01	前期の内容の復習
02	会話編 第２課 이것은 스키야키입니까? これはすき焼きですか？
03	会話編 第３課 여기가 창덕궁입니다 ここが昌徳宮です
04	まとめ、確認テスト（１）
05	会話編 第4課 주말에 무엇을 합니까? 週末に何をしますか？
06	会話編 第５課 어디에 가고 싶습니까? どこに行きたいですか。
07	まとめ、確認テスト（２） 文化体験Ｉ 映画鑑賞①
08	文化体験Ｉ 映画鑑賞②
09	会話編 第6課 처음 뵙겠습니다 はじめまして
10	まとめ、確認テスト（自己紹介）（３）
11	会話編 第7課 무엇에 관심이 있어요? 何に興味がありますか。
12	文化体験Ⅱ 韓国の歌など
13	会話編 第8課① 이 버스 북촌에 가요? このバス、北村に行きますか。
14	会話編 第8課② 이 버스 북촌에 가요? このバス、北村に行きますか。
15	まとめ、確認テスト（４）
16	なし

2022年度シラバス

科目名:中国語と中国文化ＩＡ	担当者:張 書 涵	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:なし		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　この授業は、発音から学習する中国語の入門コースで、主に初歩的な表現とその応用を中心に行い、同時に初級の発音、語彙、文法事項をマスターしていく。1課ごとにグループワークとグループ発表を通して会話能力を高め、更に必要に応じて、テキスト以外の音声教材などにより、言語の土台である中国の文化や社会事情などについても紹介し、中国語を学ぶ上で必要な教養を身につけていく。【AL】

授業の到達目標
　中国語の特徴や入門レベルでの表現形式を学び、実際のコミュニケーションに役立つ基礎的な中国語の会話力を身につける。発音練習を重ねることで、日常の簡単な挨拶や会話などの表現を活用することができる。また中国の歴史や文化を学び、中国の異文化への理解を深めていく。【DP】

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　授業で出された課題や授業前の予習・授業後の復習も添付したCDを使いながらしっかりと行ってください。授業で学習した内容を身につけるために、授業時間だけではとても足りません。授業時間と同程度か、場合によっては2倍近くの時間で積極的に取り組んでください。

評価方法
　会話発表や授業への参加態度20%、小テスト30%、確認テスト50%

教科書	参考図書
『実学実用初級中国語』陳　淑梅・劉光赤　著　朝日出版社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　Ohka moodle等により伝達する

01	ガイダンス・中国語の概要
02	第１課　声調と単母音　中国語の挨拶語 第１ 第１課　声調と単母音　中国と中国の方言
03	第２課　複母音　　発音練習
04	第３課　子音　中国人の呼称
05	第４課　鼻母音・ｒ化
06	発音のまとめ・確認テスト　漢詩を読む
07	文化体験　切り紙
08	第５課　キャンパスで初対面
09	ドリル練習⑤　　中国の世界遺産
10	会話練習と発表⑤
11	文化体験　映画鑑賞
12	第6課　名前を尋ねる
13	ドリル練習⑥　　中国語の外来語
14	会話練習と発表⑥　総合復習
15	まとめと確認テスト
16	
17	第７課　喫茶店で
18	ドリル練習⑦
19	会話練習と発表
20	文化体験　中国の詩
21	第８課　趣味を語る
22	ドリル練習⑧
23	会話練習と発表⑧
24	文化体験　中華料理
25	第９課　Tシャツを買う
26	ドリル練習⑨
27	会話練習発表⑨
28	文化体験　中国の歌

29	後期のまとめ
30	まとめと確認テスト
31	なし

2022年度シラバス

科目名:中国語と中国文化ＩＢ	担当者:張 書 涵	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:中国語と中国文化ＩA履修した者		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　この授業は、発音から学習する中国語の入門コースで、主に初歩的な表現とその応用を中心に行い、同時に初級の発音、語彙、文法事項をマスターしていく。1課ごとにグループワークとグループ発表を通して会話能力を高め、更に必要に応じて、テキスト以外の音声教材などにより、言語の土台である中国の文化や社会事情などについても紹介し、中国語を学ぶ上で必要な教養を身につけていく。【AL】

授業の到達目標
　中国語の特徴や入門レベルでの表現形式を学び、実際のコミュニケーションに役立つ基礎的な中国語の会話力を身につける。発音練習を重ねることで、日常の簡単な挨拶や会話などの表現を活用することができる。また中国の歴史や文化を学び、中国の異文化への理解を深めていく。【DP】

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
　授業で出された課題や授業前の予習・授業後の復習も添付したCDを使いながらしっかりと行ってください。授業で学習した内容を身につけるために、授業時間だけではとても足りません。授業時間と同程度か、場合によっては2倍近くの時間で積極的に取り組んでください。

評価方法
　会話発表や授業への参加態度20%、小テスト30%、確認テスト50%

教科書	参考図書
『実学実用初級中国語』陳　淑梅・劉光赤　著　朝日出版社	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　Ohka moodle等により伝達する

01	発音・文法事項の復習
02	前期の会話練習と発表
03	第７課　喫茶店で　中国の少数民族
04	ドリルの練習⑦
05	会話と発表⑦　中国の歌
06	第８課　趣味を語る
07	ドリルの練習⑧
08	会話と発表⑧・まとめと小テスト 第８課　ドリルの練習
09	第９課　Tシャツを買う　中華料理の紹介
10	ドリルの練習⑨
11	会話と発表⑨　中国語の言語タブー
12	第10課　レストランで
13	ドリルの練習⑩
14	会話と発表⑩　　中国の祝祭日
15	まとめと確認テスト
16	なし

2022年度シラバス

科目名:アジアの歴史	担当者:小久保 嘉紀	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
「アジアの政治・生活・文化の歴史」
〈授業概要〉
　政治史・生活史・文化史の視点から、日本とアジア諸国の間でそれぞれ異なる性質を持ちながらも、どのように影響を及ぼし合ってきたのかについて考察する。
〈授業方法〉
　遠隔授業（オンデマンド型）または対面授業

授業の到達目標
　日本とアジア諸国の、政治・生活・文化の違いの歴史的背景について理解する（「幅広い分野にわたる専門知識」）。また、日本とアジア諸国の様々な違いを理解した上で、なぜそのような違いが生まれたのかについて、みずから考察することができるようになる（「幅広い知識と広い視野に基づく思考力」）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　準備学修：中学・高校の日本史・世界史の、アジアに関するところを復習しておくとよいでしょう。
　事後学修：授業で挙げた参考文献を読んでみるとよいでしょう。

評価方法
　期末レポートまたは期末試験70％＋毎授業後の小テスト30％

教科書	参考図書
無し。	・『暮らしがわかるアジア読本』全16巻（河出書房新社、1993～1999年） ・『NHKさかのぼり日本史　外交篇』全10巻（NHK出版、2012・2013年）

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　コロナ禍の中での授業ですが、心と体の健康を維持して、ともにがんばりましょう。

01	オリエンテーション
02	アジアの始まり
03	アジアの政治史①―古代―
04	アジアの政治史②―中世―
05	アジアの政治史③―近世―
06	アジアの政治史④―近現代―
07	アジアの生活史①―衣―
08	アジアの生活史②―食①―
09	アジアの生活史③―食②―
10	アジアの生活史④―住―
11	アジアの文化史①―色・数字―
12	アジアの文化史②―動物―
13	アジアの文化史③―怪異―
14	アジアの文化史④―現代メディア―
15	アジアのこれから
16	無し

2022年度シラバス

科目名:国際経済入門	担当者:茶谷 淳一	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:特になし		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
外国貿易や外国為替のしくみや国際通貨ドルの「秘密」など、国際経済問題を理解するために必要な基本的なことがらを学びながら、国際経済の視点から現実の経済社会で起こっている諸問題について自分なりに考える力を養います。小テストは次回答え合わせをします。期末確認テストはmoodleに模範解答を1週間程度掲載します。

授業の到達目標
①世界経済や国際経済に関する新聞記事やニュースに関心を持って触れようとするようになる。（DP）②現代社会を理解するために必要な国際経済の基本的な知識を習得し、今、世界で起こっていることについて自分なりに考えることができるようになる。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
テレビのニュースやドキュメンタリーを見たり、新聞の「見出し」を毎日眺めるようにしましょう。また各単元終了後に出題される課題を解き、提出しましょう。

評価方法
各単元終了後の確認テスト課題10%、ノート10%、期末確認テスト80%。単元終了後の確認テスト課題の再試験は行いません。欠席した場合、後日試験用紙を受け取ることはできません。

教科書	参考図書
なし。授業時に配布するレジュメを使います	グローバルエコノミー（岩本ほか著　有斐閣）、１ドル札の動きでわかる経済のしくみ（かんき書房）

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
重要なニュースの説明などのため、授業が予定通りに進まないことがあります。レジュメの余白にメモを取ること。質問は木曜昼休みに研究室へ。途中退出・遅刻・私語など受講マナーを守れない場合は受講を取り消します。

01	この講義のねらいと、評価について　日本の貿易構造をみる
02	なぜ後れた国が輸出できるのか？　国によって得意な商品が異なる　比較優位
03	産業の空洞化と保護主義
04	H0仮説と交易条件
05	モノカルチャー構造と貿易
06	新しい貿易の試み～フェアトレード
07	「貿易」のまとめ　単元ごとの確認テストの解答と解説
08	お金は国によって異なる　両替と為替取引
09	外国為替相場はどのように決まるのか？①
10	外国為替相場はどのように決まるのか？②　日本「円」の為替相場の歴史
11	「１ドル＝120円」は単なる数式か？　「ドル」ってなあに？
12	「USドル」が基軸通貨・国際通貨になった理由　「ドル」の前はいつも“１”
13	基軸通貨・国際通貨ドルがアメリカにもたらすメリット　為替相場の変動はよいことか？
14	「ドル」と私たちの暮らし　「外国為替」のまとめ　単元ごとの確認テストの解答と解説
15	授業のまとめと期末の確認テスト
16	なし

科目名:ホテルインターンシップ	担当者:茶谷 淳一・高谷 邦彦・辻 広志・綾部 六郎・矢澤 久史・山下 玲香・西原 麻里・小出 祥子・福島 裕人	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　大学の提携したホテルや旅館にて、接客の業務や、関連する現場の管理、事務、行事運営などの仕事を研修生として体験する。研修先での研修だけでなく、事前の説明会やガイダンスなどへの出席、事前訪問、および研修終了後の振り返りも授業に含まれる。【AL】

授業の到達目標
　接客やホスピタリティに関する仕事のイメージを体得する。将来ホテル等で働くために必要となる技能、知識、心構えなどを理解して、その後の学習に取り入れていく。
　また、学外での実社会の方との関わりの中で、社会人として必要になるコミュニケーション力や情況把握力、責任感などを養う（DP）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　説明会は他のインターンシップと合同で開催される場合もあり、昼休みなどに実施されるので、掲示版の案内を見て確認すること。履歴書などの書類の提出や、場合によっては事前訪問なども必要になる。
　研修中は現場の職員やスタッフの方と同様の責任感および緊張感のある行動が求められる。そのために礼儀作法や身だしなみ、一般常識、コミュニケーション能力などについて、普段から(日常的に)意識を高めておく必要がある。

評価方法
　研修日誌と研修レポートをもとにした研修内容と研修成果（60%)、研習先の評価と事前事後の指導をもとにした研修態度(40%)という割合で評価する。

教科書	参考図書
ガイダンスなどで適宜指示する。	『就職ガイドブック』など

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
通常の授業科目とは、履修登録の時期や方法が異なるので注意すること。
学生課が窓口となり、緊急の通知などもあるので、メールなどで迅速に連絡ができるようにしておくこと。

01	以下の事前指導、研修、事後指導から構成される。 事前指導：（7時間） (1) 研修先や研修概要に関する説明会 (2) 希望人数によっては選考 (3) 研修先ごとのガイダンス (4) 研修先の事前訪問 研修：（110時間） (1) 前期は夏季休業、後期は春季休業中に各自の研修実施先にて研修を行う。 (2) 研修内容は、実習先によって異なる。基本的に研修者のために用意されたプログラムに従って研修を行い、 実施先での担当者による指導を受ける。 事後指導：（3時間） (1) 研修内容の振り返り (2) 研修レポートの提出
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2022年度シラバス

科目名:ポルトガル語とブラジル文化ＩＡ	担当者:富松 エミ	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
講義形式と、グループを作ってディスカションをして発表し合う

授業の到達目標
ブラジル・ポルトガル語の基礎段階を総合的に学習します。発音・挨拶表現・文法等・基礎的能力を養成します。ブラジルの文化・歴史について・又、日本の幼稚園・保育園・学校現場でブラジル人園児児童生徒と接する際に必要な言葉等についても言及します。（音楽・映画・ブラジルの遊び・幼稚園・学校の様子、人の生き方などを実物や映像を使って紹介をします)

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
人数的に無理だと思うので予定していないが、状況が許せば、ブラジル料理の店などを紹介したい。

評価方法
（授業の参加態度・意欲・関心）２０％・提出物２０％・小テスト３０％・プレゼンテーション３０％

教科書	参考図書
ブラジルを発見-ブラジル・ポルトガル語入門　兼松シルビア典子著　同学社（必修）学生の携帯電話のアプリケーション（辞書）の使用も可	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
ポルトガル語はブラジル人にとってもとても難しいので、テキストは簡単なものを選びました。それでも日本人には難しいと思いますが、頑張って楽しい授業をするのでいっしょに頑張りましょう。毎回、教科書の日本語訳を予習してきてください。

01	ポルトガル語のこととブラジルのこと
02	ポルトガル語の文字と発音１
03	ポルトガル語の文字と発音練習問題
04	挨拶と簡単な日常会話１
05	挨拶と簡単な日常会話２
06	名詞の性と数
07	否定文疑問文
08	ブラジルと日本の違い　・グループ分け
09	4～7の練習問題・グループ発表課題決め
10	ser 動詞1・グループ発表課題について調査
11	ser 動詞2・グループ発表課題について調査
12	形容詞・グループ発表の準備
13	グループ発表とレポート
14	ブラジルの食文化とブラジルの料理作り
15	会話テスト
16	

2022年度シラバス

科目名:ポルトガル語とブラジル文化ＩＢ	担当者:富松 エミ	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
講義形式と、グループを作ってディスカションをして発表し合う

授業の到達目標
ブラジル・ポルトガル語の基礎段階を総合的に学習します。発音・挨拶表現・文法等・基礎的能力を養成します。ブラジルの文化・歴史について・又、日本の幼稚園・保育園・学校現場でブラジル人園児児童生徒と接する際に必要な言葉等についても言及します。（音楽・映画・ブラジルの遊び・幼稚園・学校の様子、人の生き方などを実物や映像を使って紹介をします)

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
人数的に無理だと思うので予定していないが、状況が許せば、ブラジル料理の店などを紹介したい。

評価方法
(授業参加態度・意欲・関心)20%・提出物20%・発表30%・期末試験(会話テスト) 30%

教科書	参考図書
ブラジルを発見-ブラジル・ポルトガル語入門　兼松シルビア典子著　同学社（必修）学生の携帯電話のアプリケーション（辞書）の使用も可	

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
ポルトガル語はブラジル人にとってもとても難しいので、テキストは簡単なものを選びました。それでも日本人には難しいと思いますが、がんばって楽しい授業をするので一緒にがんばりましょう。　毎回、教科書の日本語訳を予習してきてください。

01	前期のおさらい
02	所有詞と練習問題
03	命令形と指示詞
04	ＥＳＴＡＲ動詞
05	17～18の練習問題と会話の練習
06	グループで会話作り
07	ＱＵＥＲＥＲ動詞と数詞と会話の練習
08	会話の発表・ＳＥＲとＥＳＴＡＲの違い
09	場所の副詞と時間の言い方
10	20～22の練習問題と会話の練習
11	ＴＥＲ動詞・ブラジルについてのグループ調べ
12	PODER動詞・・ブラジルについてのグループ調べ
13	ブラジルについてのグループ発表
14	ブラジルのお菓子作り
15	まとめと会話のテスト
16	

2022年度シラバス

科目名:英語と英米文化ＩＡ	担当者:樋田 禎美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
フレーズ集を用いて、日常生活で使える表現を練習しながら、やり取りの基礎を学びます。100語程度のエッセイを読んで社会の出来事にも触れます。イギリス旅行をするテキストの登場人物と共に旅するつもりになって会話や映像を楽しみ、イギリス社会の様々な側面を学びます。

授業の到達目標
１．状況に応じた自然な表現を使い、相手を意識して会話を続けようとする意欲をもてる(DP)
３．英国文化を学び、異文化を尊重して違いを楽しめる(DP)
４．まとまりのある文章を読み、大意をつかめる

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
英語ドリルのCDを聞いて、TEAMSに配信される12回の課題に取り組んでください。Let's Check Out the UK!の音声はダウンロードしてリスニング問題に取り組み、語彙の発音と強勢を確認しましょう。

評価方法
授業への参加態度26％(授業内で複数回発言する機会をつくります。自分で選んで最低1回発言してください)　提出物24％(特徴的な間違いや誤解については授業内で解説し、よくできた答案を紹介します)　確認テスト50％(筆記80％、パフォーマンステスト20％)

教科書	参考図書
Let's Check Out the UK!（金星堂）Active Communication wih Phrases（南雲堂）	授業内で紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
海外のニュースやドラマ、映画をたくさん観てください。連絡先はオリエンテーションで開示します。

01	オリエンテーション
02	英語ドリル　Unit１ Eating Out　Day 1:I Can't Wait to Explore Britain!
03	英語ドリル　Unit 2 Transportation　Day 2:How about Going to a Pub?
04	英語ドリル　Unit 3 College& University Life　Day 3:The Scenery Is Breathtaking, Isn't it?
05	英語ドリル　Unit 4 Fashion　Day 4:what Do You Suggest We Do Today?
06	英語ドリル　Unit 5 Part-time Jobs　Day 1,2 復習
07	英語ドリル　パフォーマンステスト　Day 3,4 復習
08	復習　確認テスト①
09	英語ドリル　Unit 6 Hair&Make Up　Day 5: This Is a Multi-Ethnic Country Day 6:What's It Like Being a Student in the UK?
10	英語ドリル　Unit 7 Shopping　Day 6:What's It Like Being a Student in the UK?
11	英語ドリル　Unit 8 Dating　Day 7:Mmm...It Sounds Too Risky!
12	英語ドリル　Unit 9 Technology　Day 8:You Should Try Fish and Chips!
13	英語ドリル　Unit 10 Health　Day 5,6 復習
14	英語ドリル　パフォーマンステスト　Day 7,8 復習
15	復習　確認テスト②
16	なし

2022年度シラバス

科目名:英語と英米文化ＩＢ	担当者:樋田 禎美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
フレーズ集を用いて、日常生活で使える表現を練習しながら、やり取りの基礎を学びます。100語程度のエッセイを読んで、社会の出来事にも触れます。イギリス旅行をするテキストの登場人物と共に旅するつもりになって会話や映像を楽しみ、イギリス社会の様々な側面を学びます。

授業の到達目標
１．状況に応じた自然な表現を使い、相手を意識して会話を続けようとする意欲をもてる(DP)
３．英国文化を学び、異文化を尊重して違いを楽しめる(DP)
４．まとまりのある文章を読み、大意をつかめる

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
英語ドリルのCDを聞いて、TEAMSに配信される12回の課題に取り組んでください。Let's Check Out the UK!の音声はダウンロードしてリスニング問題に取り組み、語彙の発音と強勢を確認しましょう。

評価方法
授業への参加態度26%(授業内で複数回発言する機会をつくります。自分で選んで最低1回発言してください)　提出物24%(特徴的な疑問、誤解については授業内で解説し、よくできた答案を紹介します)　確認テスト50%(筆記80%、パフォーマンステスト20%)

教科書
Let's Check Out the UK!　(金星堂)　Active Communication with Phrases　(南雲堂)

参考図書
授業内で紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
海外のニュースやドラマ、映画をたくさん観てください。連絡手段はオリエンテーションで伝えます。

01	オリエンテーション
02	英語ドリル　Unit 11 Watching Movies　Day　9: It's Fun Listening to Different Accents
03	英語ドリル　Unit 12 Listening to Music　Day 10: Do You Fancy Something Sweet?
04	英語ドリル　Unit 13 Cooking　Day 11:I Guess I Should Have a Black-Cab Experience
05	英語ドリル　Unit 14 Accommodation　Day 12:I'm Looking forward to Seeing Wales!
06	英語ドリル　Unit 15 Hobbies　Day　9,10 復習
07	英語ドリル　パフォーマンステスト　Day 11,12 復習
08	復習　確認テスト①
09	英語ドリル　Unit 16 Travel Abroad　Day 13:Don't You Know that UK Designs Are Popular?
10	英語ドリル　Unit 17 Job Hunting　Day 14:Would You Like to See a Play?
11	英語ドリル　Unit 18 Problems & Solutions　Day 15 That's the Great Thing about Travel!
12	英語ドリル　Unit 19 Requests & Appeals　Day 13 復習
13	英語ドリル　Unit 20 Discussions & Presentations　Day 14 復習
14	英語ドリル　パフォーマンステスト　Day 15 復習
15	復習　確認テスト②
16	なし

2022年度シラバス

科目名:英会話ＩＡ	担当者:佐分 ジュディス スミス	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
This is a conversation intensive course. Each class students will have to communicate in English with each other and the teacher. Students will be introduced to new vocabulary every week, and topics that relate to the vocabulary. Lessons will be changed to fit the classes needs. 【ＥＮ】

授業の到達目標
The goal of this course is to help develop skills to maintain a basic English conversation. The class will touch on topics that will allow the students to be able to interact in an English-only environment.

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
Students will be required to take quizzes and homework, They will be expected to work in pairs and groups to complete class activities. Homework will include worksheets and topic research. Students will be expected to produce projects

評価方法
Grading scale: Participation ３0%
In class work ２0%
Homework 20%
Quizes 10%
File 5%
Exam/ Final Project 15%

教科書
Instructor will provide worksheets for class.

参考図書
Students will need to prepare a binder with at least 30 clear sheets. Writing supplies and binder must be brought to each and every class.We will review every lesson.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Please try to speak in class. Making mistakes is an important part of learning. The schedule may change depending on the class level.

01	Lesson 1 Welcome, Class Introduction / Self Introduction
02	Lesson 2 About Me
03	Lesson 3 My Family
04	Lesson 4 My Body
05	Lesson 5 I Am Sick
06	Lesson 6 Review Quiz and Nouns
07	Lesson 7 Traveling
08	Lesson 8 Traveling
09	Lesson 9 Clothing
10	Lesson 10 Shopping
11	Lesson 11 Review Quiz and Verb Practice
12	Lesson 12 Group Project Selection
13	Lesson 13 Group Project
14	Lesson 14 Project Presentation
15	Lesson 15 Final Class Event
16	make up if needed

2022年度シラバス

科目名:英会話ＩＡ	担当者:Lee Sargent	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
英会話I A is an elective course for first year students in the Liberal Arts Department. The aim of this course is to enable students to provide basic information about themselves in English. Also, students will learn about other cultures and environments outside Japan.【ＥＮ】

授業の到達目標
By the end of the spring semester the students should be able to give a brief introduction about themselves, friends and where they live.

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
A vocabulary list will be given at the end of each lesson. Students should learn the meaning of the vocabulary and remember this for use in the following week’s lesson. Students will need listen to and read English learning websites and write about them i

評価方法
Completion of Website task and journal ウェブサイトを見たり、ジャーナルを書いたりして　３０％
Participation & Homework 積極性と宿題　３０％
Vocabulary quiz (3) 単語クイズ　（３つ）１５％
15th week unit quiz 授業とクイズ(筆記) １５週目　２５％

教科書	参考図書
Textbooks: All materials in English will be provided by the instructor,	A clear file with at least 30 leaves and a notebook

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
You need to think about, read or listen to English more than once a week. Please look at the recommended Website each week outside the classroom. You can talk to me in person before the lesson or contact me .I’ll tell you my e-mail address in the class.

01	Introduce yourself. Course Introduction. Using Websites
02	Introduce other people
03	A+++ Conversations
04	Congratulations
05	Apologies
06	Good and Bad Manners
07	Helping People
08	Review Lessons 1-7 Quiz Game
09	Daily Life
10	Favourite Foods
11	Personalities
12	Friends
13	Childhood Memories
14	Future Plans and Dreams
15	Review Lessons 8-14 Quiz
16	

2022年度シラバス

科目名:英会話ＩＢ	担当者:佐分 ジュディス スミス	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
This is a conversation intensive course. Each class students will have to communicate in English with each other and the teacher. Students will be introduced to new vocabulary every week, and topics that relate to the vocabulary.【ＥＮ】

授業の到達目標
The goal of this course is to help develop skills to maintain a basic English conversation. The class will touch on topics that will allow the students to be able to interact in an English-only environment.

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
Students will be required to take quizzes and turn in homework, They will be expected to work in pairs and groups to complete class activities. Homework will include worksheets and topic research. Students will be expected to produce projects.

評価方法
Grading scale Participation 30%
In class work 20%
Homework 20%
Quizes 10%
Projects 20%
File 5%
Exam/Project 15%

教科書
Instructor will provide worksheets for class.

参考図書
Students will need to prepare a binder with at least 30 clear sheets. Writing supplies and binder must be brought to each and every class.

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
Please try to speak in class. Making mistakes is an important part of learning. Schedule may change depending on class level and learning speed.

01	Lesson 1 First Semester Review
02	Lesson 2 Routines
03	Lesson 3 Routines/ Halloween Project
04	Lesson 4 Halloween Project
05	Lesson 5 Halloween Project Presentations
06	Lesson 6 TV shows and Movies
07	Lesson 7 Music
08	Lesson 8 Favorite Actor/Musician: Physical Description
09	Lesson 9 Favorite Actor/Musician: Personality
10	Lesson 10 Quiz and Games
11	Lesson 11 Money
12	Lesson 12 American Holidays
13	Lesson 13 Christmas
14	Lesson 14 Review and Exam
15	Lesson 15 Exam Review and Group Presentation
16	make up if needed

2022年度シラバス

科目名:英会話ＩＢ	担当者:Lee Sargent	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
英会話I B is an elective course for first year students in the Liberal Arts Department. The aim of this course is to enable students to provide basic information in English to survive in a foreign environment. Also, students will learn about other cultures and environments outside Japan.
Students will have the opportunity to improve their conversation skills in English through: 1) active participation with other students, 2) building active vocabulary, 3) building listening skills, 4) improving grammatical accuracy, 5) developing basic writing skills.【ＥＮ】

授業の到達目標
By the end of the second semester student will be able to communicate in a variety of situations for survival in a foreign environment. Students will also be able to describe some aspects of Japanese culture and society.

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
A vocabulary list will be given at the end of each lesson. Students should learn the meaning of the vocabulary and remember this for use in the following week’s lesson. Students will need to read and listen to English learning websites and write about the

評価方法
Completion of Website task and journal ウェブサイトを見たり、ジャーナルを書いたりして 35%Mini quizzes (3) 単語クイズ 15%15th week unit quiz (written); week 15 １５週目のクイズ(筆記) 20%Participation and Homework, 積極性と宿題 30%

教科書	参考図書
All materials in English will be provided by the instructor,	A clear file with at least 30 leaves and a notebook

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
You need to think about, read or listen to English more than once a week. Please look at the recommended Website each week outside the classroom. You can talk to me in person before the lesson or contact me. I’ll tell you my e-mail address in the class.

01	Introduce yourself. Course Introduction. Using Websites
02	Families
03	Falling in Love
04	Directions around To
05	Shopping
06	Shopping for Clothes
07	Leisure Time
08	Review Lessons 1-7
09	On Vacation
10	Bus and Train Travel
11	Travelling by Car
12	Air Travel
13	Occupations
14	Learning to Drive
15	Review Lessons 8-14 Quiz
16	

2022年度シラバス

科目名:身体と表現	担当者:鏡味 富美子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
豊かな人間関係を築くには心と身体の柔軟性が必要とされます。この授業では内外両面からアプローチ、美しい立振る舞い(姿勢・歩き方)やショートドラマを体験(台本書き・出演・発表)します。また毎回プリントの簡単なＱ＆Ａに答え自分自身を客観的に見つめます。プリントはコメントをつけ最後の講義にまとめて返却します。

授業の到達目標
美しい立ち振る舞いや人を惹きつける話術を身に付けられる(DP)
自分や他人の長所を見つけ、コミュニケーションを楽しめる自分になれる。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
人間観察をしてみましょう。
授業で習得した姿勢や歩き方を意識し日常を過ごしましょう。

評価方法
平常点90％(授業の参加意欲・態度)と発表10％で評価します。

教科書	参考図書
プリントを配布します。	都度紹介します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し活動します。ストレッチなど身体を動かしますが服装は問いません。ショートドラマは女優になったつもりで楽しんで演じましょう。連絡方法は授業でお知らせします。

01	オリエンテーション
02	身体のリラックス①(ストレッチ・姿勢と歩き方)
03	身体のリラックス②(発声練習・朗読)
04	身体のリラックス③(パントマイム)　　※身体のリラックスでは簡単なショートドラマを体験
05	自分探し(自分年表の作成)　　※思い出の写真や品物で歓談しましょう
06	屋外講義(テーマを決めていつもとは違う雰囲気で進めます)　　※天候により入れ替わり有
07	心のリラックス①(ショートドラマ体験、インコと共演)
08	心のリラックス②(体験した事をショートドラマにしてみる)
09	心のリラックス③(創ったショートドラマの発表・感想など)
10	表現①手紙を書いてみよう
11	表現②短い文章(詩・短歌・川柳など)を書いてみよう
12	表現③中くらいの文章(エッセイ・短編小説)書いてみよう
13	表現④発表内容の検討　　※講師が個々にアドバイスします
14	発表の準備・稽古
15	発表の準備・稽古
16	発表・まとめ

2022年度シラバス

科目名:ダンス	担当者:本吉 真寿美	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実技
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この科目は、ディプロマ・ポリシーに示されている行動力とコミュニケーション力の獲得を目的とするものである。ダンスを通して、自己表現力や創造力を高め、心身ともに健やかで明るく積極的に活動する力を養う。また、グループでの創作演習などにおいて、皆で協力し一つの目標を成し遂げる達成感や連帯感などを学ぶ。

授業の到達目標
ダンス表現の基礎技能を身につけ、自分なりの動きで伸び伸びと表現する。他者と協同して作品を創りあげ、成果を発表する。心身ともに健やかで明るく積極的に活動する行動力が身につく。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力(GDP3)
◎主体的・協働的行動力(GDP2)

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
学習した基本動作を反復練習して身につけたり、テレビやインターネットで様々なダンスの作品を視聴したりすることが望ましい。

評価方法
基礎技能や創作作品（70%）及びレポート等の課題（30%）により評価する。欠席等による授業への不参加がある場合は総合点から減点する。

教科書	参考図書
指定なし	授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
運動に適した服装と身だしなみで、装飾品は外して受講すること。運動用室内シューズを持参すること。

01	基本のリズムどり
02	リズムどりの応用とステップ
03	リズムどりとステップのルーティーン
04	ボディーコントロールの基本
05	ボディーコントロールの応用
06	自己表現
07	創作（フリーダンス）
08	自己表現を取り入れたルーティーン
09	グループでの創作①
10	グループでの創作②
11	グループでの創作③
12	グループでの創作④
13	フォーメーション練習
14	総合演習
15	グループでの発表
16	

2022年度シラバス

科目名:映像メディアの世界	担当者:溝渕 久美子	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
現在、私達の身の回りには映画やテレビなどの様々な視覚メディアがあふれています。映画史と映画の表現技法を学びながら、映画がどのように作られているのかを理解し、実際に映画の分析を行うことで、多角的に映像作品を鑑賞する力を身につけます。

授業の到達目標
学生が、映画を「感動した」「面白かった」というだけではなく、映像表現のルールを学んだ上で、それを応用して表現技法や物語構造の点から客観的に分析し、説得力をもって人に伝えらえるようにすることが目標です（DP）。また、映画の誕生からトーキーまでの映画史を概観することで、映画というメディアが歴史的にどのようなものだったかを理解し、現在の映像環境についての理解を深めることも目標です（DP）。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
準備学習として、参考図書を事前に読んでおくこと(4時間程度)。講義中に部分的に取り上げた映画は各自視聴し、また、日常生活で映画やドラマ等の映像表現に触れた際には、表現技法や物語構造に注意して見ていくこと。

評価方法
講義への貢献度・中間課題50%＋最終試験50%

教科書	参考図書
講義中に指示します。	講義中に指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
授業中にメールアドレスを公開しますので、質問や困ったこと・気になることがある場合は、そちらまで連絡してください。楽しく映画の勉強をしていきましょう。

01	映画を「見る」前に：映像表現の面白さ、感想と分析の違い
02	映画史1　映画に至るテクノロジーと映画の誕生 映画史1　　映画以前のテクノロジー
03	映画史2　　初期映画とは何か？
04	映画史3　古典的ハリウッド映画①　サイレント映画の表現『あれ』
05	映画史4　古典的ハリウッド映画②　物語映画の形式とサイレント映画
06	映画史5　古典的ハリウッド映画③　トーキー映画の表現『或る夜の出来事』
07	映画史6　古典的ハリウッド映画④　音による表現と自主規制、映画ジャンル
08	映画史7　古典的ハリウッド映画とは異なる映画
09	映画の表現技法１　語りの技法と物語の構成
10	映画の表現技法2　カメラの前の視覚的な要素とカメラに関わる要素
11	映画の表現技法3　　編集とサウンド
12	対極分析をしてみよう1　対極分析のやり方、『Mr.& Mrs.スミス』分析
13	対極分析をしてみよう2　対極分析の応用①
14	対極分析をしてみよう3　対極分析の応用②
15	対極分析をしてみよう4　対極分析の応用③　レポートの書き方
16	

2022年度シラバス

科目名:動画コンテンツ制作	担当者:高谷 邦彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
スマートフォンのカメラとアプリを使って短い動画コンテンツを制作する実習です。春休み期間中の集中講義で、作品の企画・撮影・編集を行います。制作した作品はウェブ（YouTube等のSNS）で公開することを予定しています。【ＡＬ】

授業の到達目標
SNSの時代に必要となるコンテンツ制作の知識と技術を身につけることを目標とします（DP）。またコンテンツ制作の経験を通して、SNS利用者としてコンテンツの制作意図を読み取るリテラシーも学びます。

【到達目標と深く関連する学科DP】
○よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎幅広い分野にわたる専門知識

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
授業内でも参考作品を紹介しますが、各自でYouTuberのコンテンツの制作手法を分析しながら鑑賞してみること。

評価方法
授業への参加態度（50%）と制作した作品（50%）で評価します。

教科書	参考図書
特になし	必要に応じて指示します。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)

01	オリエンテーション：参考コンテンツ紹介
02	動画撮影の基本：カット割り、イマジナリーライン等
03	動画編集の基本：スマホアプリの使い方
04	課題コンテンツ（個人）撮影：カット割りを駆使してアクションシーンの撮影
05	課題コンテンツ（個人）編集：コマ単位での編集、さまざまなカットの組み合わせ
06	作品講評会
07	企画会議
08	課題コンテンツ（グループ）撮影
09	課題コンテンツ（グループ）編集
10	作品講評会
11	最終課題（個人）制作：企画
12	最終課題（個人）制作：撮影
13	最終課題（個人）制作：編集
14	最終課題（個人）制作：仕上げと公開
15	作品講評会とまとめ
16	

2022年度シラバス

科目名:ＣＡＤ演習	担当者:町田 由徳	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	演習
免許･資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	1
		必須.選択	選択

授業概要と方法
コンピュータを使って、製品や建築物などの形状をデザインするためのソフトウェアを「CAD（キャド）」と呼びます。本授業では、3DのCADソフト「Fusion 360」を使って基本的な形状のモデリング、製図やアクセサリーのデザインを体験し、製造業企業や設計サービス企業においてCADオペレータとして就業出来るスキルの獲得を目指します。また制作のプロセスを通じて、現代教養学科のGDP.2、GDP.3で謳われている[専門知識]と[思考力]を身につけます。

授業の到達目標
・3D CADを活用したモデリングが出来るようになる。(DP)
・第三角法による図面の読み書きが出来るようになる。(DP)
・CADを活用して簡単な製品をデザイン出来るようになる。(DP)

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修･事後学修
3D CAD、3Dプリンタによるものづくり関連の動画鑑賞や、CAD操作方法の復習など、準備・事後学修を計4時間程度行う。

評価方法
提出課題70% 授業への取り組みの姿勢30%　提出作品は最終回講評により評価、フィードバックを行う。

教科書	参考図書
なし。適宜資料を配布します。	「Fusion 360マスターズガイド　ベーシック編」小原照記、藤村祐爾 ソーテック社　2,980円

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
制作物データのバックアップ用にUSBメモリを用意してください。（詳細は授業内で指示します。）

01	ものづくりにおける「CAD」概論、Autodeskアカウントの作成
02	投影図による図面表現と、製図の規約について
03	スケッチの作成練習
04	ペン立ての制作　(1)スケッチ、押し出し
05	ペン立ての制作　(2)穴あけ、着色
06	コマの制作　(1)スケッチ、回転
07	コマの制作　(2)面取り、フィレット
08	マグカップの制作　(1)スケッチ、ロフト
09	マグカップの制作　(1)スイープ、着色
10	2D図面の作成
11	アセンブリー、レンダリングについて
12	アクセサリーのデザイン　(1)アイデアスケッチ
13	アクセサリーのデザイン　(2)モデリング
14	アクセサリーのデザイン　(3)アセンブリー、レンダリング
15	作品講評とまとめ
16	なし

2022年度シラバス

科目名:食生活と健康づくり	担当者:辻 広志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
私たちの食生活はこの半世紀で大きく様変わりし、豊かさや便利さが増した反面、生活習慣病や食品不安、環境負荷などの新たな問題を生み出している。この授業では、配布プリントを中心に、視聴覚教材、現物資料の提示、新聞記事、アンケート、実習や少人数のプレゼンテーション等を通して、これからの望ましい食生活のあり方について考える。【AL】レポートや確認テスト等、提出物の講評は授業中やmoodle等で行う。

授業の到達目標
食品・栄養に関する基礎知識を習得するとともに、「食と健康」「食の安全」「食と環境」について正しく理解し、自ら実践する習慣を身につける。【DP】

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
食と健康に関する最新の情報を、新聞、雑誌、テレビ、インターネット等で入手するよう心掛けること。食品を購入する際に、パッケージの表示（原材料名、消費・賞味期限、食品マーク等）を確認すること。

評価方法
確認テスト50%、平常点50%（授業感想文、授業への参加態度）で総合評価する。授業において提示した課題については、次回以降にフィードバックを行う。

教科書 使用しない	参考図書 授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
「食生活アドバイザー」等の食に関する資格検定取得を目指す学生は是非受講してください。質問等がある場合は、研究管理棟２Ｆの218研究室に来てください。

01	イントロダクション：ヒトの食生態
02	味覚の科学：なぜ食べ物をおいしいと感じるのか？
03	日本型食事の効用：なぜ和食は世界一の健康食なのか？
04	漢方医学と食事：陰の食品と陽の食品
05	生活習慣病と食事：肥満を防ぐには何をどのように食べるべきか？
06	食事・栄養評価法：自分の栄養状態について調べよう
07	有害物質による食品汚染：日本の食の安全を揺るがしたさまざまな事件
08	食品添加物と食品表示：菓子パンの添加物を調べよう
09	食品の腐敗と保存：塩分や糖分を加えるとなぜ腐りにくくなるのか？
10	食品添加物の簡易実験：うがい薬で食品中のビタミンＣやデンプンを調べよう
11	食品と寄生虫：サナダムシの生活史とヒトへの感染経路
12	健康食品とフードファディズム：安全な健康食品の見分け方
13	現代の食問題：新聞の記事をまとめ、グループ内で発表しよう
14	飽食の実態と対策：食品の賞味期限・大量廃棄・リサイクル
15	まとめと確認テスト
16	なし

2022年度シラバス

科目名:自然と生活	担当者:村上 忠明	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	前期
		配当学年	1
受講者制限:自然体験活動指導者（NEALリーダー）資格取得希望者は、資格申請及び登録料が必要		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
私たちの生活は自然の中での営みであり、テクノロジーがめざましく進化する現代においても人間の本来性は自然の中にある。授業ではフィールドワークやワークショップなどを通じて、あらためて自然と生活を見つめなおし、「豊かさとは何か」について考え、自然と共存する人間のあり方を検討する【AL】。担当講師は長野県の山村で「暮らしの学校（自然学校）を創設し自然体験教育の指導者（CONEトレーナー・NEALコーディネーター）を務めている。

授業の到達目標
授業では、自然と生活の関わりを問い直し、人間らしく暮らしていくための知識と方法について知見を広げることができる【DP】。また、自然が内包する教育力について具体的に理解し、自然体験を通じた自己成長及び指導者として必要な基礎的な知識や技術を身につけることができる【DP】。

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
気象予報のチェック、自然災害や事故の情報収集、アウトドアや田舎体験の情報収集に務める。

評価方法
授業への参加態度40%、各回のコメントシートの内容40%、確認テスト20%
授業ごとにコメントシートを提出し教員からフィードバックを受ける。

教科書	参考図書
必要に応じてプリントを配布する。	『センス・オブ・ワンダー』新潮社,レイチェル・カーソン著, 上遠 恵子翻訳, 単行本

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
初回のオリエンテーションは必ず出席すること。NEALリーダー取得についての質問は随時受け付ける。講師の連絡先は授業で伝える。

01	オリエンテーション（授業の概要とねらい）
02	相手を理解するということ（対象者理解のワークショップ）
03	自然体験活動の特質１（フィールドワーク）　～身近な地域と自然について～
04	自然体験活動の特質２（ワークショップ）～自然体験の意義と課題～
05	青少年教育における体験活動の意義　～「生きる力」とは何か～
06	自然体験活動の指導とは　～リーダーの心構え～
07	自然体験活動の技術１（グループコンテスト）～エコツアーの企画づくり～
08	自然体験活動の技術２（ワークショップ）　～様々な道具の理解と使い方～
09	自然体験活動の技術３（ワークショップ）　～地域を潤す地産地消と農家のプライド～
10	自然体験活動の技術４（プレゼンテーション）　～自然と暮らしの関係性を見える化せよ～
11	自然体験活動の教育力　～国際理解教育の実践事例紹介～
12	自然体験活動の安全管理1　（ワークショップ）　～リスクマネジメントとは～
13	自然体験活動の安全管理２（ワークショップ）　～危険予知トレーニング～
14	総括ディスカッション
15	授業のまとめ　確認テスト（資格認定試験）
16	なし

2022年度シラバス

科目名:自然環境と生き物の世界	担当者:辻 広志	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
この授業では、様々な生態系における環境問題と生物の保全対策について学び、ヒトと自然の共生のあり方について考える。配布プリントによる講義を中心に、視聴覚教材、現物資料の提示、新聞記事、インターネット等を通して、自然環境や野生生物に対する理解を深める。フィールドワーク（1回）と少人数のプレゼンテーション（4回）も実施する。【AL】レポートや確認テスト等、提出物の講評は授業中やmoodle等で行う。

授業の到達目標
地球環境、生物多様性、生態系のしくみについて理解し、環境保全活動の実践方法を知る。【DP】

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎幅広い分野にわたる専門知識
○幅広い知識と広い視野に基づく思考力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
自宅周辺にはどのような動植物が生息しているか調べる。環境問題や野生生物に関する最新の情報を、新聞、雑誌、テレビ、インターネット等で入手する。

評価方法
レポート点50%、平常点50%（授業感想文、授業への参加態度）で総合評価する。授業において提示した課題については、次回以降にフィードバックを行う。

教科書 使用しない	参考図書 授業中に適宜紹介する

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
「エコ検定」等の環境に関する資格検定取得を目指す学生は是非受講してください。質問等がある場合は、研究管理棟２Ｆの218研究室に来てください。

01	イントロダクション：生物多様性と生態系サービス（自然の恵み）
02	生物多様性の危機の現状：世界のカエル類の約３割は絶滅の危機に瀕している！
03	生態系のしくみ：オオカミが自然を守っている？
04	植物の種子散布：身近な雑草の繁殖戦略
05	野外実習：キャンパスの樹木観察
06	侵略的外来種：アカミミガメ、ブラックバス、アライグマが日本の生態系を破壊する
07	環境変動による環境負荷：地球温暖化が生物に及ぼす影響
08	有害化学物質による環境汚染：「沈黙の春」と「メス化する自然」
09	生態系の保全：世界自然遺産の光と影
10	希少種の保全：レッドデータブックで絶滅危惧生物を調べよう
11	企業・市民による環境保全活動：企業の環境報告書を読もう
12	自然再生事業：ビオトープと多自然川づくり
13	女子学生の自然体験：身近な生き物アンケート
14	ダーウィンの進化論：生物多様性と進化のしくみ
15	まとめと確認テスト
16	なし

2022年度シラバス

科目名:キャリア支援	担当者:綾部 六郎	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	8
		必須.選択	選択

授業概要と方法
　本科目は資格の取得や検定の合格に対して単位を認定する形態の科目です。この科目を活用して、自分自身の成長やスキルアップにつながる資格や検定にチャレンジし、将来の視野や展望を広げてください。
　なお、単位の認定対象となるのは、原則として大学在学中に取得・合格した資格・検定になります。

授業の到達目標
１．社会人基礎力を向上させる資格・検定などの取得を目指すことで、高度な教養を広く身につける。
２．各種の資格・検定などを取得することで卒業後の進路の幅を広げる。
３．将来の職業に関連したスキルアップを目指すことで、高度職業人としての知識・技能の修得を目指す。

【到達目標と深く関連する学科DP】

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
　指定された資格・検定を取得するためには、十分な学習時間が必要となります。
　資格・検定によっては、本学で対策のための授業や内容的に関連している授業が開講されていますので、活用してください。また、参考書、問題集、過去問などの資料が図書館や教員の研究室に用意されている場合もあるので、活用してください。
　単位認定が可能な資格・検定などについては、変更や更新が適宜なされるので、その都度確認してください。

評価方法
　指定された資格・検定などの合格証を根拠にして、その難易度に応じた単位数の認定をします。認定の上限は8単位までです。

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
　申請の時期は11月と翌年1～2月の2回になります。掲示などで案内されるので、合格証書などの必要書類を用意しておいてください。

01	以下の要件などを確認のうえ、申請してください。 ・別に掲示する本学入学後に取得した検定・資格を対象に所定の単位を認定しますが、特定の条件を満たしている場合、入学前に取得した資格などであっても認定できる場合がありますので、教務課で相談してください。 ・同一日に級位の異なる資格検定を受験して合格した場合は、上位の級位のみを単位として認定します。 ・申請にあたっては、所定の用紙に資格など取得の事実を証明する書類のコピーなどを添えて、教務課へ提出してください。
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2022年度シラバス

科目名:海外研修	担当者:高谷 邦彦	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
「海外研修」は、学生自らが立案した計画にもとづいて、海外で短期の語学学習や文化体験などをする科目である。単位修得には海外での研修を行うとともに、渡航する前の準備となる事前学習や、研修後の課題作成が含まれる。語学力だけでなく、目的に向かって着実に努力を続けられる行動力や、より広い視野に立って、物事を考えていくことができる思考力を身につける。

授業の到達目標
(1) 語学力の向上：自分の学びたい外国語が使われている環境で生活し、語学力を向上させる。
(2) 異文化の体験：文化や生活習慣の違いを現地で体験することで、視野を広げる／多様な価値観を知る／行動力を伸ばす、など将来につながる貴重な経験を得る（DP）。
(3) 事前学習、事後報告の重要性を学ぶ：単なる旅行とは異なる、計画や事前学習などの重要性についても学ぶ。

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
ツアーや航空券の手配、旅券の取得、保険の申請、現地通貨や支払い手段の準備などについて、教員は情報提供や助言を行うが、最終的な手続きは個人で行う。　渡航先の情勢や為替レートなどは、ニュースなどを見て、継続的に把握しておくこと。

評価方法
学生個人による海外での研修的な活動で、現代教養学科が定める基準に従い、十分な学習経験と認められる活動に対し、単位を認める。事前学習(30%)、研修(60%)、課題(10%)をもとに評価する。

教科書	参考図書

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
時間割に記載されている時間以外にも随時相談に応じますので、担当者の研究室を訪問するか、メール等で連絡をしてください。

01	(事前学習) ①担当教員によるガイダンスに出席し、研修計画立案に必要な条件等を理解する。 ②研修国・地域、研修課題、実施計画・内容等を所定の書式で提出し、担当教員の許可を得て、事前指導を受ける。 (研修活動中) ③研修期間中は研修課題を達成するために必要な学習活動を行う。 ④活動記録を作成する。 (事後学習) ⑤研修期間終了後、指定された時期までに活動記録と研修日誌を提出する。 ⑥科目「海外研修」を履修登録し、単位の認定を申し出る。
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

2022年度シラバス

科目名:国内研修	担当者:茶谷 淳一	開講学科等	現代教養学科
		授業形態	実習
免許・資格:		開講時期	前期・後期
		配当学年	1
受講者制限:		単位数	2
		必須.選択	選択

授業概要と方法
学生自らが立案したプランにもとづいて現実の社会で様々な人々と交流しながら活動することを通して、普段の学校を中心とした生活では得られない経験をすることで、社会で必要とされる自信、知識や技能を見つけることを目的とします。【AL】

授業の到達目標
①経験や何らかの「力」を身につけ、自分の考えや行動に自信をもつようになる（DP）。②視野が広がり、様々な意見を受け入れることができる。③社会で働くために必要とされる力＝社会人基礎力を向上させ、多様な人びとと協働することができる。（DP）

【到達目標と深く関連する学科DP】
◎よりよい人間関係を築いていけるコミュニケーション力
◎主体的・協働的行動力

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
準備活動（例えば、研修先の事前調査、研修プランの立案、受け入れ先との交渉、保護者との相談など）、研修、事後活動（研修日誌の整理、研修先への御礼の手紙の作成、レポートの作成、活動報告プレゼンテーションなど）。（4時間）

評価方法
事前に担当者から認められた活動だけが対象となります。準備・事後活動の取組みの様子10%、研修日誌20%、活動報告（レポートと発表）70%

教科書	参考図書
なし	必要に応じて紹介します

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
これまでに200人近くの学生が北海道から沖縄までの各地で様々な活動をしました（具体例は随時紹介します）。研修したい学生は「国内研修」の時間に研究室へ相談に来ること。詳細は配布される資料を参照すること。

01	学生が個人の責任の下で行う国内での研修活動のうち、十分な学習経験が得ていると認められる活動を所定の方法で評価し、単位を認めます。詳細は別に配付される資料などで確認すること。（以下、一部抜粋） 1. 国内研修として認められる条件と基準　①研修する課題が明確であること、②事前・事後指導に全て出席すること、③受入機関が明確であること、④期間が合計で実質10日間以上あり、一日あたり3時間以上活動すること、④他の科目の単位認定の対象ではないこと、⑤普段の生活では得られない経験や能力、知識が得られること。 2. 履修
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	